T500

歩行型スクラバー

英語版 JP

オペレーターマニュアル

Hygenic® 完全に洗浄可能な汚水回収タンク
Tennant*True®* パーツ
Pro-Panel™ コントロール
Insta-Fit™ アダプター
Smart-Fill™ 自動バッテリー補水

ec H2O® NanoClean

Japan

最新のパーツマニュアルまたは他の言語のオペレーターマニュアルについては、以下のサイトをご覧ください。
www.tennantco.com/manuals

9015523
Rev. 00 (03-2017)

はじめに

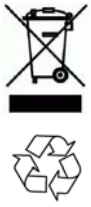
本マニュアルはそれぞれの製品に同梱されています。製品の操作やメンテナンスに必要な説明が記載されています。

本マニュアルを読み完全に理解してか本機の操作や点検整備を行ってくださ

本機には優れた耐久性があります。最小のコストで最良の結果を得るためには、次のことにご留意ください。

- 本機は十分注意して操作してください。
- 本機は決められた手順に従い、定期的に整備してください。
- 本機は、テナント社純正のパーツまたは同等品を使用し点検整備してください。

取扱説明書の閲覧またはダウンロードは、
www.tennantco.com/manuals
にアクセスしてください。



環境の保護

梱包材、バッテリーなどの使用済部品を廃棄するときは、各国の法令に従い、環境に安全な方法で廃棄してください。

常にリサイクルを検討してください。

Tennant Company
テナントカンパニー
PO Box 1452
Minneapolis, MN 55440
電話番号: (800) 553- 8033 または (763) 513- 2850
www.tennantco.com

株式会社テナントカンパニージャパン
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町2番地
産業貿易センタービル9階
電話: 81-45-640-5630
Fax: 81-45-640-5604
www.tennant.co.jp

1-STEP、Pro-Membrane、Severe Environment、Zone Settings、Quiet-Modeは Tennant Companyの商標です。

本製品には、複数の第三者ライセンスが付与されたソフトウェアの要素が含まれている可能性があります。
詳細については、次のリンクを使用してください。
www.tennantco.com/opensource

本書に記載された仕様やパーツは予告なく変更される場合があります。

オペレーターマニュアル（原本） Copyright ©2017 Tennant Company.
無断複写･転載を禁じます。

使用目的

この T500
歩行型フロアスクラバーは、ホテル、学校、病院、工場、店舗、事務所やレンタル事業といった商業施設での利用を目的としています。
屋内の硬質床面（コンクリート、タイル、石、合成物質など）の洗浄用に設計されています。
本機は、カーペットの清掃や木製床のサンディング（研磨）の用途を目的としていません。
推奨パッド/ブラシおよび商用のフロアクリーナーのみを使用してください。
本オペレーターマニュアルに記載されていない方法で本機を使用しないでください。

本機のデータ

後日確認できるように、設置時に記入してください。

モデル番号 - _____
シリアル番号 - _____
設置日 - _____

シリアル番号のラベル位置

本機の開梱

本機に損傷の兆候がないか注意深く点検してください。損傷がある場合は、直ちに輸送業者に報告してください。欠品がある場合は、販売店またはTennant社にご連絡ください。

本機を開梱するには、ストラップ、輪留め、輸送用ブラケットを取り外します。同梱のランプを使用して、本機をパレットから慎重に積み降ろします。
洗浄ヘッドが上がった位置にあることを確認してください。

注意：
本機をパレットから積み降ろす際は必ずランプを使用してください。ランプを使用しないと本機が損傷する恐れがあります。

操作

はじめに 2
使用目的 2
本機のデータ 2
シリアル番号のラベル位置 2
本機の開梱 2
重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください 5
安全ラベル 7

操作

本機の構成 8
本機の構成 9
洗浄ヘッドのタイプ 9
コントロールパネル構成部品 10
PRO-MEMBRANE コントロールパネルモデル 10
PRO-PANEL コントール装備モデル 10
本機の表示記号 11
PRO-PANEL の記号 11
バッテリーの据付け 12
本機の機能概要 12
ブラシとパッドについて 13
本機のセットアップ 13
スクイージーアセンブリーの取り付け 13
ディスクブラシ/パッドの取り付け（ディスク洗浄ヘッドモデル） 14
環状パッドの取り付け（環状洗浄ヘッドモデル） 15
シリンダーブラシの取り付け（シリンダーブラシ洗浄ヘッドモデル） . . . 16
洗浄液タンクへの注水 16
洗浄液タンクの自動充填機能の使用（オプション） 17
Severe Environment 洗浄液タンクの充填（ec-H2O モデルオプション） 18
自動バッテリー補水タンクの充填（オプション） 18
ec-H2O 水質調整カートリッジ（ec-H2O モデル） 19
アクセサリーレール 20
コントロールパネルの操作 21
PRO-MEMBRANE コントロールパネル 21
1-STEP ボタン 21
ブラシ圧ボタン 21
洗浄液流量ボタン 21
Severe Environment ボタン（ec-H2O モデルオプション） 21
Quiet-Mode ボタン 22
プリセットゾーンコントロールボタン 22
ec-H2O インジケーター（オプション） 22
サービスインジケーター 23
バッテリー放電インジケーター 23
スプレーノズルインジケーター（オプション） 23
自動バッテリー補水インジケーター（オプション） 23
PRO-PANEL コントロール 24
ホーム画面 24
ヘルプボタン 24
ログイン画面 24
ec-H2O インジケーター（オプション） 25
1-STEP ボタン 25
ブラシ圧ボタン 25
洗浄液流量ボタン 25
Severe Environment ボタン（ec-H2O モデルオプション） 26
最大洗浄速度ボタン 26
Quiet-Mode ボタン 26
スプレーノズルインジケーター（オプション） 27
バッテリー放電インジケーター 27
ビデオチュートリアルボタン（オペレーターモードのホーム画面） 27
プリセットゾーンコントロールボタン 28
サービスインジケーターボタン 29
故障画面 29
本機の設定ボタン 30
本機の操作 31
運転前のチェックリスト 31
本機の操作 31
非常停止ボタン 32
スプレーノズルの操作（オプション） 33
本機の運転時 33
サーキットブレーカーパネル 34
アワーメーター 34
タンクの排水 34
汚水回収タンクの排水 34
洗浄液タンクの排水 35
サービスインジケーターコード 37
サービスインジケーターコード - 続き 38
サービスインジケーターコード - 続き 39
搭載型充電器サービスインジケーターコード 40
ec-H2O システムのサービスインジケーターコード - オプション 41

メンテナンス

メンテナンス表 42
本機の点検整備 43
毎日の整備後 43
毎週の使用後 45
50時間の運転毎の整備 46
100時間の運転毎の整備 46
電動式モーター 46
ベルト（シリンダーブラシモデル） 47

バッテリー **47**
メンテナンスフリーバッテリー 47
液式（湿式）鉛酸バッテリー 47
接続の点検 / 清掃 48
バッテリーの充電 48
バッテリー充電器の設定 49
搭載型充電器の設定の変更（Pro-Membrane モデル） 50
搭載型充電器の設定の変更（Pro-Panel モデル） 51
HYDROLINK∃バッテリー補水システム（Trojan∃ バッテリーオプション） 52
自動バッテリー補水システム（Trojan∃ バッテリーオプション ） 53
スクイージーブレードの交換 **54**
ec-H2O 水質調整カートリッジの交換 **55**
本機のジャッキアップ **56**
本機の輸送 **56**
本機の保管 **57**
凍結防止 57
トラブルシューティング **59**
故障診断 -続き **60**

仕様

本機の一般的な寸法/容量/性能 **61**
本機の一般的な寸法/容量/性能 - 続き **62**
本機の寸法 **63**

管理者コントロール

管理者コントロール **67**
PRO-MEMBRANE コントロールパネルモデル 67
PRO-PANEL コントール装備モデル 68
ユーザープロファイルの追加/編集 70
ログイン画面の有効化 71
ログイン画面の無効化 72
工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードの変更 73

重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください

下記の注意事項はそれぞれの説明に示すように、本マニュアル全体を通して使用されています。

⚠ 警告：重度の人身傷害や死亡に至る可能性がある危険性や危険行為について警告します。

安全のために：
装置の安全な操作のために従う必要がある行動を特定します。

以下の情報は、オペレーターに対して潜在的な危険を伴う状況を示します。
このような状況が存在する可能性がある場合を理解してください。
本機の安全装置の位置をすべて確認してください。
本機に損傷や誤動作が生じた場合は、
直ちに報告してください。

⚠ 警告：
発火、爆発、感電、負傷のリスクを軽減するために、次の事項にご留意ください。

- 本機の操作前にマニュアルをお読みください。
- 引火性物質や反応金属の使用や接触を避けてください。
- 可燃性の液体やガスまたは粉塵の近くでは使用しないでください。

  本機には、防爆モーターは搭載されていません。電気モーターは起動時や運転時に火花を発するため、可燃性のガス/液体または粉塵が存在するエリアで本機を使用した場合、突発的な火災または爆発が生じる恐れがあります。
- バッテリーは水素ガスを排出します。
  爆発や発火の危険があります。
  充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
- 本機の清掃および点検整備を行う前に、バッテリーケーブルと充電器のプラグを外してください。
- 破損したコードでバッテリーを充電しないでください。 プラグを改造しないでください。

  充電器の電源コードが損傷または破損している場合は、危険防止のため、メーカーまたはその代理店、あるいは同等の有資格者に交換を依頼してください。
- 屋外で使用しないでください。
  屋内に保管してください。
- 回転パッド/ブラシには手を近づけないでください。

IRIS テレメトリー -
機種によっては、携帯電話のネットワークを利用した自動通信機能が搭載されています。装置への干渉妨害に関連する懸念から、本機を携帯電話の利用が制限されている工リアで操作する場合は、移動体通信機能を無効化する方法について、テナント社のサービス代理店にご相談ください。

安全のために：

1. 以下の場合、本機を使用しないでください。
   - トレーニングと認定を受けていない。
   - オペレーターマニュアルを読んだ上でその内容を理解していない。
   - 本機の操作手順に従う知力および体力がない。
   - アルコールや薬物の影響下にある。
   - 携帯電話やその他の電子機器の使用中。
   - 適切な動作状態にない。
   - 屋外。
     本機の使用は屋内用途に限定されています。

   可燃性の気体· 液体または粉塵が存在する場所。
   - テナント社純正またはテナント社認定以外のパッドまたはアクセサリーとの使用。
     他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。
   - 落下物の危険が存在する場所。
   - 本機のコントロールを目で確認する、または本機を運転するのに必要な視界が確保できないほど暗い場所。
2. 本機を操作する前に：
   - 作動油の漏れを点検してください。
   - すべての安全装置が所定の位置にあり、適切に動作することを確認してください。
3. 本機を使用するとき：
   - 本取扱説明書に記載されていない方法で使用しないでください。
   - 本機に損傷や誤動作が生じた場合は、直ちに報告 してください。
   - つま先が覆われた、ノンスリップ (滑り止め付き) の作業靴を履いてください。
   - 方向転換するときは速度を落としてください。
   - 斜面や滑りやすい表面ではゆっくりと進んでください。
   - 本機の操作は最大2%以下の傾斜角度に限定してください。

- 濡れた床に関する現場安全対策に従ってください。
- 化学薬品の混合、取り扱い、廃棄については、容器の説明に従ってください。
- 本機に同乗者を乗せないでください。
- 本機を後退させる際は十分に注意してください。
- お子様や権限のない人を本機に近づけないでください。
- 本機をおもちゃとして使用しないでください。
- 滑る危険性があるため、オフアイル洗浄用にスプレーノズルを使用しないでください。
- 自動充填機能を使用して洗浄液タンクを充填する際は、本機を放置しないでください。
- 自動充填機能を使用して洗浄液タンクを充填する際は、本機を平坦な表面に停めてください。

4. 本機から離れる前に、または本機を点検整備する前に：
   - 本機を平坦な表面に停めてください。
   - パーキングブレーキ装備のモデルの場合、パーキングブレーキを掛けてください。
   - 本機の電源スイッチを切り、キーを外してください。
5. 本機を点検整備するとき：
   - 本機の点検作業を開始する前に、バッテリーの接続と充電器のコードを外してください。
   - すべての作業は必ず十分な照明と視界が確保された状況で実施してください。
   - すべての修理は訓練を受けた担当者が行ってください。
   - テナント社製またはテナント社の承認を受けた交換部品を使用してください。
   - 本機の原設計の改造は行わないでください。
   - 本機をジャッキで持ち上げる前に、タイヤ止めで固定してください。
   - 指定された位置にのみジャッキをかけて本機を持ち上げてください。
     ジャッキスタンドで本機を支えてください。
   - 本機の重量に対応するホイストまたはジャッキを使用しください。
   - 回転パッドなど作動中の箇所には近づき過ぎないようにしてください。
     ゆったりした衣服やアクセサリーは着用せず、髪が長い場合はまとめてください。
   - 充電器を使用しているときは、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。
     アーク放電が発生することがあります。
     充電サイクルを中断する必要がある場合は、最初にAC電源コードを外してください。
   - 互換性のない充電器を使用しないでください。バッテリーパックが損傷し、火災を引き起こす恐れがあります。
   - 充電器のコードに損傷がないか定期的に点検してください。
   - 作業場の換気を良い状態に保つようにしてください。
   - バッテリー液には触れないでください。
   - すべての金属製品はバッテリーのそばに置かないでください。
   - 本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
     電気系統が故障する可能性があります。
     湿らせたウエスを使用してください。
   - バッテリーを持ち上げるときは、ホイストを使用するか、適切な援助を受けてください。
   - バッテリーの据付けは、訓練を受けた担当者が行ってください。
   - 自動バッテリー補水タンクを充填する際は、必ず蒸留水のみを使用してください。
   - 必要に応じて、また本書で推奨されている場合は、個人用保護具を着用してください。

安全のために：
保護手袋を着用してください。

安全のために： 保護眼鏡を着用してください。

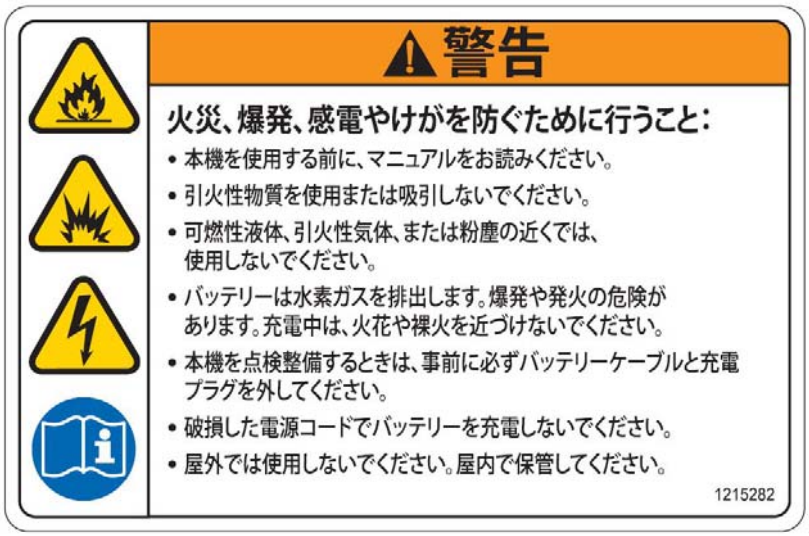
6. 本機のトラックまたはトレーラーへの積み込み/からの積み降ろしを行うとき：
   - 本機を積み込む前にタンクを空にしてください。
   - 本機および運転者の重量を支えられるランプを使用してください。

   本機の操作は最大2%の傾斜角度に限定してください。
   - 本機を固定用ロープで固定する前に、洗浄ヘッドとスクイージーを下げてください。
   - 本機の電源を切り、キーを外してください。
   - パーキングブレーキ装備のモデルの場合、パーキングブレーキを掛けてください。
   - タイヤに輪留めを装着してください。
   - 固定用ロープで本機を固定してください。

安全ラベル

安全ラベルは、本機の以下に示す位置に貼付されています。
ラベルの欠損や破損がある、またはラベルが判読できない場合は、新しいラベルと貼り替えてください。

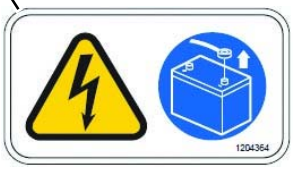
警告ラベル - 汚水回収タンクのカバーにあります。



警告ラベル -
回転ブラシに
手を近づけないでください。
洗浄ヘッドに貼付されています。

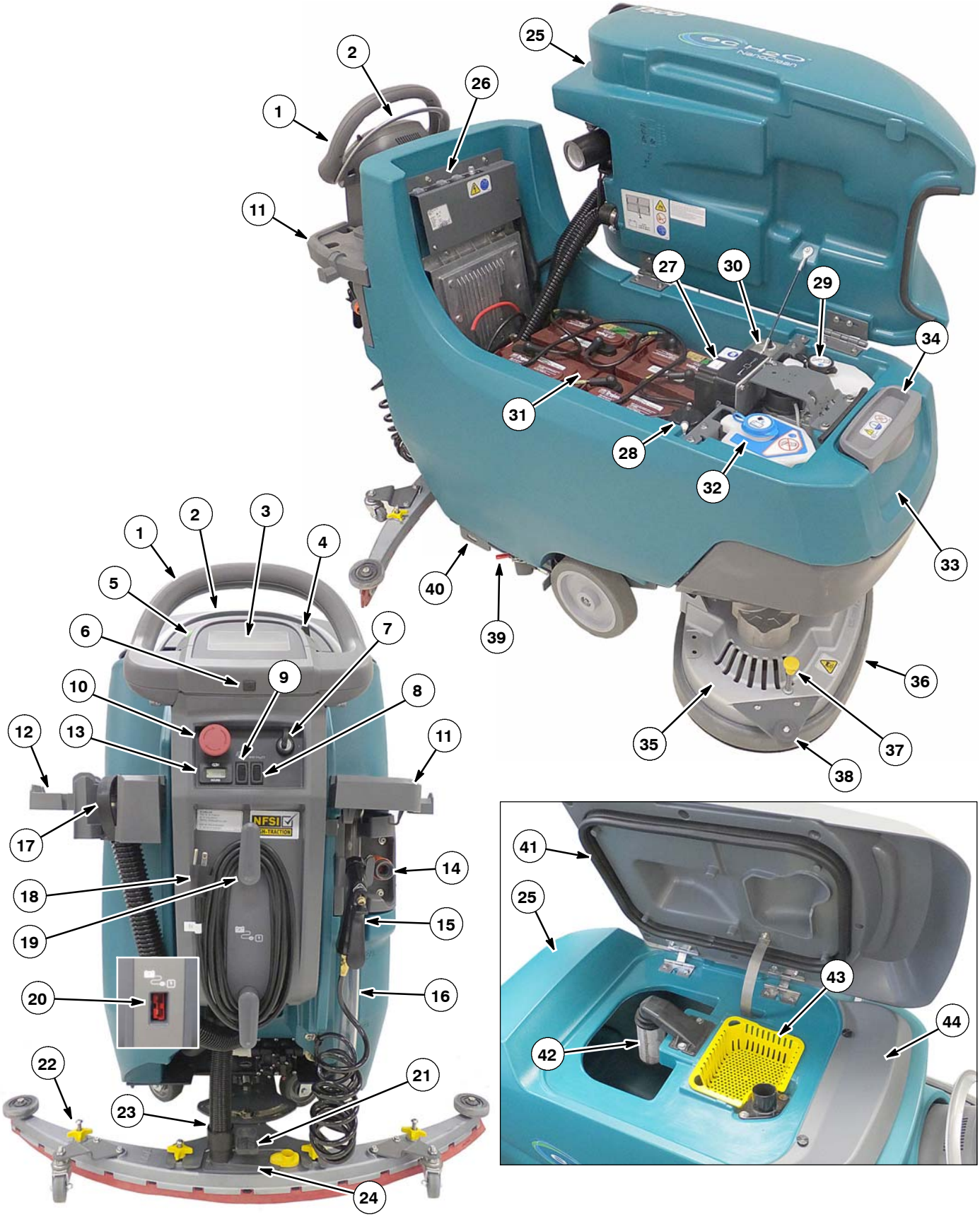
安全ラベルの保護 -
本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。電気系統が故障する可能性があります。
コントロールコンソールに貼付されています。

警告ラベル -
バッテリーは水素ガスを排出します。 爆発や発火の危険があります。充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
汚水回収タンクの底面に貼付されています。



警告ラベル -
感電の危険。
本機を点検整備する前に、バッテリーケーブルを外してください。
サーキットブレーカーパネルにあります。

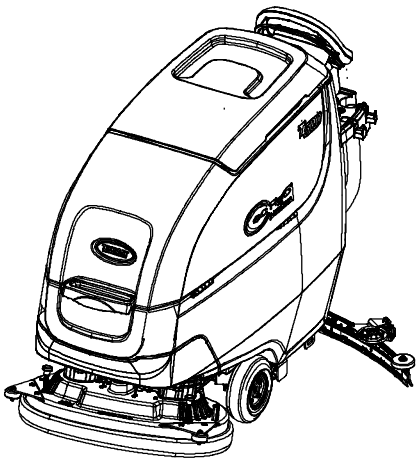
本機の構成


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
NFSI

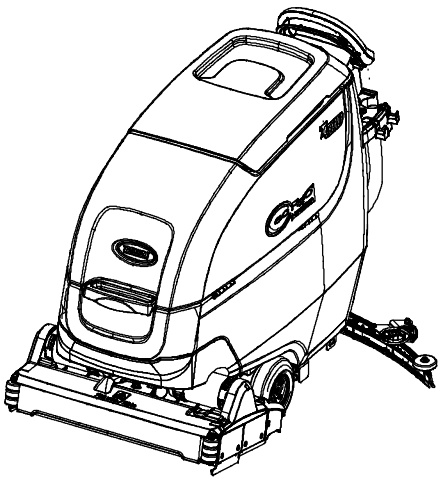
本機の構成

1. コントロールハンドル
2. コントロールハンドルスタートベイル
3. コントロールパネル
4. 前進/後退レバー
5. 速度調整ノブ
6. USBポート（保守専用）
7. キースイッチ
8. ec-H2O オン/オフスイッチ（オプション）
9. スプレーノズルスイッチ（オプション）
10. 非常停止ボタン
11. アクセサリーレール
12. アクセサリーレールクリップ（オプション）
13. アワーメーター
14. 洗浄液タンクリヤホース注入口
15. タンク洗浄スプレーノズル（オプション）
16. 洗浄液タンクレベル/ドレンホース
17. 汚水回収タンクドレンホース
18. 搭載型充電器コード
19. 搭載型充電器コードフック
20. 定置型充電器ソケット
21. スクイージーロワー/リフトフットペダル
22. スクイージーアセンブリー
23. スクイージーバキュームホース
24. スクイージーごみ取り/ドリップトレー
25. 汚水回収タンク
26. サーキットブレーカーパネル
27. ec-H2O モジュール（オプション）
28. ec-H2O 水質調整カートリッジ
29. Severe Environment 洗浄タンク（ec-H2O オプション）
30. 洗浄洗剤混合比率ノブ（Severe Environment オプション）
31. バッテリー室
32. 自動バッテリー補水タンク（オプション）
33. 洗浄液タンク
34. 洗浄液タンク前部バケツ注入口
35. 洗浄ヘッド
36. 洗浄ヘッドスカート
37. パッドリリースプランジャー
38. 壁面用ローラー
39. パーキングブレーキ（オプション）
40. 輸送用固定ブラケット
41. 汚水回収タンク蓋
42. 汚水回収タンクのフロート停止スクリーン
43. 汚水回収タンクごみ取りトレー
44. 汚水飛散防止スカート

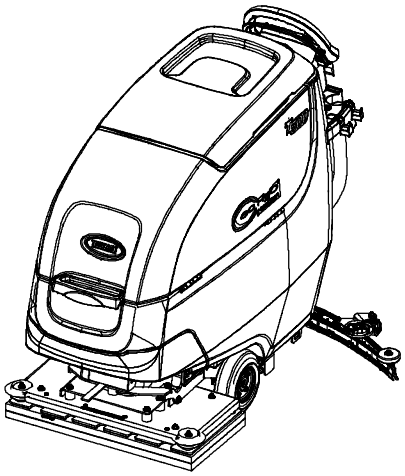
洗浄ヘッドのタイプ



650 mm デュアルディスク
700 mm デュアルディスク
800 mm デュアルディスク



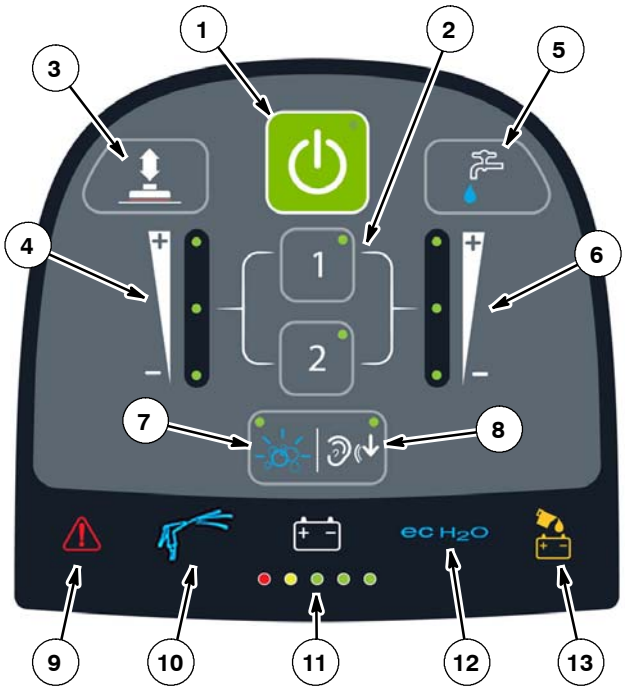
700 mm シリンダーブラシ



700 mm 環状パッド

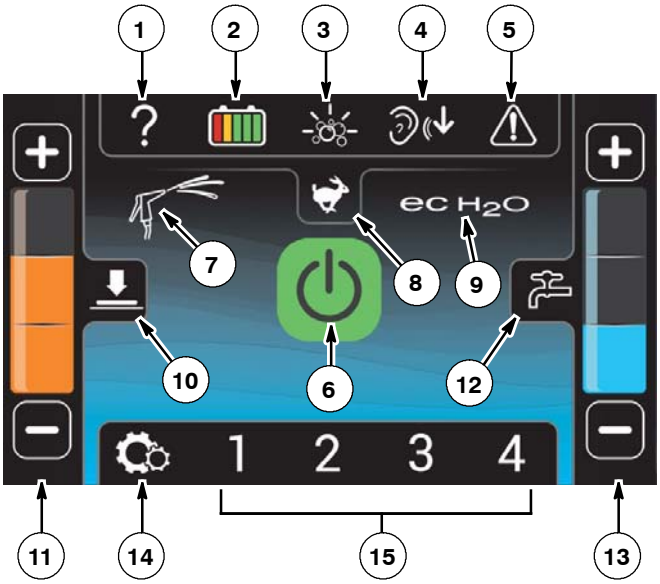
コントロールパネル構成部品

PRO-MEMBRANE コントロールパネルモデル



1. 1-STEPボタン
2. プリセットゾーンコントロールボタン
3. ブラシ圧ボタン
4. ブラシ圧インジケーター
5. 洗浄液流量ボタン
6. 洗浄液流量インジケーター
7. Severe Environment ボタン（オプション）
8. 静音モードボタン
9. サービスインジケーター
10. スプレーノズルインジケーター（オプション）
11. バッテリー放電インジケーター（BDI）
12. ec-H2O インジケーター（オプション）
13. 自動バッテリー補水インジケーター（オプション）

PRO-PANEL コントール装備モデル



1. ヘルプボタン
2. バッテリー放電インジケーター（BDI）
3. Severe Environment ボタン
4. Quiet-Mode ボタン
5. サービスインジケーターボタン
6. 1-Step ボタン
7. スプレーノズルインジケーター（オプション）
8. 最大洗浄速度ボタン
9. ec-H2O インジケーター（オプション）
10. ブラシ圧ボタン
11. ブラシ圧インジケーター
12. 洗浄液流量ボタン
13. 洗浄液流量インジケーター
14. 本機の設定ボタン
15. プリセットゾーンコントロールボタン

本機の表示記号

- マニュアルをお読みください
- 高速 (駆動モデル)
- 低速 (駆動モデル)
- 前進 / 後退 (駆動モデル)
- キーがオン
- キーがオフ
- ec-H2O 洗浄 (オプション)
- バッテリー充電
- アクセサリーレールをつかんで本機を持ち上げないでください
- 足を掛けないでください
- 高圧スプレーは使用しないでください
- パーキングブレーキ
- 自動バッテリー補水タンク (オプション)
- 洗剤 (ec-H2O Severe Environment オプション)
- 洗剤なし (ec-H2O オプション)
- 水温 (ec-H2Oオプション)
- サーキットブレーカー

PRO-PANEL の記号

- ホーム画面
- 左向き矢印
- ログイン
- コントロールに関するヘルプ
- スタートアップビデオ
- 詳細情報
- ビデオリストボタン
- ビデオボタン
- ビデオ回転ビュー
- 本機の設定
- オペレーター向けビデオ
- 管理者メニュー
- ビデオに関するヘルプ
- プロファイルの追加/編集
- バッテリーの選択
- ログインを有効にする
- ログインを無効にする
- タッチのキャリブレーション
- 工場出荷時の状態に戻す
- オペレーター
- 管理者
- プロファイルの追加
- プロファイルの編集
- プロファイルのコピー
- プロファイルの削除
- ユーザーログイン
- 入力
- バックスペース

バッテリーの据付け

⚠ 警告：バッテリーは水素ガスを排出します。 爆発や発火の危険があります。
充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

安全のために：
本機を点検整備する際は、必要に応じて、適切な個人用保護具を着用してください。
バッテリー液には触れないでください。

バッテリーの仕様

20時間率容量 260 Ah 以下の 6V ディープサイクルバッテリーが4個必要です。

推奨バッテリーについては、販売店またはテナント社までご連絡ください。

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1. 汚水回収タンクを持ち上げてバッテリー室にアクセスします（図1）。

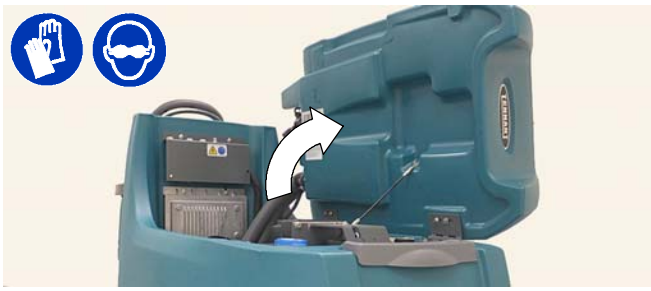


図　1

2. 図に示すように、バッテリーを慎重にバッテリー室のトレーに据え付け、バッテリーポストを配置します。 (図 2).
   図に示すように、フォームスペーサーをバッテリーの間に配置します。

安全のために：
本機の点検整備時にバッテリーを持ち上げる際は、ホイストを使用するか、または適切な援助を受けてください。

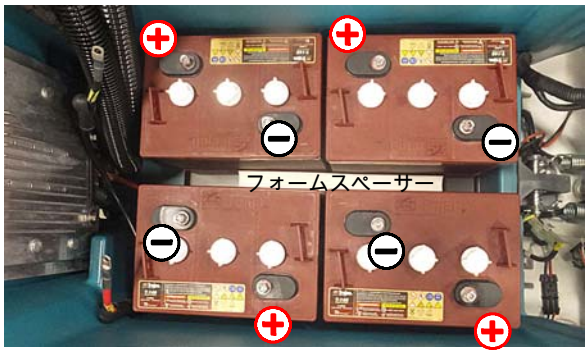


図　2

3. 供給されたバッテリーポストブーツを使用し、赤をプラス（＋）側、黒をマイナス（－）側にしてケーブルをバッテリーポストに接続します（図3）。

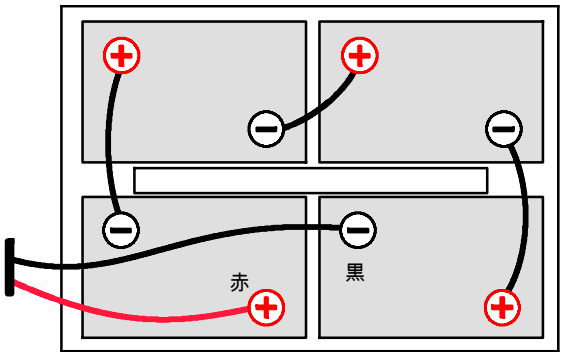


図　3

重要:
バッテリーを充電する前に、バッテリー充電器と本機のバッテリー放電インジケーターがバッテリーの種類に対応するように適切に設定されていることを確認してください。 設定を誤るとバッテリーが破損します。「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

注意：
充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

本機の機能概要

従来の洗浄：
従来の洗浄モードを使用する場合、
洗浄液タンクから水と洗剤の混合液が床に流れ、回転ブラシ/パッドが床を洗浄します。
本機が前進すると、真空吸引機能付きのスクイージーが汚れた洗浄液を床から吸い取り、汚水回収タンクに回収します。

ec-H2O NanoClean テクノロジー（オプション）：
ec-H2O NanoClean
テクノロジーを使用する場合、通常の水がモジュールを通過する際に水が電気分解して洗浄液に変化します。
この電解水は汚れを攻撃して、本機が浮いた汚れを簡単に取り除くことを可能にします。
この変換された水は、汚水回収タンクに入ると通常の水に戻ります。

ブラシとパッドについて

最良の洗浄効果を得るには、洗浄用途に適したブラシやパッドを使用してください。
以下のリストには、ブラシとパッドについての説明やそれぞれの最適な用途が記載されています。

注記：使用するブラシまたはパッドのタイプを選択する場合、汚れの程度と種類が重要な要素になります。具体的な推奨品については、テナント社代理店までご連絡ください。

ソフトナイロン洗浄ブラシ（白）-
表面仕上げを剥がさずに、コーティングを施した床面の洗浄用に推奨されます。
表面を擦らずに洗浄します。

ポリプロピレン洗浄ブラシ（黒） -
この汎用ポリプロピレン洗浄ブラシは、薄く堆積した汚れを洗浄する場合に使用してください。
このブラシはコンクリート製、木製、タイル製の床面のメンテナンスの用途に効果を発揮します。

スーパーアブレーシブ洗浄ブラシ（灰色）-
しみや汚れを取り除くために、研磨用の粗粒がナイロンファイバー繊維に含まれています。
あらゆる床面に強力な効果があります。
蓄積された汚れ、油脂、タイヤマークに効果を発揮します。

研磨パッド（白）-
高度な研磨仕上げまたは光沢仕上げの床面のメンテナンスに使用します。

バフパッド（赤）-
床の表面仕上げを剥がさずに軽度の洗浄の用途に使用します。

洗浄パッド（青）-
中程度から強力な洗浄の用途に使用します。
床面の塗り直しができるよう、汚れ、染み、擦り傷を取り除きます。

ストリッピングパッド（茶） -
床の塗り直しの下準備のために、床の表面仕上げを剥がすために使用します。

ヘビーストリッピングパッド（黒）-
濃厚な表面加工や下地用塗料の強力な剥離洗浄や非常に強力な研磨洗浄の用途に使用します。

下地調整用パッド（えび茶） -
床の塗り直しの下準備のために、化学薬品を使用しない床の表面仕上げの強力な除去に使用します。

ターフ洗浄パッド（緑）-
亀裂部、ひび、深いグラウトラインのある不規則な床面の洗浄に使用します。

本機のセットアップ

スクイージーアセンブリーの取り付け

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1. スクイージー取り付けブラケットを上昇位置まで持ち上げます。
   ペダルの下に足を入れて持ち上げます（図4）。

図　4

2. スクイージーアセンブリーをスクイージー取り付けブラケットに取り付けます（図5）。
   ノブをしっかりと締めて、スクイージーアセンブリーをブラケットに固定します。

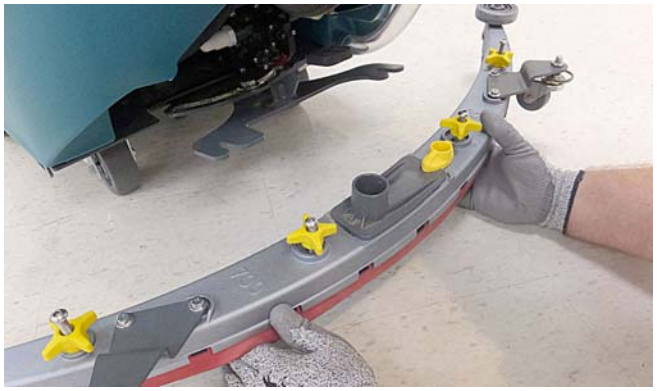


図　5

3. バキュームホースをスクイージーアセンブリーに接続します（図6）。

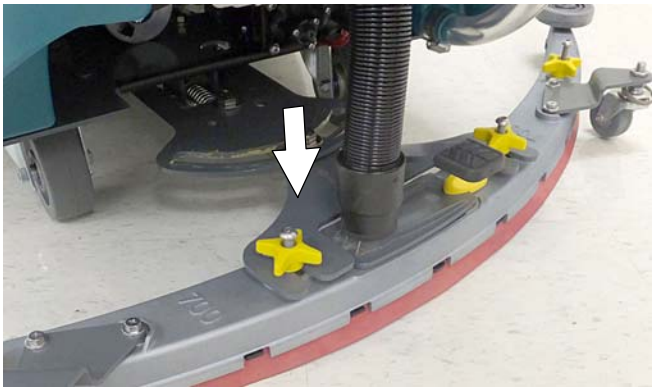


図　6

5. スクイージーブレードの反りが適正かを点検してください。
ブレードは図に示すように反らせてください（図7）。

図　7

6. ブレードの反りを調整するには、ジャムナットを緩めて、キャスターと床の間に2mm
の隙間ができるまで、キャスターの六角プレートを回してください。
ジャムナットを締め直して、他のキャスターに対してこの手順を繰り返します（図８）。

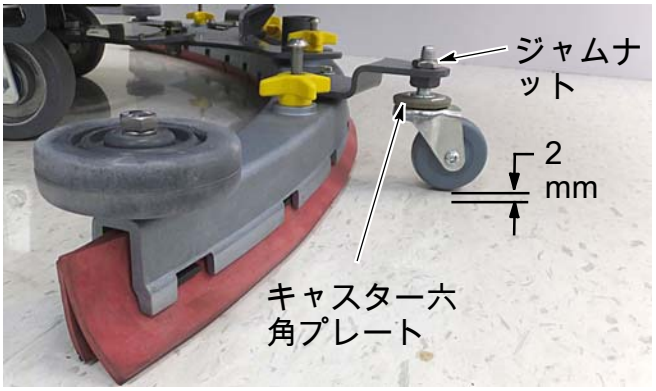


図　8

ディスクブラシ/パッドの取り付け
（ディスク洗浄ヘッドモデル）

1. 洗浄ヘッドを床から上げて、キーを外してください、

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

2. ドライバーを取り付ける前に、パッドをパッドドライバーに取り付けてください。
センターロックでパッドを固定します（図9）。

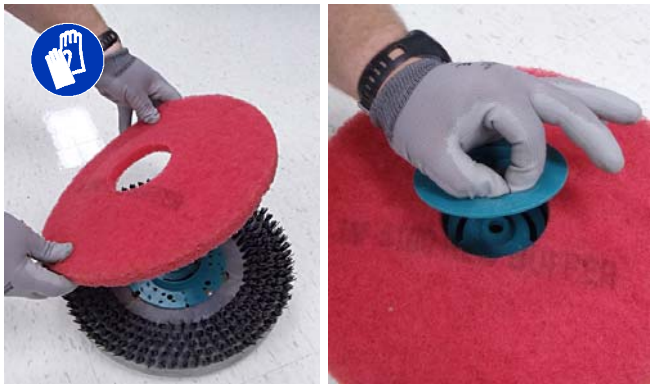


図　9

安全のために：
本機には、テナント社製純正のパッドまたはテナント社認定のパッド以外を使用しないでください。
他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。

3. ブラシを簡単に取り付けられるように、黄色のスプリングクリップを開の位置に合わせます。
クリップを下向きと外向きに押して固定します（図10）。

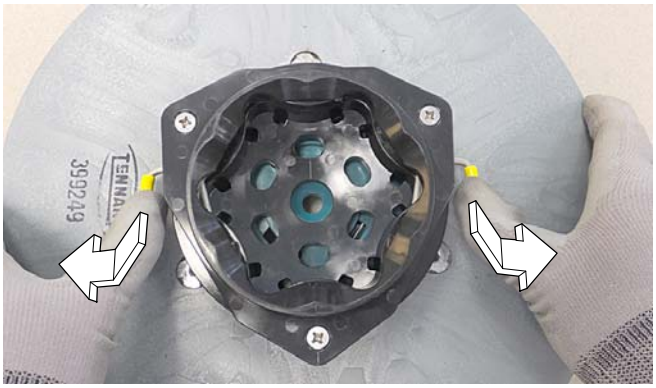


図　10

4. パッドドライバーまたはブラシをモーターハブの下に配置し、上向きに押しながらハブにかみ合わせて固定します（図11）。
清掃効果がなくなった、またはディスクブラシの毛先が摩耗して黄色のインジケーターが点灯したら、パッドまたはブラシを交換してください（図11）。

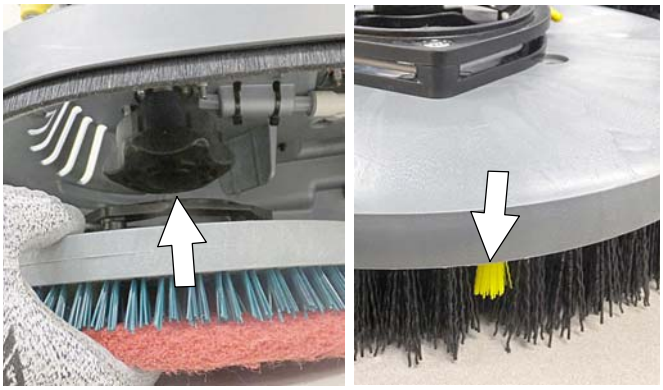


図　11

5. パッドドライバー/ブラシを取り外すには、洗浄ヘッドを上げ、黄色のパッドリリースプランジャーを下向きに押します（図 12）。
パッドが床に落ちます。

図　12

環状パッドの取り付け
（環状洗浄ヘッドモデル）

最良の洗浄効果を得るために、またパッドライバープレートや床面の損傷を防ぐために、常にワークパッドにバッカーパッドを使用してください（図13）。

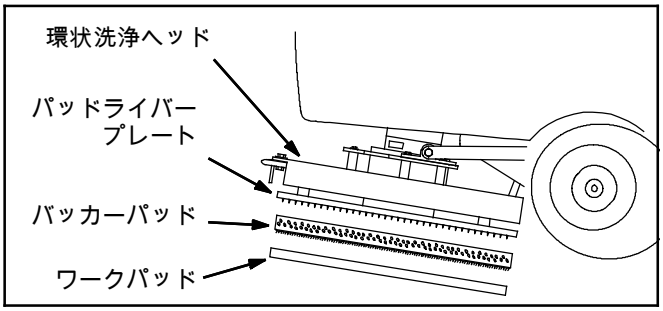


図　13

1. 洗浄ヘッドを床から上げて、キーを外してください、

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

安全のために：
本機には、テナント社製純正のパッドまたはテナント社認定のパッド以外を使用しないでください。
他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。

2. バッカーパッドと固定ひもの表を下向きにして、ワークパッドに取り付けます（図 14）。

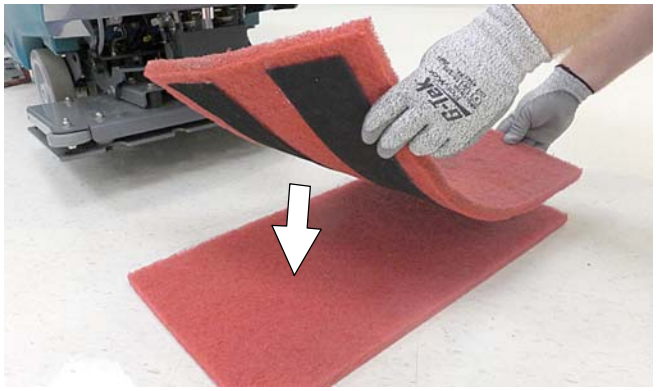


図　14

3. 2つのパッドを洗浄ヘッドの底部に取り付けます（図15）。
パッドが洗浄ヘッドの中心に取り付けられていることを確認してください。

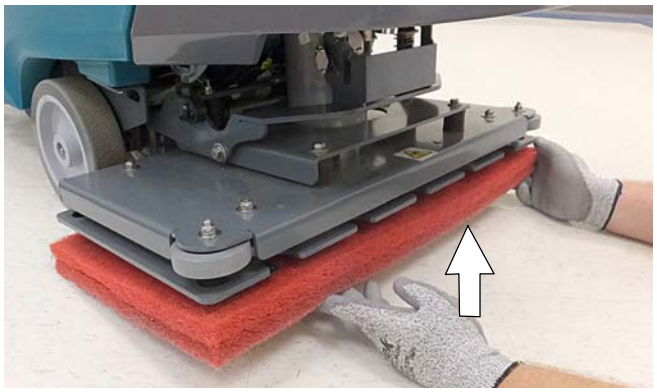


図　15

シリンダーブラシの取り付け

（シリンダーブラシ洗浄ヘッドモデル）

1. 洗浄ヘッドを床から上げて、キーを外してください、

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

2. 黄色のラッチを外して、アイドラープレートを洗浄ヘッドから取り除きます（図16）。

図　16

3. アイドラープレートを2列の毛ブラシの付いたブラシの端に取り付けます（図17）。

図　17

4. ブラシをドライブハブに配置し、ラッチを留め直します（図 18）。

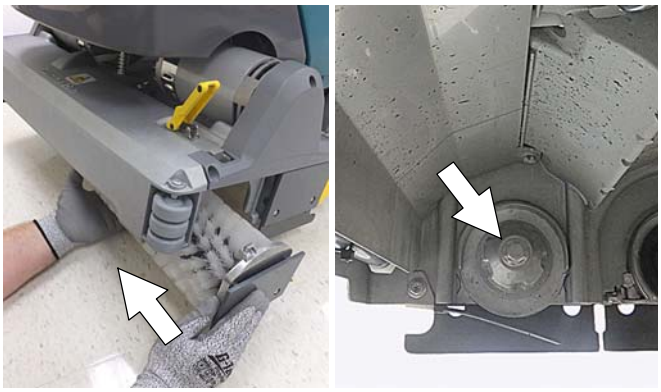


図　18

洗浄液タンクへの注水

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

本機には、洗浄液タンク注入口が 2 カ所設けられています。
洗浄液タンクの前部バケツ注入口と後部ホース注入口（図19）。

図　19

水位が洗浄液タンクのドレンホースインジケーターの「3/3」の印に達するまで注水します（図20）。

ec-H2O 洗浄（オプション）-
きれいな冷水（21℃未満）のみを使用してください。
温水を使用したり、従来タイプの洗浄洗剤を追加しないでください。
洗浄洗剤を追加すると、ec-H2O システムが故障する可能性があります。

従来の洗浄 -
温水（最大160℃）を使用してください。
容器に記載された混合比率に従って、推奨洗浄洗剤を洗浄液タンクに注入してください。

注意：
従来の洗浄を行う場合、推奨する洗剤のみを使用してください。
不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカーの保証は受けられません。

警告：
引火性物質は、爆発や火災の原因になります。
タンクに引火性物質を入れないでください。

注記：
従来タイプの洗浄洗剤を洗浄液タンクに入れた状態で、ec-H2O システムを使用しないでください。 ec-H2O システムを始動する前に、洗浄液タンクの水を抜いて洗浄してから、きれいな冷水を補充してください。「タンクの排水」を参照してください。

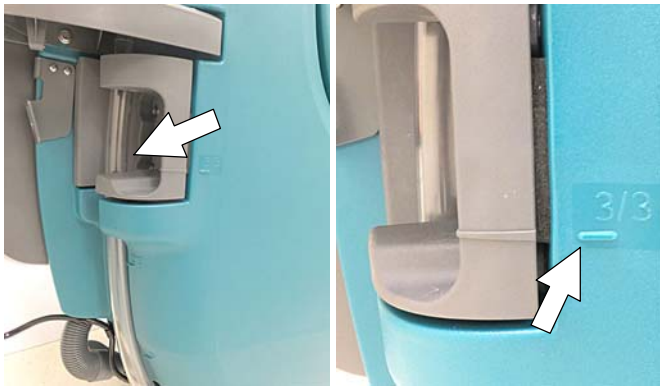


図　20

洗浄液タンクの自動充填機能の使用（オプション）

1. 取り外し簡単な自動補充填カプラを給水ホースに接続し、ニップルコネクターを本機に接続します。（図21）。

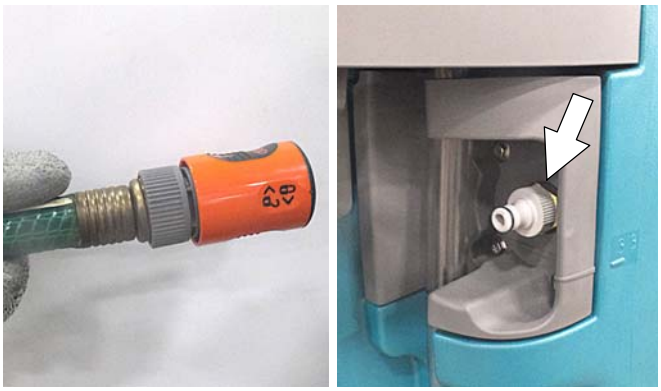


図　21

2. 取り外し簡単なカプラをカチッと音がするまで二ップルコネクターに押し込みます（図22）。
   タンクに注水中にホースがタンクから抜けることを防止するために、カプラのカラーを時計回りに回して接続をロックします。

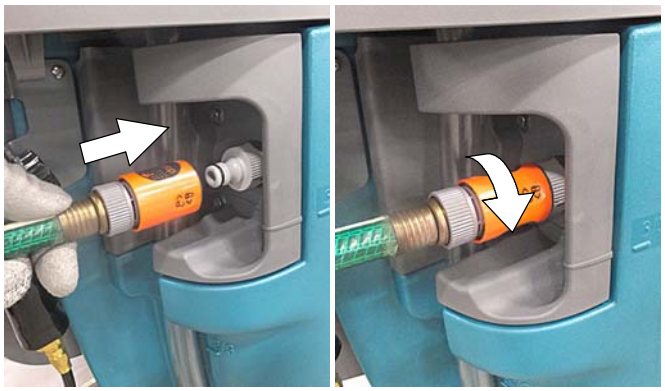


図　22

3. 給水を開始します。
   給水の流れは洗浄液タンクが満杯になると自動的に停止します。

安全のために：
本機を操作する際、自動充填機能を使用して洗浄液タンクの充填中は本機を放置しないでください。

4. 洗浄液タンクが満杯になったら、給水を停止してください。
5. カプラのカラーを左に回して接続のロックを解除します。
   次に、カプラを手前に引いて本機から接続を外します（図23）。

図　23

Severe Environment 洗浄液タンクの充填（ec-H2O モデルオプション）

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1. 汚水回収タンクを持ち上げて Severe Environment 洗浄液タンクにアクセスします（図24）。
   汚水回収タンクは持ち上げる前に空にしてください。

図　24

2. 洗浄液タンクから黒色のキャプを外し、推奨洗浄洗剤を希釈せずに追加します（図25）。
   水を追加しないでください。

図　25

警告：
引火性物質は、爆発や火災の原因になります。
タンクに引火性物質を入れないでください。

注意： Severe Environment
タンクには商業用の承認を受けた洗浄洗剤のみを使用してください。
d-リモネンベースの洗剤は使用しないでください。
不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカーの保証は受けられません。

注記：
操作中に洗剤が切れることを防ぐため、洗浄液タンクの充填時に Severe Environment
タンクも充填することを推奨します。

3. 洗浄液タンクのキャップを締めます。
4. 洗浄洗剤に記載された混合比率に従って、洗浄剤の混合比率ノブを調整します（図26）。

図　26

自動バッテリー補水タンクの充填（オプション）

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1. 汚水回収タンクを持ち上げて自動バッテリー補水タンクでの操作ができるようにします（図 27）。
   汚水回収タンクは持ち上げる前に空にしてください。

図　27

2. 自動バッテリー補水タンクから青色のキャップを外します（図28）。
3. 蒸留水をタンクに注入します（図28）。

安全のために：
本機を操作する際、自動バッテリー補水タンクの充填には必ず蒸留水のみを使用してください。

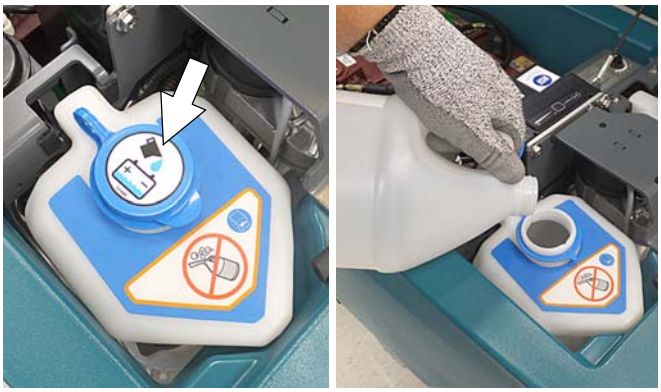
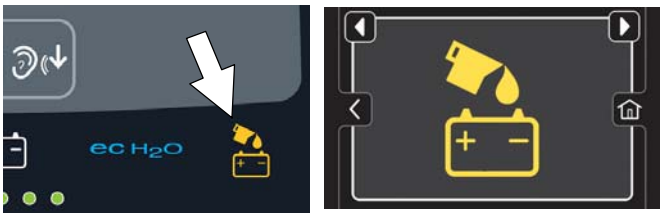


図　28

4. タンクの再充填が必要になると、ユーザーに蒸留水の追加を促す自動バッテリー補水インジケーターが点滅します（図29）。
詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。



Pro-Membrane モデル　Pro-Panel モデル

図　29

ec-H2O 水質調整カートリッジ（ec-H2O モデル）

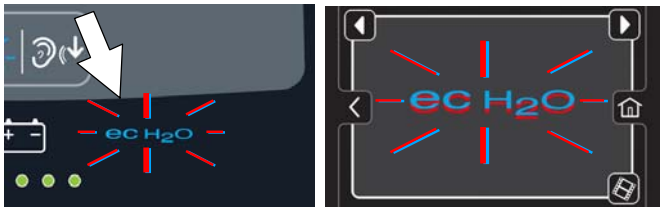
ec-H2O
システムには水質調整カートリッジが装備されています（図30）。
カートリッジは本機の配管系統のスケール付着を防止するように設計されています。

カートリッジが水の使用量の最大限度に達するか、有効期限に達するかのいずれか早い方の時点で、カートリッジの交換が必要になります。

本機の使用状況や取り扱い方によりますが、新しいカートリッジの耐用期間は12～24ヶ月です。

図　30

カートリッジの交換が必要になると、コントロールパネルは以下のコードでお知らせします（図31）。 ec-H2O
アイコンが青色と赤色に交互に点滅し始めます。
詳細は「サービスインジケーターコード」を参照してください。



Pro-Membrane　Pro-Panel モデル

図　31

カートリッジには製造日が記載されています。
未使用のカートリッジの品質保持期間は製造日から1年です。 カートリッジを新たに交換した際は、ecH2O モジュールのタイマーをリセットしてください。
「ec-H2O
水質調整カートリッジの交換」を参照してください。

注意：本機を初めて使用するとき、また水質調整カートリッジの交換後は、ec-H2O
システムによって選択した洗浄液流量の設定が自動的に最長75分間無効になります。

アクセサリーレール

本機にはコントロールコンソールをまたぐアクセサリーレールが2個装備されています。
左側のレールは汚水回収タンクおよび洗浄液タンクのドレンホースホルダーとしても機能します。

アクセサリーレールは、スプレーボトルやその他のアクセサリー商品を収納するように設計されています（図32）。

図　32

レール下側にあるJフックにはダストバッグを収納できます（図33）。

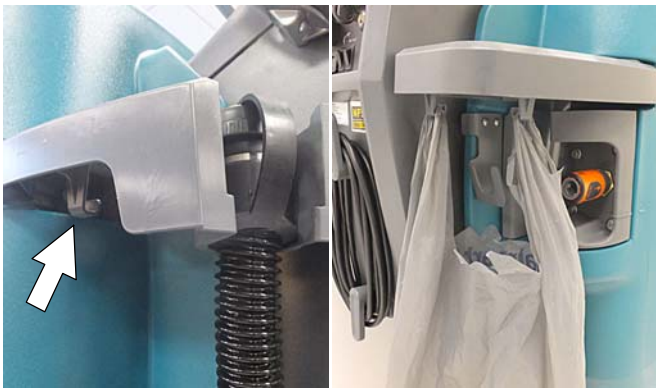


図　33

アクセサリークリップ（オプション） -
オプションのアクセサリークリップを備えているモデルでは、追加のアクセサリーの収納用にクリップの簡単な取り付けと取り外しができます（図34）。

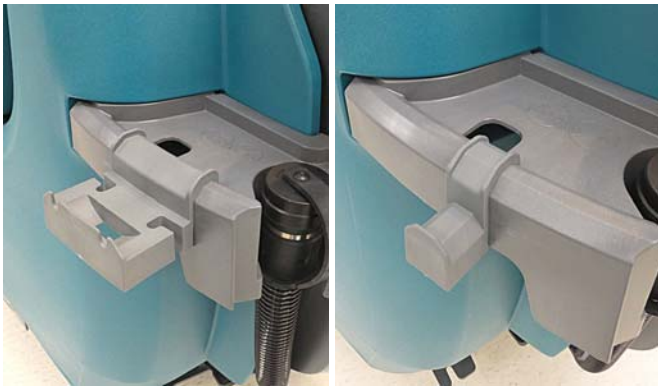


図　34

アクセサリークリップを取り付けるには、クリップをレールにかけ、クリップが固定されるまで下向きに押します。
アクセサリークリップを取り外すには、クリップの下側を持ち、レールから外れるまでラッチタブを慎重に下に引きます（図35）。

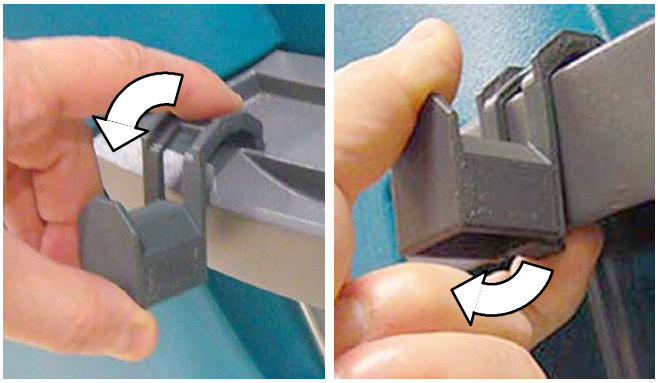


図　35

オプションのアクセサリークリップには、濡れた床に注意の看板、スプレーボトル、ダストバッグなどを収納できます（図36）。

図　36

注意：アクセサリーレールを使用して本機を持ち上げないでください。本機を損傷する恐れがあります。

注意：アクセサリーレールに足を掛けないでください。本機を損傷する恐れがあります。

コントロールパネルの操作

コントロールパネル操作は、管理者操作機能を使用して、ロックアウト機能を設定できます。
この機能は、オペレーターによるゾーン設定の変更や保存を防止します。
マニュアルの裏面に記載された「**管理者コントロール**」を参照してください。

管理者コントロール機能は、一貫して再現可能な洗浄効果を発揮するように、本機の性能変動を抑えて、オペレーターの経験にかかわらず、本機の品質確保とオペレーターのトレーニング時間の短縮を実現します。

PRO-MEMBRANE コントロールパネル

1-STEP ボタン

キーの電源スイッチがオンの状態で 1-STEP ボタンを押して、洗浄機能を有効にします（図37）。 洗浄ヘッドが床へと下がります。
洗浄動作を停止させて、洗浄ヘッドを上げるには、ボタンをもう一度押します。

図　37

ブラシ圧ボタン

ブラシ圧ボタンを押してブラシ圧を増減します（図38）。
ブラシ圧インジケーターは圧力の設定を表示します。 LED1個 = 低、LED2個 = 中、LED3個 = 高。

図　38

*注記：*環状洗浄ヘッドモデル -
ブラシ圧が洗浄条件に対して高すぎる圧力に設定されている場合、より低いブラシ圧の設定に自動的に変わり、インジケーターが点滅し始めます。 点滅中の LED は、ブラシモーターの過負荷を防止するためにブラシ圧の設定を低下させるように、オペレーターにアラートを通知します。

洗浄液流量ボタン

洗浄液流量ボタンを押して洗浄液の流量を増減します（図39）。
洗浄液流量インジケーターは洗浄液の流量の設定を表示します。
LED消灯 = 流量なし、LED1個 = 低流量、LED2個 = 中流量、LED3個 = 高流量。

図　39

Severe Environment ボタン（ec-H2O モデルオプション）

Severe Environment ボタンを押すと、頑固な汚れが蓄積しているエリアに対して洗浄剤の散布が増強されます（図40）。

ボタンを1回押すと、30秒間ほど散布が増強されます。散布時に隅にある緑色のLEDがゆっくりと点滅します。最後の5秒間はLEDが速く点滅し、散布がまもなく終了することを警告します。

洗浄剤散布の増強を継続させるには、緑色の LED が緑色の点灯に変わるまで、ボタンを2秒間押し続けてください。ボタンを押すといつでも停止できます。

タンクが空になると、気泡アイコンが 15 秒間点滅して、ユーザーにアラートを通知します。
タンクが空の状態でボタンが押された場合は、タンクが再充填されるまで気泡アイコンが15秒間点滅し続けます。

*注記： Severe Environment モードがオンになると、ec-H2O システムは自動的に停止し、ブラシ圧と洗浄液流量は「高」の設定に上がります。
オフになると元の設定に戻ります。*

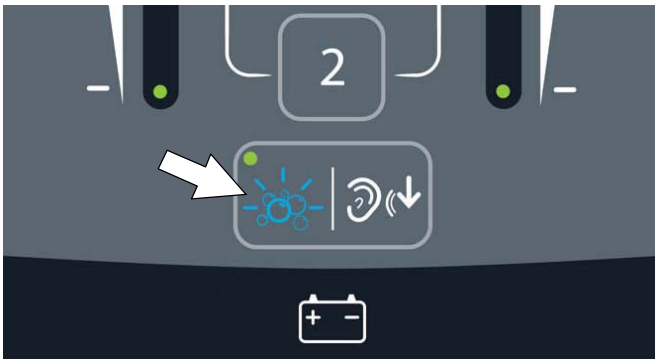


図　40

Quiet-Mode ボタン

Quiet-Mode
ボタンを押して、バキュームモーター音を下げます (図41) 。
設定が有効になると隅にある緑色のLEDが点灯します。 ボタンを押してオフにします。

図　41

プリセットゾーンコントロールボタン

ゾーンコントロールボタンを使用して、異なる洗浄液の流量、ブラシ圧、洗浄速度、洗浄モードを選択して、最大3つのゾーンをプリセットします (図42) 。

ゾーン 1 = プリセットゾーンコントロールボタン 1
ゾーン 2 = プリセットゾーンコントロールボタン 2
ゾーン 1 = プリセットゾーンコントロールボタン 1

ゾーンコントロールボタンは、異なる洗浄用途向けに工場出荷時にプリセットされています。 ゾーン 3 を使用するには、ゾーンボタン 1 と 2 を同時に押してください。
設定が有効になると隅にある緑色のLEDが点灯します。

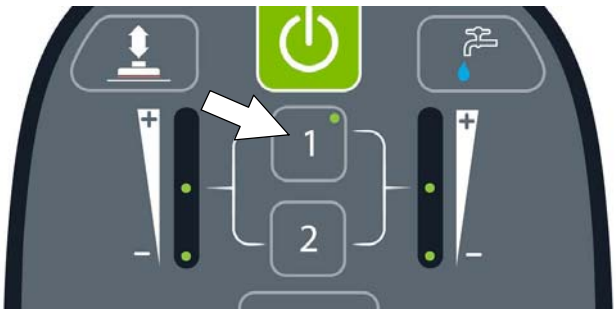


図　42

ゾーンコントロールボタンを異なる洗浄用途向けにプリセットするには、以下のリストから希望する設定を選択して、緑色のLED
が3回点滅するまでゾーンボタンを押し続け、プリセットの設定を保存します。
ゾーン 3
をプリセットするには、ゾーンボタン 1 と 2 を同時に押し続けてください。

- ブラシ圧の設定
- 洗浄液の流量
- Quiet-Mode のオン/オフ
- ec-H2O システムのオン/オフ (オプション)
- Severe Environment
  モードのオン/オフ (オプション)
- 最大洗浄速度 (「管理者コントロール」を参照)

注記： Severe Environment モードと ec-H2O システムを組み合わせたプリセットはできません。

ec-H2O インジケーター (オプション)

ecH2O
システムは、キースイッチで始動するたびに自動的に作動します。 青色の ec-H2O インジケーターがコントロールパネルに表示され、システムが始動したことを知らせます。 ec-H2O
システムをオフにするには、キースイッチ下の ec-H2O スイッチを押します。 青色の ec-H2O インジケーターが消えます。

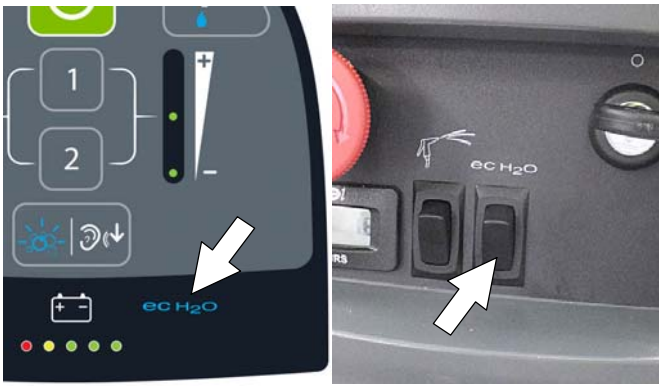


図　43

ec-H2O インジケーター	状態
青色の点灯	正常な動作状態
青色/赤色の点滅	水質調整カートリッジの有効期限が経過しました。カートリッジを交換してください。
赤色の点灯または点滅	システム障害が発生しました。「サービスインジケーターコード」を参照してください。

注記： ec-H2O
システムで異常が発生した場合、本機は ec-H2O
システムを自動的に停止し、従来の洗浄モードに切り替えます。
サービスインジケーターのアイコンは赤色に点灯し続けるか、ec-H2O
の故障が修理されるまで赤色に点滅し続けます。

サービスインジケーター

本機または搭載充電器が故障を検出すると、サービスインジケーターが点灯した後、点滅し始めます（図44）。
バッテリー放電インジケーターライトもまた故障コードを点滅させます。
本機の故障診断については「サービスインジケーターコード」を参照してください。

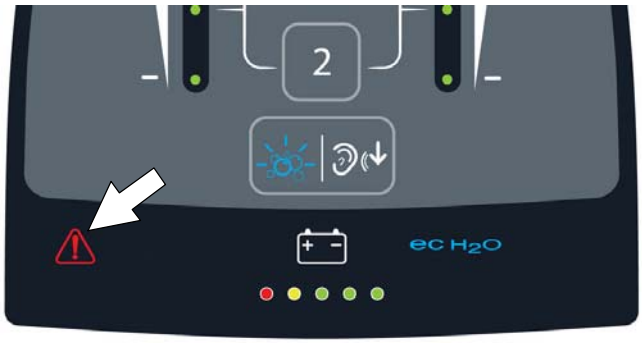


図　44

バッテリー放電インジケーター

バッテリー放電インジケーター（BDI）は、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。
バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケーターライトがすべて点灯します（図45）。
放電レベルが赤いライトに到達した場合は、洗浄を停止してバッテリーを充電してください。
赤いライトが点滅し始めると、洗浄機能は自動的に停止し、バッテリーが完全に放電されないよう保護します。
赤いライトが点滅していても、本機は走行できます。
そのためユーザーは本機を充電ステーションまで移動させることができます。

図　45

スプレーノズルインジケーター（オプション）

スプレーノズルインジケーターは、スプレーノズルのスイッチが押されると表示されます（図46）。
このスイッチを押すと、スプレーノズルポンプが始動し、使用中は本機の走行が停止します。
ベイルを引くと、スプレーノズルインジケーターが点滅して、スプレーノズルポンプが作動したことを知らせます。
スイッチをもう一度押して、スプレーノズルポンプをオフにします。
「スプレーノズルの操作」を参照してください。

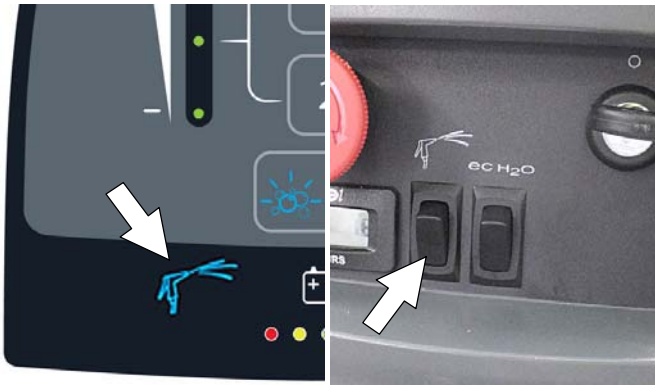


図　46

自動バッテリー補水インジケーター（オプション）

自動バッテリー補水インジケーターは、バッテリー補水タンクが空になり、補水が必要になると点滅します（図47）。
タンクが再充填されない場合、バッテリーの損傷を防止するために、本機の洗浄機能は10時間の連続運転後に停止します。
インジケーターの点滅が高速になると、洗浄機能は停止します。
蒸留水を追加して、点滅中のインジケーターを消すためにキースイッチで再始動してください。
「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。

図　47

PRO-PANEL コントロール

ホーム画面

ホーム画面のインターフェースに表示されるユーザーモードは2種類あります。

管理者モード -
すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機を運転できるほか、オペレーターモードに対して許可と制限やログイン機能を設定することができます。

オペレーターモード -
管理者によって制御された許可と制限の下で本機を運転することができます。

キースイッチで始動すると、工場出荷後の新しい装置は自動的に管理者モードで始動します。

オペレーターモードに対する許可と制限やログイン機能を使用してホーム画面を設定するには、マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

管理者モードのホーム画面では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンにアクセスすることができます（図48）。

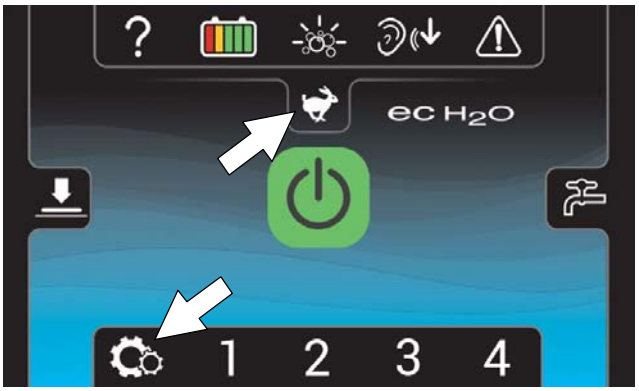


図　48

オペレーターモードのホーム画面では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンへのアクセスが制限されます（図49）。

図　49

ヘルプボタン

初めて本機を使用するユーザーは、ヘルプボタン（？）を押してヘルプ画面にアクセスできます。
ヘルプ画面では、画面上に表示する異なる言語の選択、ログイン設定の有効化、コントロールパネルのアイコンの識別、本機のスタートアップビデオの参照、本機のシステム情報へのアクセスを行うことができます（図50）。

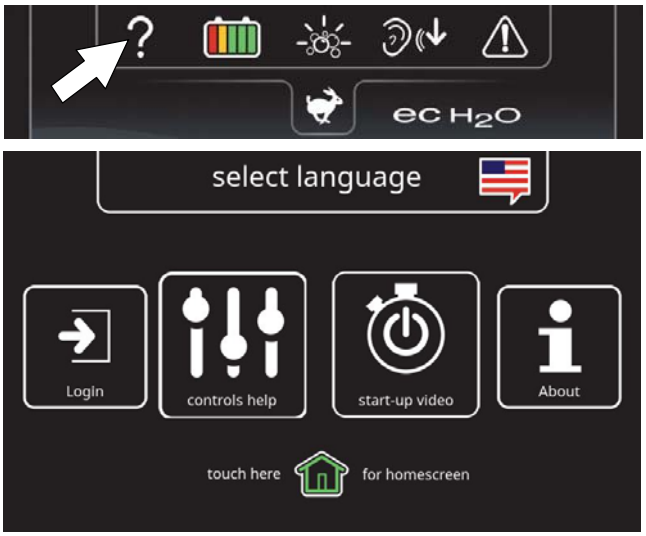


図　50

ログイン画面

管理者モードのログインが有効になっている場合、キースイッチでの始動時にログイン画面が表示されます（図51 ）。
割り当てられたログインコードを入力し、緑色の矢印を押して、ホーム画面にアクセスします。
始動時にログインを有効化する方法については、マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

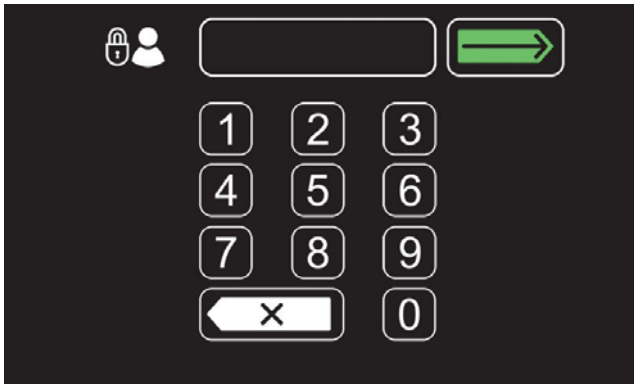


図　51

ec-H2O インジケーター (オプション)

ecH2O
システムは、キースイッチで始動するたびに自動的に作動します。 ec-H2O
アイコンがホーム画面に表示され、システムが始動したことを知らせます (図52)。
ec-H2O
システムをオフにするには、キースイッチ下の ec-H2O スイッチを押します。
斜線のかかったアイコンは、ec-H2O
システムのオフ状態を示します。

図 52

1-STEP ボタン

1-STEP
ボタンを押して、洗浄機能を有効にします (図53)。 洗浄ヘッドが床へと下がります。
洗浄動作を停止させて、洗浄ヘッドを上げるには、ボタンをもう一度押します。

図 53

ブラシ圧ボタン

ブラシ圧ボタンを押してブラシ圧インジケーターを表示します (図54)。
(+) ボタンを押して、ブラシ圧を上げます。
(-) ボタンを押して、ブラシ圧を下げます。

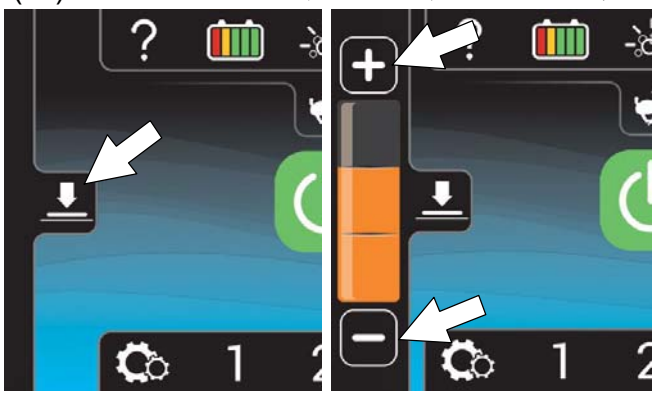


図 54

注記 : ブラシ圧が洗浄条件に対して高すぎる圧力に設定されている場合、より低いブラシ圧の設定に自動的に変わり、インジケーターが点滅し始めます。
インジケーターが点滅したら、ブラシモーターの過負荷を防止するためにブラシ圧を下げてください。

洗浄液流量ボタン

洗浄液流量ボタンを押すと洗浄液流量インジケーターが表示されます (図55)。
(+) 記号を押して洗浄液流量を上げます。
(-) 記号を押して洗浄液流量を下げます。

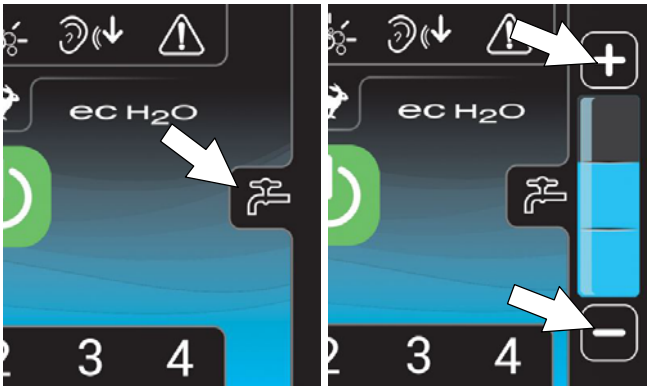


図 55

Severe Environment ボタン
（ec-H2O モデルオプション）

Severe Environment
ボタンを押すと、蓄積された頑固な汚れのある工リアに対して洗浄洗剤の強化された効果が発揮されます（図56）。

ボタンを1回押すと、30秒間の洗剤洗浄力の強化機能が有効になります。
ボタンが緑色に変わり、タイマーが30秒間のカウントダウンを開始します。
ボタンを押すといつでも停止できます。

洗浄力の強化機能を継続させるには、緑色の LED が緑色の点灯に変化するまでボタンを2秒間押し続けてください。
ボタンを押すといつでも停止できます。

Severe Environment
洗剤タンクが空になると、ユーザーにアラートを通知するために、ボタンが黄色に点滅します。

注記： Severe Environment モードがオンになると、ec-H2O システムは自動的に停止し、ブラシ圧と洗浄液流量は「高」の設定に上がります。オフになると元の設定に戻ります。

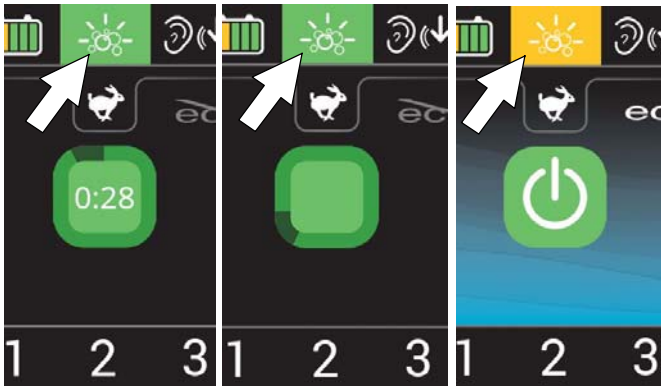


図　56

最大洗浄速度ボタン

最大洗浄速度ボタンを押して、最大洗浄設定にアクセスします（図57）。
（+）ボタンを押して、最大洗浄速度を上げます。
（-）ボタンを押して、最大洗浄速度を下げます。
最大洗浄速度ボタンは、管理者モードでのみアクセスすることができます。
詳細については、マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

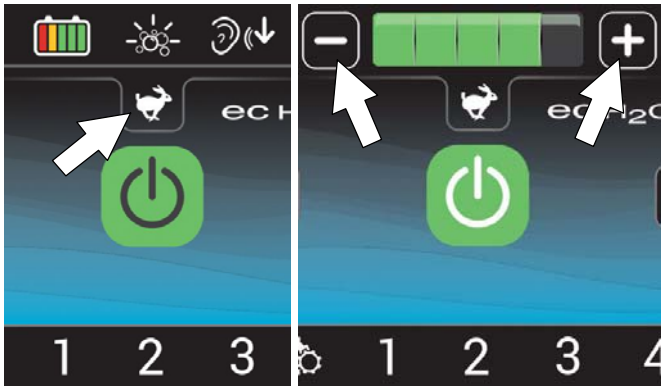


図　57

Quiet-Mode ボタン

音量規制のある場所では、静音モードボタンを押して、バキュームモーター音を下げます（図58）。
作動するとボタンが緑色に変わります。
ボタンをもう一度押してオフにします。

注記： Quiet-Mode になると水の吸引力が若干低下します。

図　58

スプレーノズルインジケーター（オプション）

スプレーノズルインジケーターは、スプレーノズルのスイッチが押されると表示されます（図59）。
このスイッチを押すと、スプレーノズルポンプが始動し、使用中は本機の走行が停止します。
ベイルを引くと、スプレーノズルインジケーターが点滅して、スプレーノズルポンプが始動されたことを知らせます。
スプレーノズルをオフにするには、スプレーノズルインジケーターを押すか、スイッチをもう一度押します。
「スプレーノズルの操作」を参照してください。

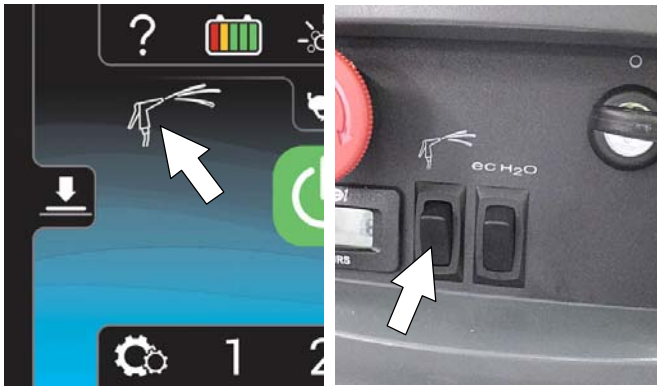


図　59

バッテリー放電インジケーター

バッテリー放電インジケーター（BDI）は、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。
バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケーターライトがすべて点灯します（図60）。
放電レベルが赤いライトに到達した場合は、洗浄を停止してバッテリーを充電してください。
赤いライトが点滅し始めると、洗浄機能は自動的に停止し、バッテリーが完全に放電されないよう保護します。
赤いライトが点滅していても、本機は走行できます。
そのためユーザーは本機を充電ステーションまで移動させることができます。

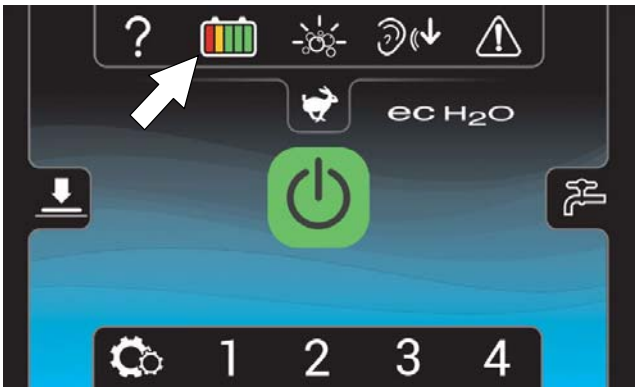


図　60

ビデオチュートリアルボタン（オペレーターモードのホーム画面）

ビデオチュートリアルボタンを押して、ビデオチュートリアル画面にアクセスします（図61）。
このチュートリアルには、具体的な操作方法や整備手順についてのビデオが含まれています。
ビデオボタンを押して、ビデオを開始します。
回転ボタンを押して、追加のビデオを参照します。
右下のビデオボタンを押すと、追加のチュートリアルビデオのリストが表示されます。

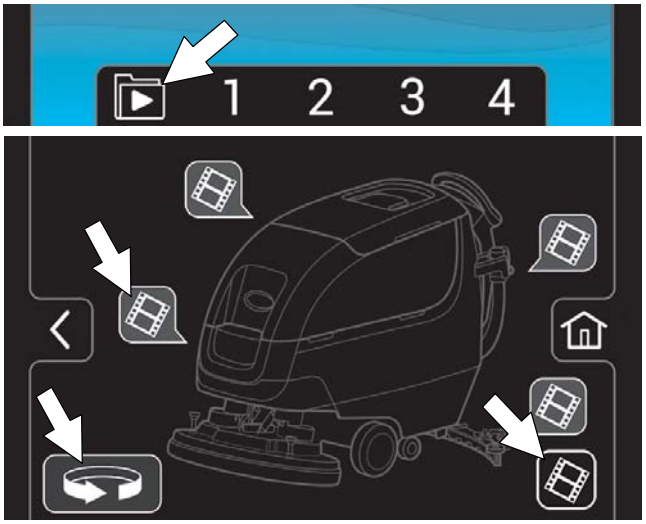


図　61

プリセットゾーンコントロールボタン

ゾーンコントロールボタンを使用して、異なる洗浄液の流量、ブラシ圧、洗浄速度、洗浄モードを選択して、最大4つのゾーンをプリセットします（図62）。

4つのゾーンコントロールボタンは、異なる洗浄用途向けに工場出荷時にプリセットされています。
ゾーンコントロールボタンは、ゾーンが有効になると緑色に変化します。

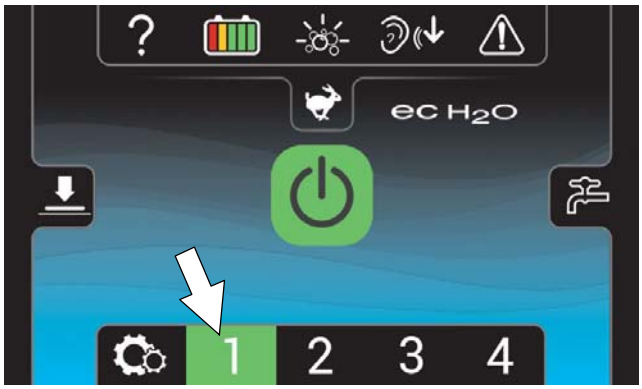


図　62

異なる洗浄用途向けにゾーンコントロールボタンをプリセットするには、以下を実行してください。

注記： 工場出荷時の Zone Settings を変更できるのは管理者モードのみです（マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照）。

1. 以下のリストから希望する設定を選択します。
   - ブラシ圧
   - 洗浄液の流量
   - Quiet-Mode のオン/オフ
   - ec-H2O システムのオン/オフ（オプション）
   - Severe Environment モードのオン/オフ（オプション）
   - 最大洗浄速度

   注記： Severe Environment モードと ec-H2O システムを組み合わせたプリセットはできません。

2. 次に、新規のプリセットゾーンの名前を付けるように指示されるまで、ゾーンボタンを押し続けます。
   プリセットゾーンの名前を付けるには「はい」を選択します（図63）。

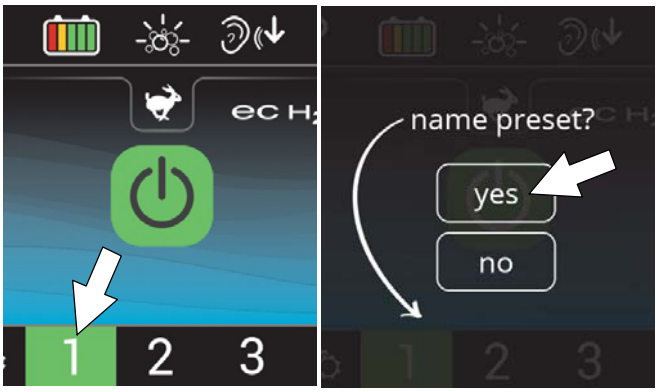


図　63

3. 例えば、Zone Settings を口ビーの洗浄用に設定した場合は、ゾーン名を「ロビー」と入力します（図64）。
   緑の矢印を押して、新しいゾーンのプリセットを保存します。

図　64

4. ゾーンボタンを押すとゾーン設定番号の上に名前が表示されます（図65）。
   他のゾーンについても同じ手順を繰り返します。

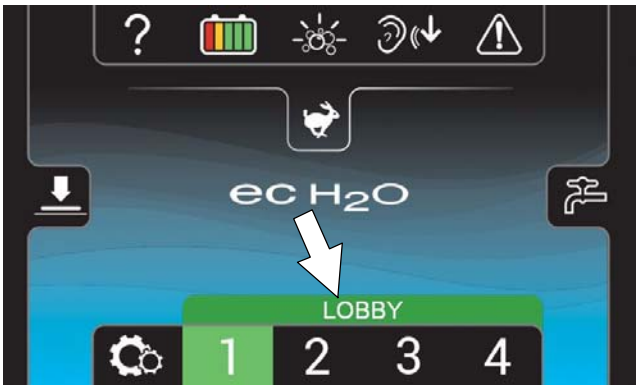


図　65

サービスインジケーターボタン

本機で異常が検出されると、サービスインジケーターボタンが黄色または赤色に点滅します（図66）。
サービスインジケーターボタンを押して、故障画面を参照します。

黄色の点滅は本機を修理する必要がある警告を示しますが、本機は運転可能です。
赤色に点滅した場合、本機の電源が切れ、修理を必要とする故障を知らせます。
以下の「故障画面」を参照してください。

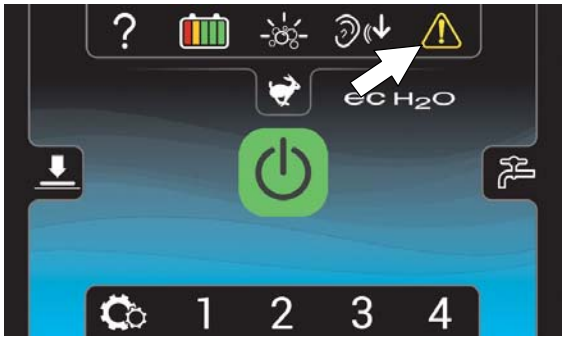


図　66

故障画面

異常が最初に検出されると、異常を知らせるために以下の故障画面が自動的に表示されます。

画面上部の左と右の矢印ボタンを押して、故障画面全体をスクロールします。

黄色の本機の故障画面（図67）-
本機で異常が検出されました。
故障コードは故障アイコンの下に表示されます。
「サービスインジケーターコード」を参照してください。

図　67

青色と赤色に点滅する ec-H2O 画面（図68）-
水質調整カートリッジの有効期限が切れました。
「ec-H2Oナノクリーン水質調整カートリッジの交換」を参照してください。

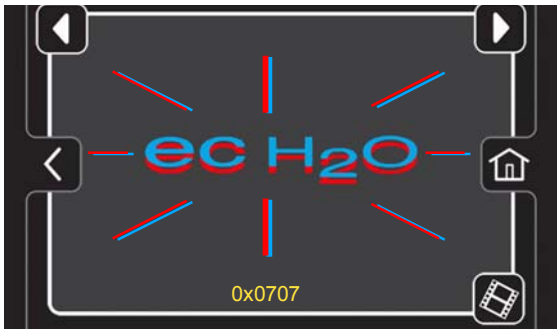


図　68

黄色の ec-H2O 故障画面 - 本機が ec-H2O システムの水質または配管の異常を検出しました（図69）。

赤色の ec-H2O 故障画面 - 本機が ec-H2O システムの電気系統の異常を検出しました（図 69）。

故障コードは ecH2O アイコンの下に表示されます。
「サービスインジケーターコード」を参照してください。

*注記：*ec-H2O システムで異常が発生した場合、本機は ec-H2O システムを自動的に停止し、従来の洗浄モードに切り替えます。
サービスインジケーターボタンは、ec-H2O の故障が修理されるまで点滅し続けます。

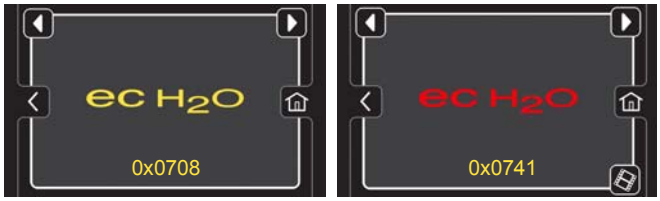


図　69

黄色の自動バッテリー補水故障画面 -
自動バッテリー補水タンクが空で補水が必要です（図70）。
タンクが再充填されない場合、バッテリーの損傷を防止するために、本機の洗浄機能は10時間の連続運転後に停止します。
蒸留水をバッテリー補水タンクに追加して、故障コードの表示を消すためにキースイッチで始動します。
「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。

赤色の自動バッテリー補水故障画面 -
自動バッテリー補水タンクが空で補水が必要です。
洗浄機能はタンクが再充填されるまで無効になります（図70）。
蒸留水をバッテリー補水タンクに追加して、故障コードの表示を消すためにキースイッチで始動します。
「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。

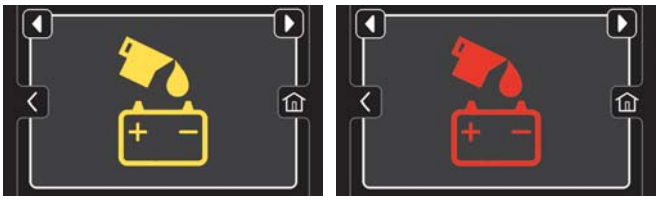


図　70

本機の設定ボタン

本機の設定ボタンを押して、以下のメニューオプションにアクセスします（図71）。

本機の設定ボタンにアクセスするには、ホーム画面が管理者モードに設定されている必要があります。
マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

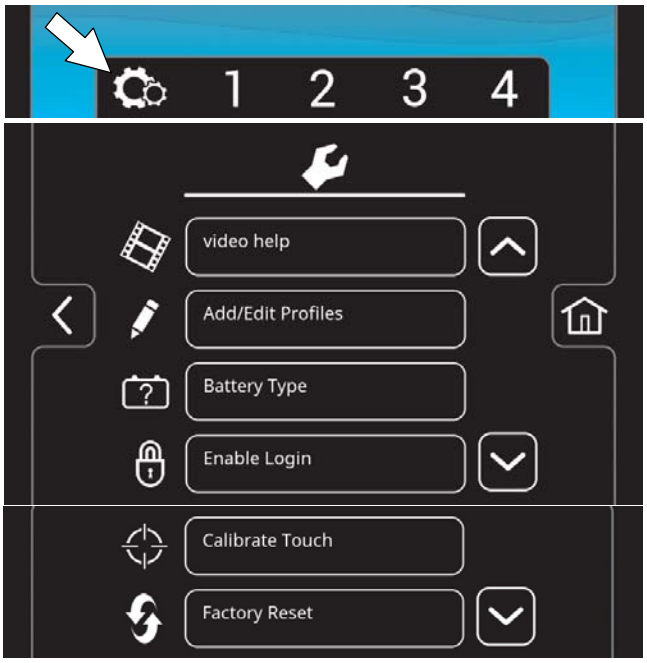


図　71

ビデオに関するヘルプ -
特定の操作とメンテナンスの手順を参照するために使用します。 図61を参照。

プロファイルの追加/編集 -
本機の用途に対応するように、ユーザープロファイルを追加/編集するために使用します。
「管理者コントロール」を参照してください。

バッテリーの種類 -
異なる種類のバッテリーに対応するように本機を設定するために使用します。
搭載型充電器の充電プロファイルが、本機に搭載のバッテリーの種類に適切に対応するようにプログラミングされることを確保します。
「バッテリー」を参照してください。

ログイン可 -
本機の始動時に、本機を運転するのに必要なログインコードを有効化するために使用します。

タッチ補正アイコン -
タッチポイントの位置ずれがある場合にタッチ画面を補正するために使用します。

工場出荷時の状態にリセット -
管理者ログインコードを工場出荷時のデフォルトコードにリセットするほか、ユーザープロファイルを削除し、カスタマイズされたプリセットゾーンコントロールボタンを工場出荷時のプリセットゾーンにリセットします。
「管理者コントロール」を参照してください。

本機の操作

安全のために：
オペレーターマニュアルを読み、その内容を理解するまで、本機を操作しないでください。

運転前のチェックリスト

- ❑ 床を掃除し、障害物を取り除いてください。
- ❑ ブラシやパッドの磨耗や損傷を点検してください。
- ❑ スクイージーブラシの磨耗や損傷を点検してください。
- ❑ 回収タンクが空で、ごみ取りトレーに汚れがなく、フロート停止スクリーンが設置済みできれいなことを確認してください。
- ❑ 洗浄ヘッドスカートの磨耗や損傷を点検してください。
- ❑ シリンダーブラシモデル -
  ごみ容器が空できれいなことを確認してください。
- ❑ ec-H2O 洗浄：
  洗浄液タンクがきれいな冷水のみで充填されていることを確認してください。
- ❑ ec-H2O 洗浄：
  従来タイプの洗剤/還元剤がすべて排出され、洗浄液タンクのすすぎが完了していることを確認してください。
- ❑ 本機が正しく動作するか点検してください。

本機の操作

コントロールパネルの操作手順については、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

1. パーキングブレーキレバーが装備されている場合は、それを解除します（図72）。
2. キーをオン（I）の位置に回します（図72）。

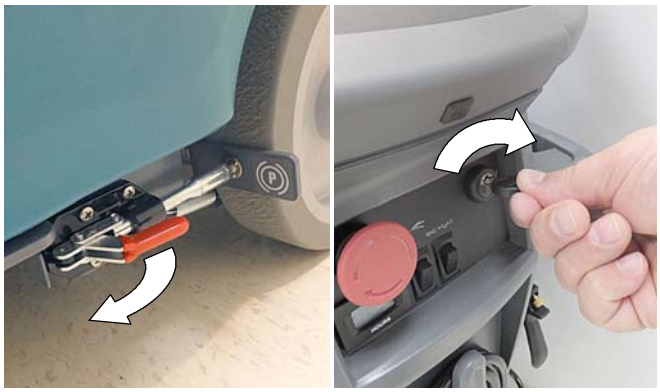


図　72

3. ec-H2Oモデル -
   本機をキースイッチで始動すると、ecH2O システムは自動的に作動します。
   ec-H2O
   インジケーターがコントロールパネルに表示され、システムが始動したことを知らせます（図73）。

注意：洗浄液タンクに洗浄洗剤を入れて操作する従来の洗浄の場合、ec-H2O
スイッチを押して、ec-H2O
システムの電源スイッチが切れていることを確認してください（図73）。
洗浄洗剤が誤って ec-H2O
システムに循環されると、システム障害が発生します。
故障コードの表示を消すには、洗浄液タンクを空にして、きれいな水を補充して、ec-H2O システムを作動させます。
故障が繰り返し発生する場合、故障コードの表示が消えるまで、キースイッチを押し続けます。
詳細は「サービスインジケーターコード」を参照してください。

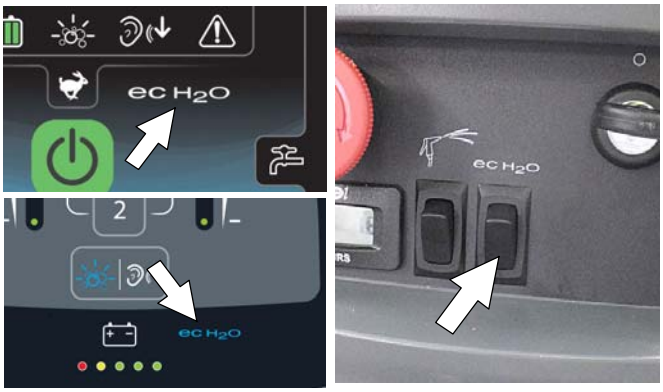


図　73

4. 図に示すように、フットパッドをつま先で踏んで、スクイージーアセンブリーを床に下げます（図74）。
   スクイージーアセンブリーを上げるには、フットパッドの下につま先を入れて持ち上げます。
   バキュームモーターは、スクイージーが床面まで下がると自動的に始動します。

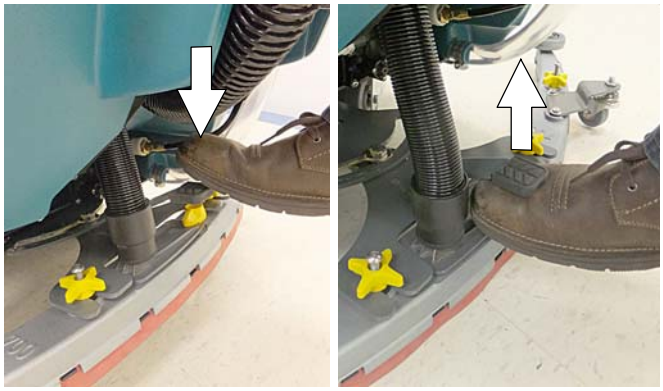


図　74

5. 1-STEP
   ボタンを押して、洗浄機能を有効にします（図75）。 洗浄ヘッドが床へと下がります。

図　75

6. 方向レバーを前方に押して、前進します（図76）。
   本機を逆方向に動かすには、レバーを後方に引きます。
   本機の後退時は、スクイージーアセンブリーを持ち上げます。

図　76

7. 洗浄を開始するには、スタートベイルを引きます（図77）。

図　77

8. スピードダイヤルを希望の速度まで回して、洗浄速度を調整します（図78）。

図　78

9. 洗浄を停止するには、スタートベイルを放して、1-STEP
   ボタンを押して、スクイージーアセンブリーを床から上げます。
   キーをオフにし、パーキングブレーキをかけます（装備されている場合）。

注記：
洗浄ヘッドを床から上げた後、床から残りの水を吸い上げるには、スクイージーを下げた状態で本機を前進させます。

非常停止ボタン

緊急時には、非常停止ボタンを押します（図79）。
この赤色のボタンは、本機に接続されたすべての電源を切ります。
電源を復帰させるには、ボタンを時計回りに回して、キーを再始動させます。

図　79

スプレーノズルの操作 (オプション)

スプレーノズルは、以下の用途に使用します。
給水は本機の洗浄液タンクから供給されます。
洗浄洗剤を洗浄液タンクに追加した場合、すすぎの用途にスプレーノズルを使用しないでください。

- 回収タンクを洗浄する
- スクイージーアセンブリーを掃除する
- 洗浄ヘッドスカートを掃除する
- ブラシと洗浄ヘッドの下側を掃除する
- 床より高いエリア (幅木など) を掃除する

オフアイル洗浄など、本機が余分な水を回収できないエリアでスプレーノズルを使用しないでください。
本機本体の洗浄用にスプレーノズルを使用しないでください。

安全のために：
本機を操作する際、滑る危険性があるため、オフアイル洗浄用にスプレーノズルを使用しないでください。

安全のために：
点検整備する際、本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
電気系統が故障する可能性があります。
湿らせたウエスを使用してください。

スプレーノズルのスイッチを押して、スプレーポンプを始動します (図80)。
スイッチをもう一度押して、スプレーノズルをオフにします。

注記：
スプレーノズルのスイッチが作動中は、本機の運転は停止します。

図　80

本機の運転時

警告：
引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。 回収しないでください。

1. 清掃幅はそれぞれ 2 in / 5 cm
   重なるようにしてください。
2. 床の表面仕上げを傷つけないように本機の動きを維持してください。
3. スクイージーブレードにより筋が残る場合は、ブレードを布で拭いてください。
4. 本機が柱や壁にぶつからないようにしてください。
5. 本機の排水や補水を行う際は、必ずオプションの Severe Environment
   タンクを洗剤で補充してください。

安全のために：
本機を操作する際は、最大2%の傾斜角度に限定してください。

6. 泡が過剰に発生する場合は、推奨消泡剤を汚水回収タンクに入れてください。

   注意：泡が多すぎるとフロート停止スクリーンが作動せず、その結果バキュームモーターが損傷する可能性があります。

7. 汚れがひどい場所には、ダブル洗浄を行ってください。
   まず、スクイージーを上げたまま汚れを洗浄し、洗浄液を3～5分なじませてから、今度はスクイージーを下げて汚れを洗浄してください。
8. 環状洗浄ヘッドモデル -
   タイルコーブ (図81)、ペデスタルシンクなどの床の据え付け品や壊れやすい物の付近で作業する際は注意してください。
   損傷を防ぐため、金属製の洗浄ヘッド端部を近づけないでください。

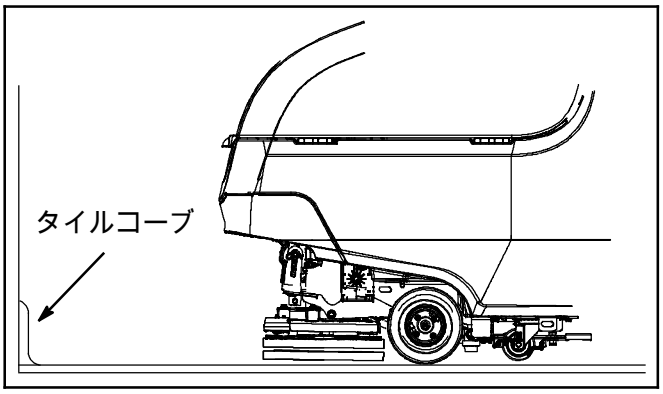


図　81

9. 本機を離れる際は、本機を平坦な表面に停め、スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。
10. 周囲温度が43- C 以上または2℃
    以下の場所で本機を運転しないでください。

サーキットブレーカーパネル

本機は、電流過負荷から本機を保護する、リセット可能なサーキットブレーカーを装備しています。
サーキットブレーカーが作動したら、バッテリーケーブルの接続を外し、ブレーカーが冷えてから、リセットボタンを押してブレーカーをリセットしてください。 バッテリーケーブルを再接続してください。
サーキットブレーカーがリセットされない、または繰返し作動する場合は、サービス担当者にご相談ください。

サーキットブレーカーパネルはバッテリー室付近にあり、次のように識別されます。
（図82）。

図　82

サーキットブレーカー	定格	保護されている回路
CB1	4 A	キースイッチ、コントロールボード
CB2	10 A	ec-H2O システム、自動バッテリー補水システム
CB3	15 A	スプレーノズルポンプ
CB4	60 A	走行

安全のために：
本機を点検整備する際、すべての修理は訓練を受けた担当者によって行われる必要があります。

アワーメーター

アワーメーターは本機の運転時間を記録します。
アワーメーターは、特定の点検整備の実施や整備履歴の記録に使用します（図83）。

図　83

タンクの排水

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

汚水回収タンクの排水

回収タンクは、毎回の使用後に排水と洗浄を行ってください。

1. 本機を排水場所に移動します。
2. ドレンホースキャップ装備モデルでは、ホースを上向きに持ち続けながらキャップを外し、ホースをゆっくりと下ろして排水します。
   フローコントロールドレンホース装備モデルでは、ホースを下ろし、ゆっくりとバルブを開けて排水します（図84）。

図　84

注記：
本機から汚水を抜くのにバケツを使用する場合は、洗浄液タンクの注水と同じバケツは使用しないでください。

3. フロート停止スクリーンを取り外し、掃除します（図85）。

図　85

4. ごみトレーを取り外し、空にします（図 86）。

図　86

5. 汚水回収タンクをきれいな水ですすぎ、残りの汚れをすべてふき取ります（図87）。

図　87

本機がオプションのスプレーノズルを搭載している場合、スプレーノズルを使用して回収タンクを洗浄します（図88）。
給水は本機の洗浄液タンクから供給されます。
洗浄洗剤を洗浄液タンクに追加した場合、すすぎの用途にスプレーノズルを使用しないでください。

安全のために：
点検整備する際、本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
電気系統が故障する可能性があります。
湿らせたウエスを使用してください。

図　88

洗浄液タンクの排水

毎日、洗浄液タンクを空にしてください。

1. 本機を排水場所に移動します。

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

2. 洗浄液タンクから残りの水を抜くには、洗浄液タンクレベルホースをアクセサリーレールから外します（図89）。
   タンクの排水後、ホースをアクセサリーレールにしっかりと接続します。

図　89

3. 洗浄液タンクをきれいな水で十分に洗浄します（図90）。

図　90

4. 50時間運転毎に洗浄液タンクのフィルターを取り外し、スクリーンを清掃します（図91）。
洗浄液のフィルターは本機背面の下側にあります。
フィルターを取り外す前に、洗浄液タンクを空にしてください。

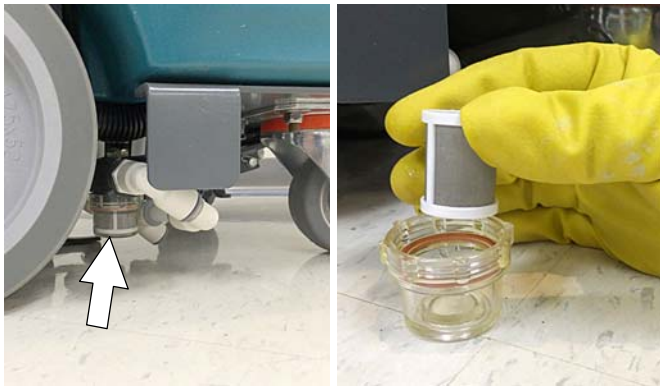
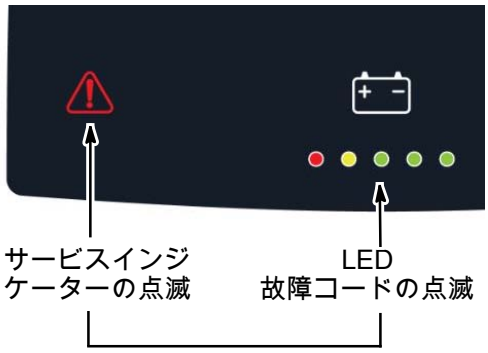


図　91

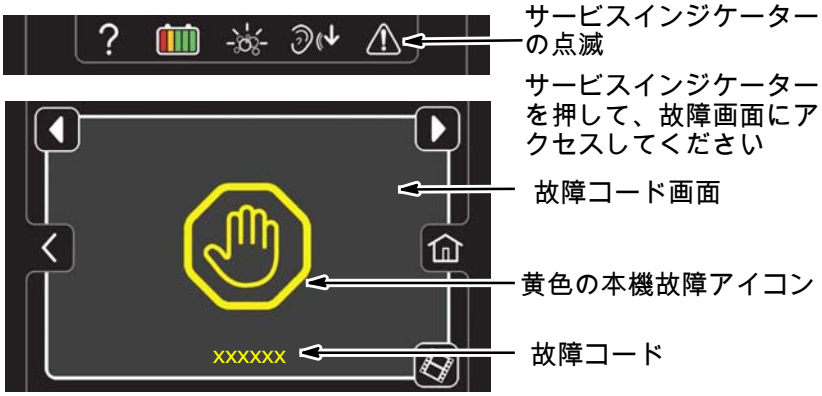
サービスインジケーターコード

本機または充電器が異常を検出するとサービスインジケーターが点滅します。
問題を特定するため、次のように故障コードが表示されます。

PRO-MEMBRANE コントロールパネル



Pro-Panel コントール (LCD)



LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼☼☼☼☼	0xFFF0	非常停止ボタンが有効化されています	非常停止ボタンを解除し、本機を再始動してください
• • • ☼ •	0x0201	ヘッドリフトアクチュエーター、配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• • • ☼☼	0x0101 0x0111	ブラシモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
☼☼☼☼ •	0x0102 0x0112	ブラシモーター 1 電圧損失 ブラシモーター 2 電圧損失	サービスセンターに連絡してください
• ☼☼ • ☼	0x0203	アクチュエーターの失速	異物の詰まりを点検してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
• ☼ • • ☼	0x0301	洗浄液バルブの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	接続を点検してください。 サービスセンターに連絡してください
• ☼ • ☼☼	0x0303	洗浄液バルブの過電流。	サービスセンターに連絡してください
• • ☼ • •	0x0501	バキュームモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• • ☼ • ☼	0x0601	Severe Environment 洗浄液ポンプの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• • ☼☼ •	0x1005	洗浄モーターの電流不足	洗浄力がより強力なパッドを使用してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。

サービスインジケーターコード - 続き

LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
• • ☼☼☼	0x0901	プロペルモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
☼ • • • ☼	0x0900 0x0903 0x0904 0x0905 0x0906 0x0907 0x0920→0x0942 0x0910 0x0950	プロペル I-Drive の故障 プロペル I-Drive 通信の損失 プロペル出力サイクルの故障 プロペル電流制限の故障 走行モーターの短絡 走行モーターの短絡 プロペルの故障 プロペルサーキットブレーカーの作動 プロペルの誤ったプロファイル	サーキットブレーカーをリセットするか、本機を再始動してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
☼ • • ☼ •	0x0B11	バッテリー補水ポンプ配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください
☼ • • ☼☼	0x0103 0x0104 0x0105 0x0109 0x0106	ブラシモーター 1 の過電流 ブラシモーター 1 の過電流 ブラシモーター 1 の過電流 ブラシモーター 1 の加熱 ブラシモーター 1 の短絡	床面の種類に対応するパッドかを点検してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。 サービスセンターに連絡してください
☼☼ • ☼☼	0x0113 0x0114 0x0115 0x0119 0x0116	ブラシモーター 2 の過電流 ブラシモーター 2 の過電流 ブラシモーター 2 の過電流 ブラシモーター 2 の加熱 ブラシモーター 2 の短絡	床面の種類に対応するパッドかを点検してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。 サービスセンターに連絡してください
☼ • ☼ • ☼	0x0902	本機の電源スイッチを入れる前にスタートベイルが引かれているか、異物が詰まっています。	本機の電源スイッチを入れる前に、スタートベイルを解除するか、異物を取り除いてください。

サービスインジケーターコード - 続き

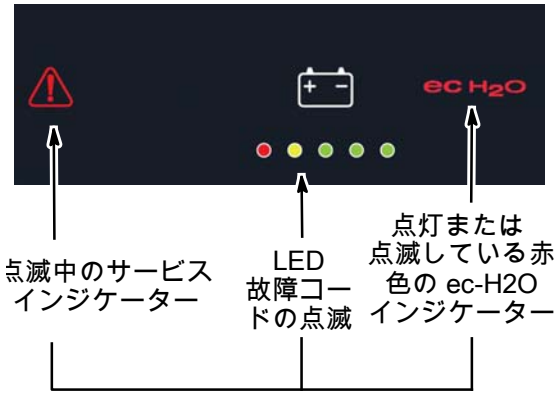
LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼ • ☼☼ •	0x0107 0x0117 0x0207 0x0307 0x0507 0x0607 0x0617 0x0B17 0x0717	ブラシモーター 1 コントロールボードの故障 ブラシモーター 2 コントロールボードの故障 アクチュエーターモーターコントロールボードの故障 洗浄液バルブコントロールボードの故障。 バキュームモーターコントロールボードの故障 洗剤ポンプコントロールボードの故障 スプレーポンプコントロールボードの故障 バッテリー補水ポンプボードの故障 ec-H2O ポンプコントロールボードの故障	バッテリーケーブルの接続を解除し、サービスセンターにコントロールボードの交換を依頼してください。
☼ • ☼☼☼	0x0503 0x0504 0x0505 0x0506	バキュームモーターの過電流 バキュームモーターの短絡	異物がないか点検してください。 サービスセンターに連絡してください。
☼☼ • • •	0x0613 0x0614 0x0615 0x0616	スプレーノズルポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
☼ • • • •	0x0611	スプレーポンプの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください
☼☼ • • ☼	0x0603 0x0604 0x0605 0x0606	Severe Environment 洗浄液ポンプの過電流 Severe Environment 洗浄液ポンプの短絡	サービスセンターに連絡してください
☼☼ • ☼ •	0x0B01 0x0B02 0x0B13-16	バッテリー補水システムの故障	サービスセンターに連絡してください
☼☼☼ • ☼	0x1006	洗浄ヘッドが不安定	ブラシの磨耗を点検してください。 サービスセンターに連絡してください。
• ☼☼☼ •	0xF103 0xFF20 0x0704 0x0B04	充電器の通信不良 洗浄コントロールボードの通信不良 ec-H2O システムの通信不良 バッテリー補水 CAN の故障	再始動してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。

搭載型充電器サービスインジケーターコード

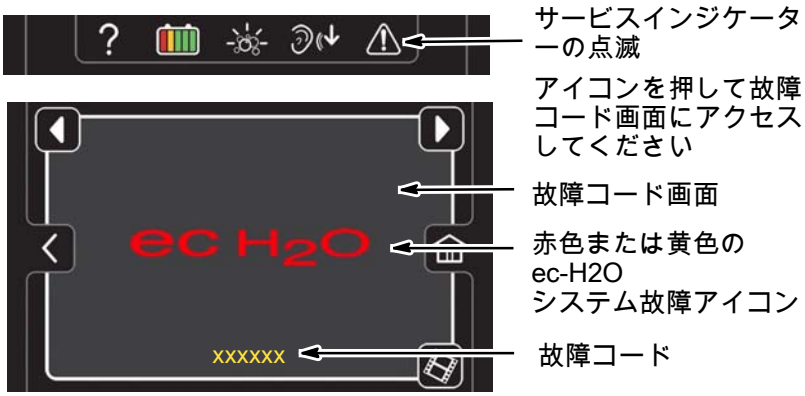
LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼☼☼ • •	0xF100 0xF104	充電器の異常状態。 充電器タイマーが最大充電時間を超過しています。 充電サイクルの中断。	サービスセンターに連絡してください バッテリーを交換してください
• ☼☼ • •	0xF101	充電器がバッテリーパックに接続されていません	ケーブルの接続を点検してください
• ☼ • • •	0xF102	充電器のオーバーヒート	充電器を冷却してください。 換気の良い場所に移動してください。 27°C 以下の場所で充電してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
• ☼☼☼ •	0xF103	充電器の通信不良	充電器を再始動してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。

ec-H2O システムのサービスインジケーターコード - オプション

Pro-Membrane コントロールパネル



Pro-Panel コントール (LCD)

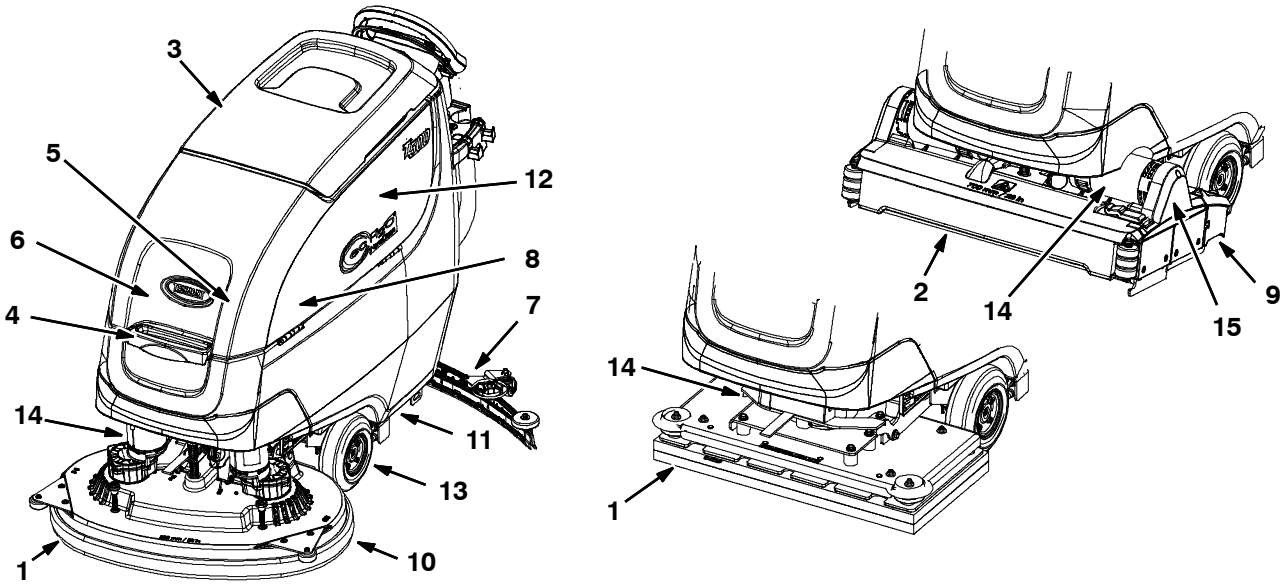


LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
• ☼ • ☼ •	0x0711	ec-H2O ポンプの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合。	サービスセンターに連絡してください
• ☼☼☼☼	0x0713 0x0714 0x0715	ec-H2O ポンプの過電流	サービスセンターに連絡してください
☼ • ☼ • •	0x0703 0x0712	ec-H2O システムブレーカーの作動 ec-H2O システムブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください。 ブレーカーが繰返し作動する場合は、サービスセンターに連絡してください。
ecH2O インジケーター 赤色の点灯	0x0716 0x0727 0x072A 0x0741 0x0746	ec-H2O ポンプの短絡 ec-H2O コントロールボードの故障 ec-H2O 電極異常 水質調整ポンプ開栓 水質調整ポンプ異常	サービスセンターに連絡してください
ecH2O インジケーター 赤色の点滅*	0x0702 0x0708* 0x0721 0x0723 0x0726 0x0728	ec-H2O 圧力スイッチの作動 ec-H2O システムの過剰規制 ec-H2O セルの電流なし ec-H2O セルの過電流 ec-H2O セルの短絡 ec-H2O 異常	サービスセンターに連絡してください
ecH2O インジケーターの青色/赤色の点滅	0x0707	水質調整カートリッジの有効期限が経過しています	水質調整カートリッジを交換してください。

*洗浄液タンクに洗浄洗剤が追加されたか確認してください。 ec-H2O システムに洗浄洗剤を入れて運転した場合は、洗浄液タンクを空にし、きれいな水を補充して故障コードの表示が消えるまで、ec-H2O システムを運転してください。

故障が繰り返し発生する場合、故障コードの表示が消えるまで、キースイッチの始動を繰り返してください

メンテナンス表



周期	責任者	参照番号	点検箇所	点検内容
毎日	O	1	パッド	点検、裏返し、または交換
	O	1	ブラシ	点検、清掃
	O	2	シリンダーブラシ	点検、清掃
	O	3	汚水回収タンク	排水、洗浄、フロート停止スクリーンとごみトレーの清掃
	O	4	洗浄液タンク	排水、洗浄
	O	5	Severe Environment タンク（オプション）	点検、充填
	O	6	自動バッテリー補水タンク（オプション）	点検、充填
	O	7	スクイージー	清掃、損傷と磨耗の点検
	O	8	バッテリー	必要に応じて充電
	O	9	ごみ容器	清掃
	O	10	洗浄ヘッドスカート	損傷、磨耗の点検
毎週	O	8	バッテリーセル	電解液レベルの点検
	O	7	スクイージー アセンブリー ドリップトラップ リザーバー	点検、清掃
50操作時間毎	O	2	シリンダーブラシ	ブラシの位置交換 磨耗の点検
	O	2	シリンダー洗浄ヘッド	洗浄ヘッド下側の清掃
	O	3	汚水回収タンク蓋シール	磨耗の点検
	O	11	洗浄液タンクフィルター	取り外して清掃
100操作時間毎	O	8	バッテリー補水システム（オプション）	ホースの損傷と磨耗の点検
200操作時間毎	O	8	バッテリー、端子、ケーブル	点検と清掃
750操作時間毎	T	12	バキュームモーター	カーボンブラシの交換
1250操作時間毎	T	13	走行モーター	カーボンブラシの交換
	T	14	ブラシモーター	カーボンブラシの交換
	T	15	ブラシベルト	ベルトの交換

O = オペレーター　T = 訓練を受けた者

本機の点検整備

本機を良好な運転状態に保つために、以下の本機の点検整備の指示に従ってください。

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

安全のために：
本機の点検整備をする際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。
すべての修理は、訓練を受けた担当者が行ってください。

毎日の整備後

1. 汚水回収タンクを排水して洗浄します（図92）。
   「タンクの排水」を参照してください。

図 92

本機がオプションのスプレーノズルを搭載している場合、スプレーノズルを使用して回収タンクを洗浄します（図93）。
洗浄洗剤を洗浄液タンクに追加した場合、すすぎの用途にスプレーノズルを使用しないでください。

安全のために：
点検整備する際、電気部品の近くで本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
電気系統が故障する可能性があります。
湿らせたウエスを使用してください。

図 93

2. ごみトレーを取り外し、空にします（図94）。

図 94

3. フロート停止スクリーンを取り外し、掃除します（図95）。

図 95

4. 洗浄液タンクを空にして洗浄します（図96）。

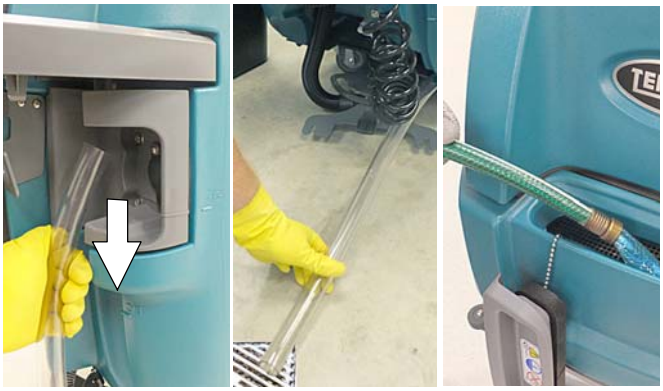


図 96

5. ディスク洗浄ヘッド -
裏返すか、磨耗があった場合は交換してください（図97）。

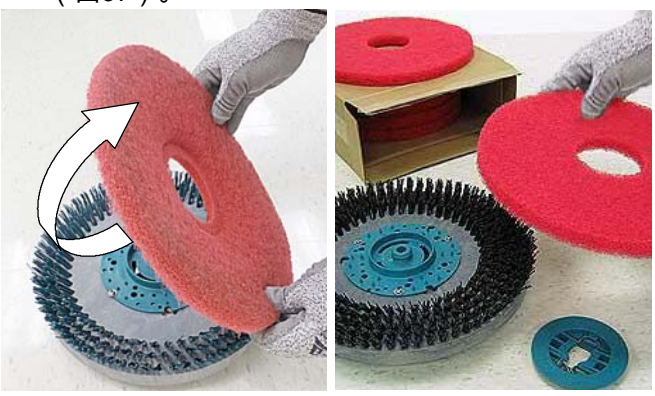


図 97

6. 清掃効果がなくなった、または毛先が摩耗して黄色のインジケーターが点灯したら、ブラシを交換してください（図98）。

図 98

環状洗浄ヘッド -
裏返すか、磨耗があった場合は交換してください（図99）。

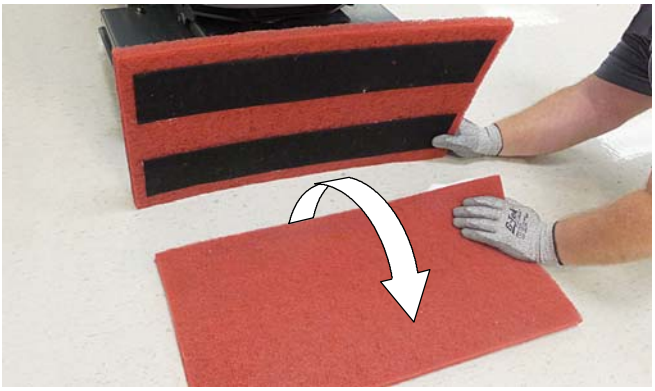


図 99

7. スクイージーブレードをきれいに拭きます。
ブレードの磨耗や損傷を点検してください（図100）。
ブレードが磨耗していたら、ブレードの位置交換をしてください。
「スクイージーブレードの交換」を参照してください。

図 100

8. 洗浄ヘッドスカートを掃除します
磨耗や損傷を点検してください（図101）。
摩耗や損傷がある場合は交換してください。

図 101

9. 本機の外面は、汎用のクリーナーと湿らせたウエスを使用して清掃してください（図102）。

安全のために：
点検整備する際、電気部品の近くで本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
電気系統が故障する可能性があります。
湿らせたウエスを使用してください。

図 102

10. シリンダー洗浄ヘッド -
ごみ容器を取り外して清掃します (図103) 。

図 103

11. Severe Environment オプション - Severe Environment
タンクに推奨洗浄洗剤を希釈せずに充填してください (図104) 。 キャップを交換します。

図 104

12. 自動バッテリー補水オプション -
タンクに蒸留水を補充します (図105) 。
キャップを締めます。

図 105

13. バッテリーを充電します (図106) 。
「バッテリー」を参照してください。

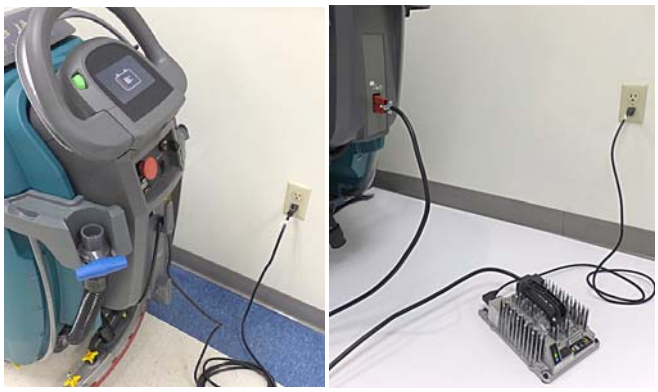


図 106

注意：
充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

毎週の使用後

1. すべてのバッテリーの電解液レベルを確認します (図107) 。「バッテリー」を参照してください。

注記：
本機が自動または手動バッテリー補水システムを搭載している場合、「バッテリー」を参照してください。

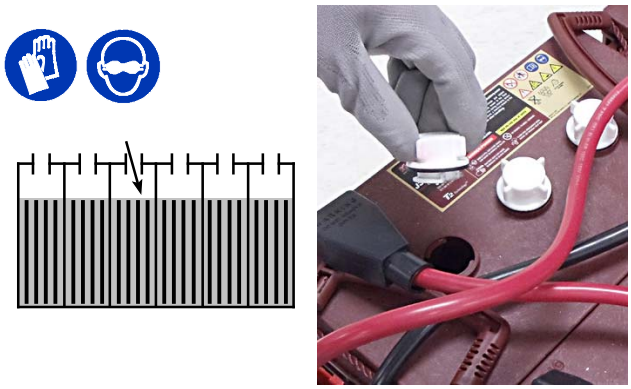


図 107

2. スクイージーアセンブリーからドリップトラップカバーを外し、リザーバーを清掃します (図108) 。

図 108

50時間の運転毎の整備

1. 洗浄液タンクを排水してください。
   洗浄液タンクのフィルターを取り外し、スクリーンを清掃します（図109）。
   フィルターボールを左に回して外します。

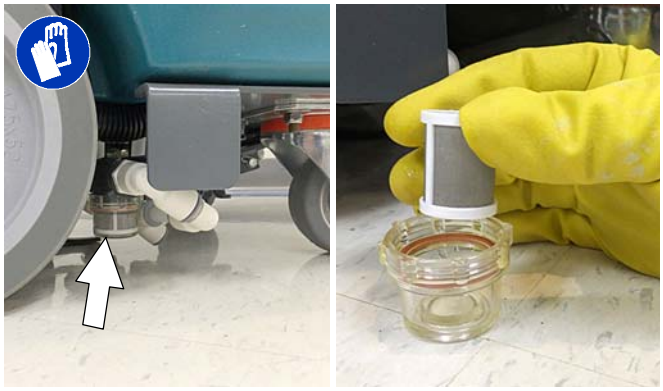


図 109

2. シリンダーブラシ -
   ブラシの前部と後部の位置交換をします（図110）。
   清掃効果がなくなったらブラシを交換してください。

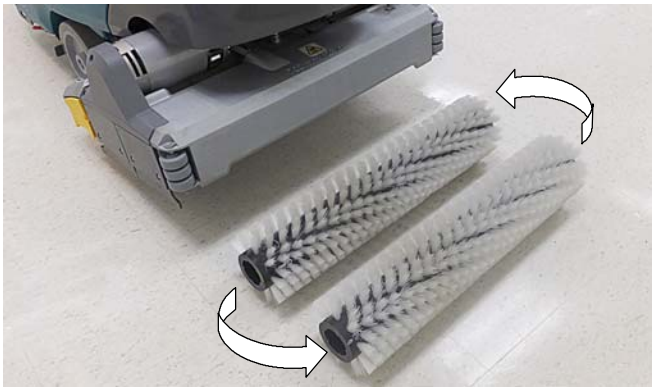


図 110

3. シリンダー洗浄ヘッド -
   アイドラープレートやドライブハブを含む洗浄ヘッドの下側に蓄積された汚れを取り除きます（図111）。

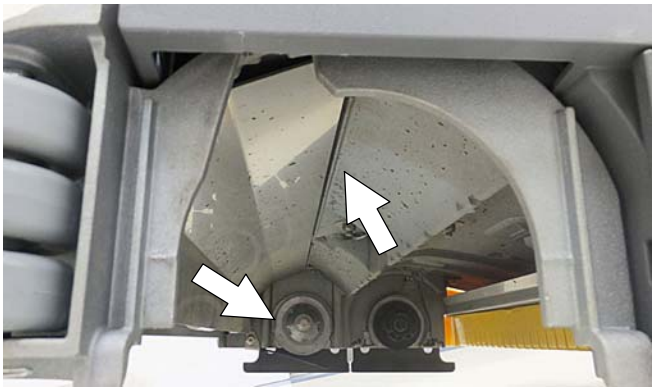


図 111

4. 汚水回収タンク蓋のシールを点検して清掃します（図112）。
   損傷がある場合は、交換してください。

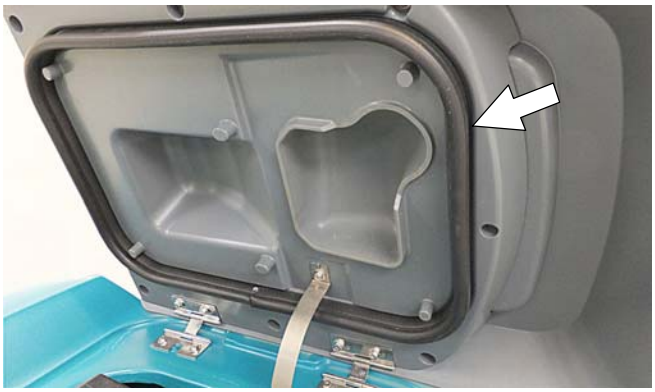


図 112

100時間の運転毎の整備

オプションのバッテリー補水システムが装備されている場合は、ホースの漏れや接続の緩み、損傷や摩耗がないかを点検します（図113）。
損傷がある場合は、交換してください。

安全のために：
バッテリーを点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。
バッテリー液には触れないでください。

図 113

電動式モーター

説明に従って、モーターのカーボンブラシを交換してください。
カーボンブラシの交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください。

カーボンブラシの交換	累積使用時間
バキュームモーター	750
走行モーター	1250
ディスクブラシモーター	1250
シリンダーブラシモーター	1250
環状ブラシモーター	1250

ベルト（シリンダーブラシモデル）

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

1250時間の運転毎にベルトを交換してください。
ベルトの交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください（図114）。

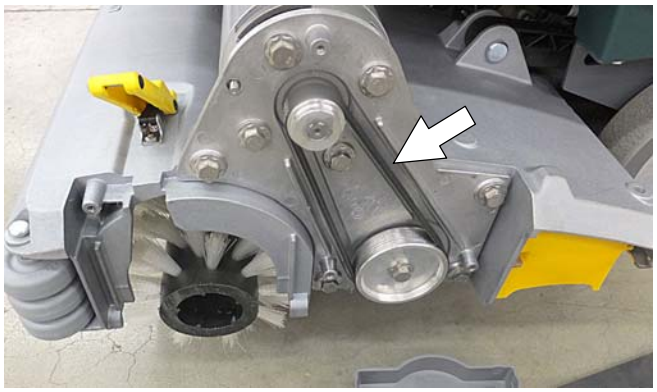


図 114

バッテリー

安全のために：
本機を離れる際は、本機を平坦な表面に停め、スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキを装備している場合はパーキングブレーキをかけてください。

バッテリー寿命は適切に点検整備されているかどうかにより異なります。
バッテリー寿命を最大化するには、次の点に注意してください。

- バッテリーの充電は一日一回までとし、少なくとも15分以上使用した後に行ってください。
- バッテリーを部分的に放電した状態で長期間放置しないでください。
- ガスの蓄積を防止するために、通気の良好な場所でバッテリーを充電してください。- 周囲温度が 27℃以下の場所でバッテリーを充電してください。
- 本機を再度使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。-
- 液式（湿式）鉛酸バッテリーの電解液レベルを毎週点検し、適切な電解液レベルを維持してください。

本機には、テナントが提供する液式（湿式）鉛酸バッテリーまたはメンテナンスフリー（密閉式AGM）バッテリーが装備されています。

安全のために：
本機を点検整備する場合は、金属製品をバッテリーに近づけないでください。
バッテリー液には触れないでください。

メンテナンスフリーバッテリー

メンテナンスフリー（密閉型AGM）バッテリーは補水が不要です。
清掃やその他の日常の整備点検は必要です。

液式（湿式）鉛酸バッテリー

湿式（鉛酸）バッテリーは、以下に示すように、定期的な補水を必要とします。
バッテリーは、毎週、電解液レベルを確認してください。

注記：
本機が自動または手動バッテリー補水システムを搭載している場合、「バッテリー補水システム」の説明を参照してください。

充電前に、図に示すように、電解液レベルがバッテリープレートのわずかに上であることを確認してください（図115）。
液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。
過充填に注意してください。
充電中に電解液が膨張し、溢れる場合があります。
充電後、確認用チューブの約3mm（0.12インチ）下まで蒸留水を補給できます。

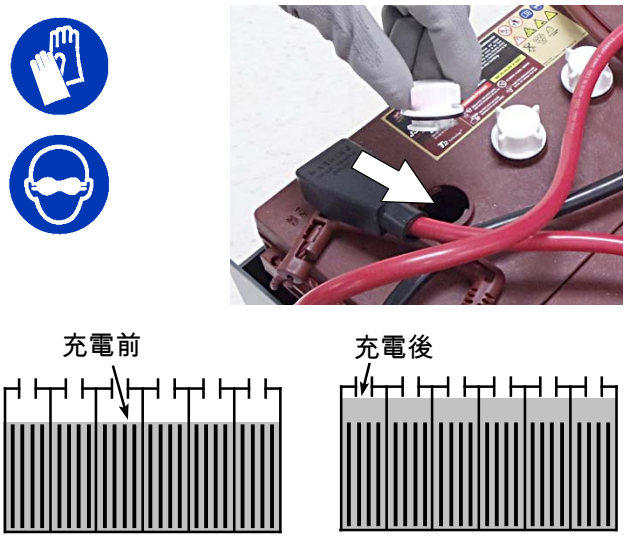


図 115

注記：
充電中はバッテリーキャップが正しく取り付けられていることを確認してください。
バッテリーの充電後、硫黄の匂いがすることがあります。 これは問題ありません。

接続の点検 / 清掃

約200時間の運転後、バッテリーの接続に緩みがないか点検し、バッテリーが腐食しないように、端子、ケーブルクランプを含む、バッテリーの表面を清掃してください。
洗浄ブラシにはベーキングソーダと水の濃度の高い混合液を使用してください（図116）。
バッテリー清掃中は、バッテリーキャップを外さないでください。

図 116

バッテリーの充電

本マニュアルに記載されている充電の説明は、本機に付属するバッテリー充電器を対象としています。
テナント社純正またはテナント社認定のバッテリー充電器以外の使用は禁止されています。

本機に定置型充電器が付属している場合、操作説明について充電器のオーナーマニュアルを参照してください。
本機にバッテリー充電器が付属していない場合は、推奨充電器について、販売店またはテナント社にご相談ください。

安全のために：
互換性のない充電器を使用すると、バッテリーパックが損傷し火災を引き起こす恐れがあります。

重要事項：
バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電専用に設定されています。
異なる種類のバッテリーまたはバッテリー容量（液式/湿式鉛酸バッテリー、メンテナンスフリーバッテリー、密閉型バッテリー、AGM
バッテリーなど）に交換する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器のプロファイルを変更する必要があります。
「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

1. 本機を通気の良好な場所に移動してください。

⚠ 警告：
バッテリーは水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。
充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

2. 本機を平坦で乾燥した表面に停め、本機の電源を切り、キーを外します。

安全のために：
バッテリーを点検整備する際は、本機を平坦な表面に停め、スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

3. 本機に液式（湿式）鉛酸バッテリーが装備されている場合は、毎週、充電する前に電解液レベルを点検してください。
   自動補水システムを搭載しているモデルの場合、自動バッテリー補水タンクを再充填する必要があるかを点検してください。
   残量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。
4. 搭載型充電器を装備しているモデルの場合、充電器の電源コードをストレージフックから取り外し、適切に接地された壁面のコンセントに電源コードを差し込んでください（図117）。

図 117

定置型充電器を装備しているモデルの場合は、最初に充電器のDCコードをバッテリー充電器のソケットに接続し、次にAC電源コードを適切に設置された壁面のコンセント差し込んでください。
（図118）。
操作説明については、定置型充電器のオーナーマニュアルを参照してください。

安全のために：
充電器の使用中は、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。
アーク放電が発生することがあります。
充電を中断する場合は、最初に AC
電源コードを外してください。

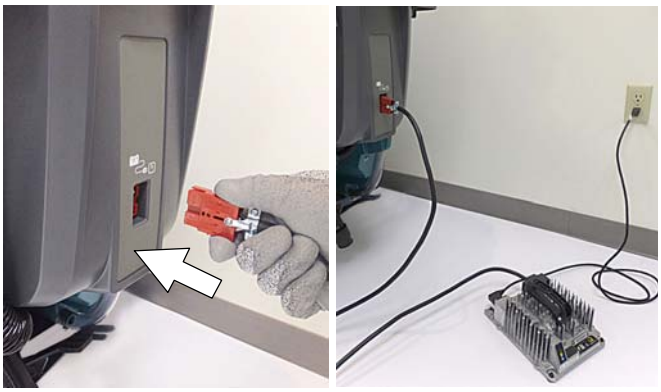


図 118

5. 充電器は自動的に充電を開始し、バッテリーが完全に充電された時点で電源が切れます。
   最大の充電サイクルは、バッテリーの種類により、6～12時間かかります。

   搭載型のバッテリー充電器：
   充電サイクル中はバッテリー放電インジケーターライトが波状に前後に点滅します。
   5つのライトのすべてが2回連続の点滅を繰り返す時点で、充電サイクルは完了しています（図119）。

Pro-Membrane **Pro-Panel**

図 119

注意：
充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

6. 充電後、電源コードを取り外し、コードフックの周りに巻き付けてください（図120）。

   定置型充電器を装備したモデルの場合は、充電器を本機から取り外す前に、必ずAC電源コードを取り外してください（図120）。

図 120

バッテリー充電器の設定

バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電専用に設定されています。
異なる種類のバッテリーまたはバッテリー容量に変更する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器のプロファイルを変更する必要があります。

また、本機のバッテリー放電インジケーター（BDI）は、バッテリーの損傷および/または稼働時間の短縮を防止するために、バッテリーの種類に適合するようにプログラムする必要があります。

注記：
本機がバッテリー未搭載で出荷された場合、バッテリー放電インジケーターと搭載型のバッテリー充電器はデフォルトで GEL バッテリー対応に設定されています。
異なる種類のバッテリーを使用する場合、以下に説明するように、設定を変更する必要があります。

注記：バッテリーを未搭載で出荷された Pro-Membrane モデルと定置型充電器の場合、定置型充電器は工場出荷時に液式（湿式）鉛酸バッテリー対応に設定されています。
本機のバッテリー放電インジケーターは、デフォルトで GEL バッテリー対応に設定されています。
バッテリー放電インジケーターは充電器の設定に適合するように再プログラムする必要があります。サービスセンターにお問い合わせください。

定置型バッテリー充電器

充電器設定の変更については、定置型充電器のオーナーマニュアルを参照してください。

本機のバッテリー放電インジケーター（BDI）を再プログラムする方法については、以下を参照してください。

Pro-Membrane モデル -
サービスアプリケーションソフトウェアが必要です。サービスセンターにお問い合わせください。

Pro-Panel モデル- *Pro-Panel モデル対応の「搭載型充電器の設定の変更」を参照してください。*

Pro-Membrane モデル

Pro-Panel モデル（LCD）

搭載型のバッテリー充電器：

Pro-Membrane モデル -
サービスアプリケーションソフトウェアが必要です。サービスセンターにお問い合わせください。
別の方法として、充電器のプロファイルを手動で変更することができます。 *Pro-Membrane モデル対応の「搭載型充電器の設定の変更」を参照してください。*
バッテリー放電インジケーターは、バッテリー充電器のプロファイルが変更すると、バッテリーの種類に適合するように自動的に再プログラムされます。

Pro-Panel モデル- *Pro-Panel モデル対応の「搭載型充電器の設定の変更」を参照してください。*
バッテリー放電インジケーターは、バッテリーの選択に適合するように自動的に再プログラムされます。

搭載型充電器の設定の変更（Pro-Membrane モデル）

異なる種類のバッテリーに対応するように搭載型バッテリー充電器を手動で変更するには、以下の説明手順に慎重に従ってください。

注記：
手動の方法は、サービスセンターによってサービスアプリケーションソフトウェアを用いた設定の変更が可能でない場合の代替手段として使用します。

1. 本機からバッテリーケーブルを外します（図121）。

安全のために：
本機を点検整備する際は、本機を平坦な表面に停め、スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキを装備している場合はパーキングブレーキをかけてください。

図 121

2. バッテリー充電器の電源コードをコードフックから外します。
3. T25 のスタードライバーを使用してコントロールコンソールの底面にある2つのネジを取り外し、バッテリー充電器に手が届くようにします（図122）。

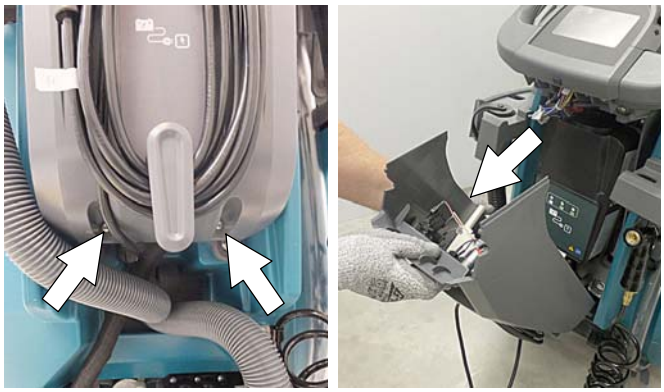


図 122

4. 充電器の表示ラベルを慎重にはがし、ダイヤル設定にアクセスします（図123）。

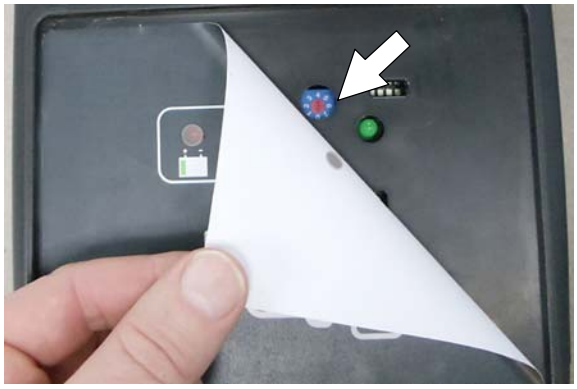


図 123

5. 小型の標準ドライバーを使用して、次の表に示すように、ダイヤルを適切なバッテリーの種類まで回します（図124）。

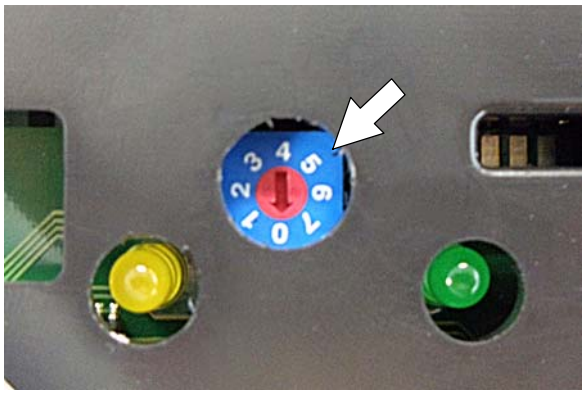


図 124

ダイヤル位置	バッテリー種類別 AH 範囲を含む環境設定
0	CAN-BUS 設定*
1	湿式、Trojan 180-260 AH
2	湿式、Trojan 270-360 AH
3	湿式、Enersys/Tab 200 ~ 350 AH
4	AGM、Tianneng 180-260 AH
5	AGM、Discover 200-350 AH
6	ゲル、Sonnenschein 80 ~ 150 AH

** CAN-BUS 設定のダイヤル位置「0」は、本機に搭載されたバッテリーの種類に適合するようにプログラムされている*

ソフトウェアの設定です。
ダイヤルが手動で異なる設定に変更された場合、「0」にリセットしないでください。
バッテリーが損傷する可能性があります。
サービスアプリケーションソフトウェアは、ダイヤルを「0」にリセットする必要があります。
サービスセンターに連絡してください。

6. 表示ラベルを元に戻します。
7. コントロールコンソールを元の位置に戻します。
8. BDI を新しいバッテリーの種類に対応するように設定するには、搭載型バッテリー充電器のコードをコンセントに差し込みます。
   本機のソフトウェアは新しいバッテリーの種類に応じて、BDI を自動的に再プログラムします。

搭載型充電器の設定の変更（Pro-Panel モデル）

注記：
この手順を実施するには、本機が管理者モードに設定されている必要があります。
マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

1. キーをオンの位置に回します。
2. ホーム画面の設定ボタンを押します（図125）。

図 125

3. 「バッテリーの種類」ボタンを押します（図126）。

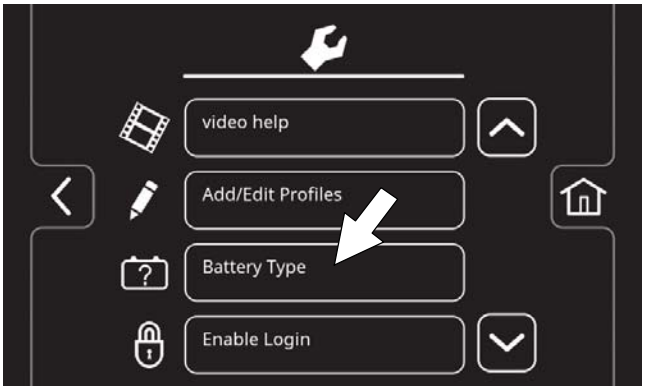


図 126

4. 本機に搭載されたバッテリーの種類とブランドを選択します（図127）。
   バッテリーラベルを参照して、種類とブランドを判断します。
   上と下矢印を押して、バッテリーの選択をスクロールして参照します。

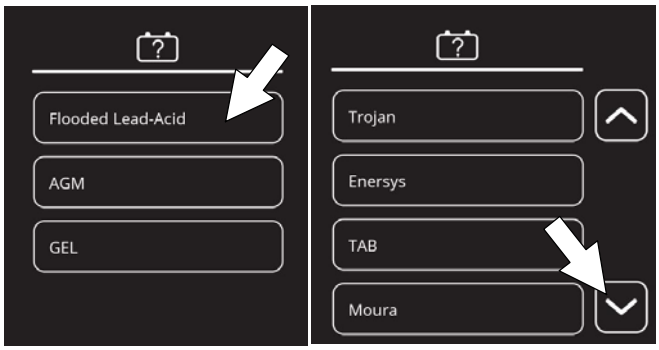
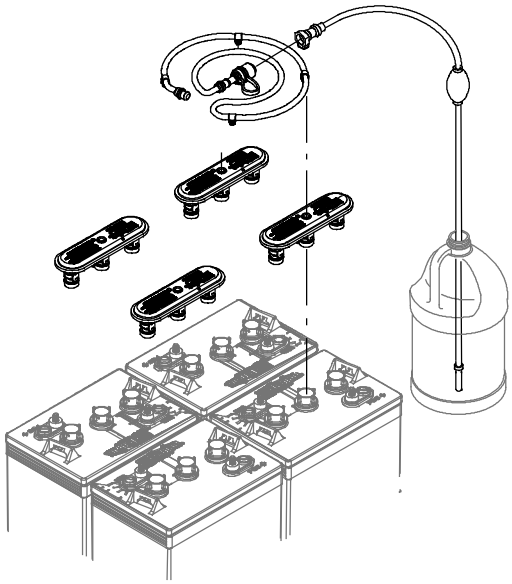


図 127

注記：
バッテリー充電プロファイルとバッテリー放電インジケーターは、バッテリーの種類が選択されると自動的に再プログラムされる。

HYDROLINK³バッテリー補水システム（Trojan³ バッテリーオプション）

以下の説明は、オプションの HydroLink バッテリー補水システムを装備したモデルに適用します。



オプションの HydroLink バッテリー補水システムは、バッテリーの適切な電解液レベルを安全かつ簡単に保つ機能を提供します。本製品は、Trojan 液式（湿式）鉛酸バッテリー専用に設計されています。

安全のために：
本機を点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。
バッテリー液には触れないでください。

バッテリー補水システムを使用する前に、ホースと接続部に損傷や摩耗がないことを点検してください。

1. バッテリー補水システムを使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。
   充電前にバッテリーに水を加えないでください。充電中に電解液レベルが膨張し、溢れることがあります。
2. 充電完了後は、バッテリーカバーの上にあるバッテリー電解液レベルインジケーターで充電の状態を確認してください（図128）。
   レベルインジケーターが白の場合は、以下に示す方法で水を追加してください。
   インジケーターが黒の場合は、電解液レベルは正常です。水を追加する必要はありません。

図 128

3. バッテリー室内のバッテリーフィルホースカプラを見つけます。
   ダストキャップを外し、手動ポンプのホースを接続します（図129）。

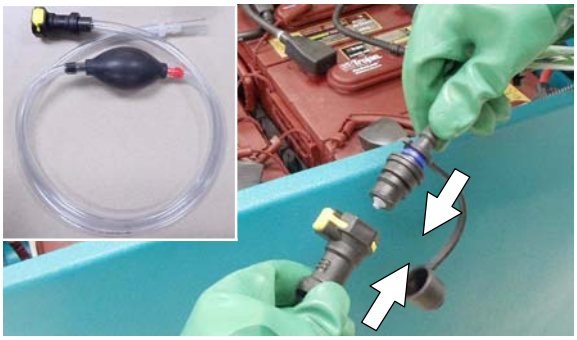


図 129

4. 手動ポンプのホースのもう一端を蒸留水タンクに挿入します（図130）。

図 130

5. 手動ポンプのホースの球体部分を握って放す動作を繰り返し、液体を注入します（図131）。
満タンになるとインジケーターが黒に変わります。

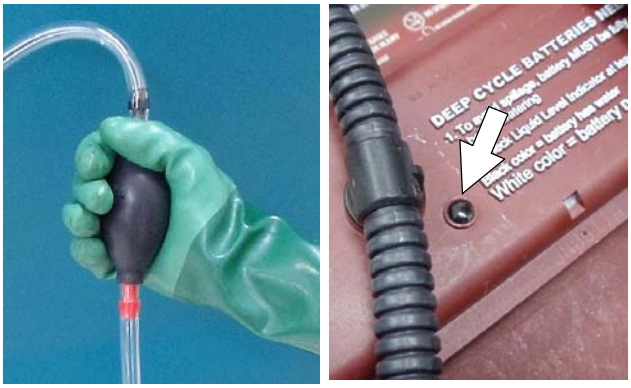


図 131

6. 給水後、バッテリーフィルホースのダストキャップを元に戻し、後日の使用に備えて手動ポンプのホースをバッテリー室に収納してください。

自動バッテリー補水システム（Trojan³ バッテリーオプション ）

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

自動バッテリー補水システムは、本機が充電サイクルの回数制限に達すると自動的にバッテリーを再充填するように設計されています。
バッテリーキャップを取り外して、手動でバッテリーに水を補充しないでください。

自動バッテリー補水システムのホースの漏れや接続の緩み、損傷や摩耗がないかを点検してください。（図132）。
損傷がある場合は、交換してください。

図 132

自動補水タンクの水位を定期的に点検してください。
水位が低い場合は、蒸留水を補充してください（図133）。

安全のために：
本機を整備する際、自動バッテリー補水タンクの充填には必ず蒸留水のみを使用してください。

図 133

また、自動バッテリー補水インジケーターは、タンクが空になると、蒸留水を補充するようにユーザーにアラートを通知します（図134 ）。
詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

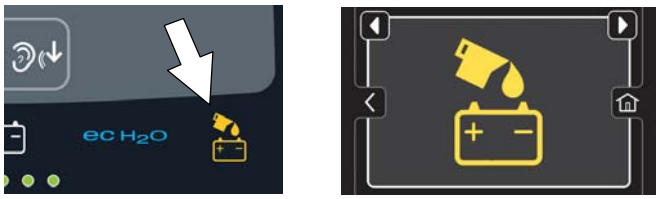


図 134

自動バッテリー補水システムを搭載した本機を氷点下の環境で保管する方法については、「本機の保管/凍結防止」を参照してください。

スクイージーブレードの交換

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

各スクイージーブレードには4ヶ所の拭き取りエッジがあります。
ブレードが磨耗したら、新しい拭き取りエッジの部分を使用するように、両端を逆にするか上下を逆にしてください。
4ヶ所のエッジがすべて磨耗したら、ブレードを交換してください。

1. スクイージーアセンブリーを本機から取り外してください。
2. スクイージーアセンブリーの2つの外側のノブを完全に緩めてください。
   バネ式ブレードリテーナがスクイージーフレームから外れます（図135）。
   ノブを素早く緩めるには、ブレードリテーナとスクイージーフレームを互いに押し付けます。

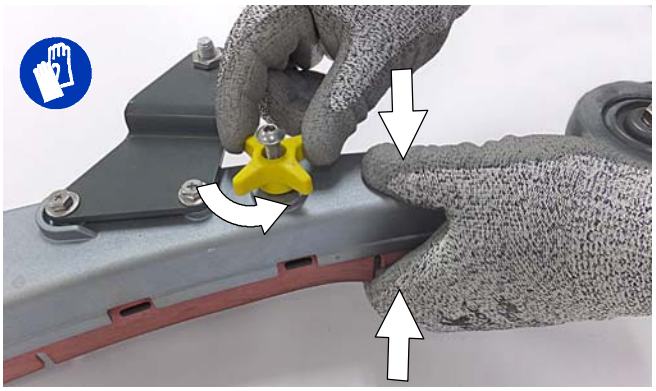


図 135

3. 摩耗したブレードをブレードリテーナから取り外します（図136）。

図 136

4. リヤブレードを新しい拭き取りエッジの位置に入れ替え、ブレードをもう一度取り付けます（図137）。
   ブレードのスロットの位置がリテーナのタブと合っていることを確認してください。

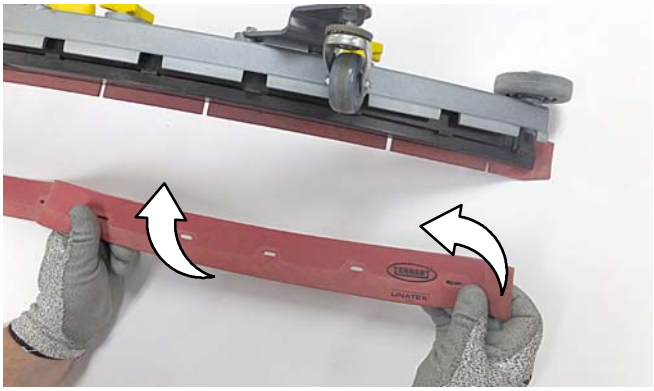


図 137

5. ブレードリテーナとスクイージーフレームを互いに押し付け、2つの外側のノブを再度締め付けます（図138）。

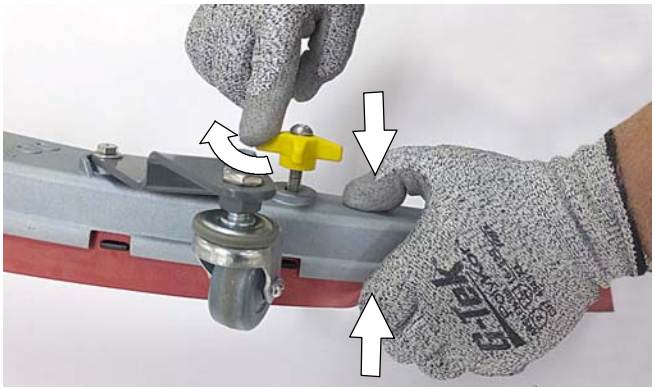


図 138

ec-H2O 水質調整カートリッジの交換

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

水質調整カートリッジが水の使用量の最大限度に達するか、有効期限に達するかのいずれか早い方の時点で、カートリッジの交換が必要になります。
カートリッジの交換時期はコントールパネルでお知らせします。
詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

本機の使用状況や使い方によりますが、新しいカートリッジは、本機の使用頻度の高い場合は平均12ヶ月、使用頻度が低い場合は平均24ヶ月使用できます。

***注意：**本機を初めて使用するとき、また水質調整カートリッジの交換後は、ec-H2O システムによって選択した洗浄液流量の設定が自動的に最長75分間無効になります。*

1. 本機を平坦な表面に停め、キーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合は、パーキングブレーキをかけてください。
2. 汚水回収タンクを持ち上げてec-H2O水質調整カートリッジにアクセスします（図139）。
   汚水回収タンクは持ち上げる前に空にしてください。

図 139

3. 灰色のカラーを内側に押し、コネクターを外側に引いて、カートリッジ上部から2個のホースコネクターを取り外します（図140）。
   カートリッジを持ち上げて取り外します。

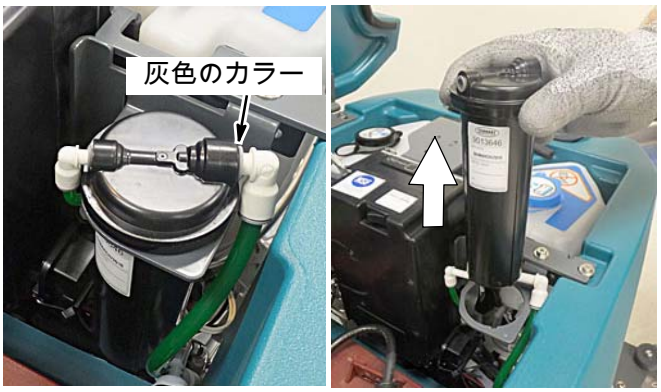


図 140

4. 新しいカートリッジのラベルに取り付け日を書き込みます (図141)。

図 141

5. 新しいカートリッジを取り付け、2本のホースを接続し直します。
   ホースコネクターがカートリッジにしっかりと挿入されていることを確認してください。
6. カートリッジのタイマーをリセットします。

   すべての手順をよく読み、その内容を理解した上で、操作手順を実行してください。

   a. キーをオンにします。
   b. ec-H2O モジュールにあるサービススイッチを10秒間押し続けます。
      サービススイッチを放すと、3個のフローインジケータライトが（波状に）前後に点滅し始めます（図142）。
   c. サービススイッチを放してから5秒以内に、インジケーターライトが前後に揺れ動いている間に、素早く、ec-H2O モジュール上の洗剤流量ボタンを押して放します（図142）。
      3つのインジケータライトが3回点滅し、タイマーがリセットされたことを知らせます。
      3つのライトが3回点滅しない場合は、このプロセスを繰り返してください。

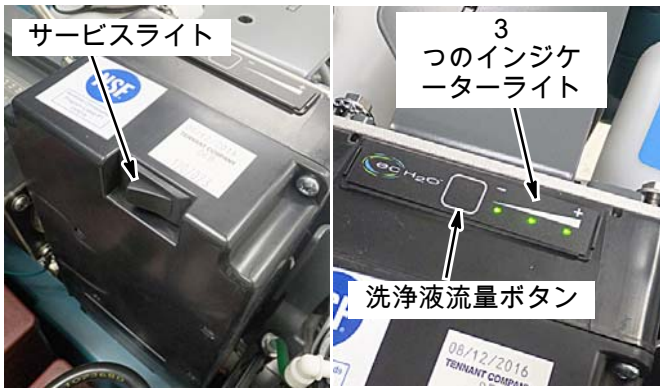


図 142

本機のジャッキアップ

安全のために：
本機を離れる際または整備する際は、本機を平坦な表面に停め、本機の電源スイッチを切ってキーを外してください。パーキングブレーキが装備されている場合はパーキングブレーキをかけてください。

整備のために本機をジャッキで持ち上げる際は、指定された場所を使用してください（図143）。
回収および洗浄液タンクを空にして、ジャッキアップする前に、本機を平坦な表面に置いてください。

安全のために：
本機を点検整備する際は、指定の場所でのみ本機をジェッキアップしてください。
ジャッキで本機を支えてください。
本機の重量に対応するジャッキまたはホイストを使用してください。

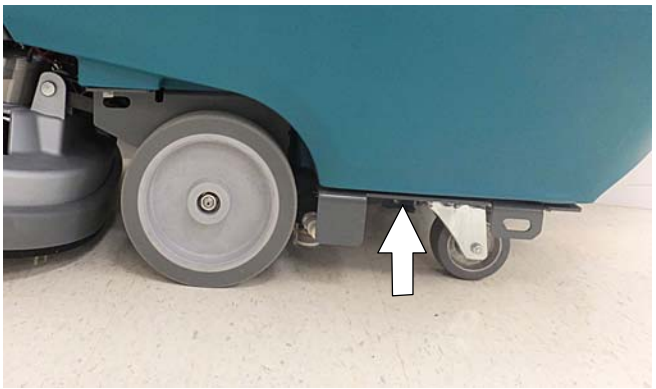


図 143

本機の輸送

トレーラーまたはトラックで本機を輸送する場合は、積み込みおよび固定手順に慎重に従ってください。

1. タンクを空にして、洗浄ヘッドを持ち上げ、スクイージーアセンブリーを取り外します。
2. 本機をトレーラーまたはトラックに慎重に積み込んでください。

安全のために：
積み込み/積み降ろしを行う際は、本機およびオペレーターの重量を支えられるランプを使用してください。

安全のために：
積み込み/積み降ろしを行う際は、最大2%の傾斜角度での操作に限定してください。

3. 本機の積み込みが完了したら、本機の前面をトレーラーまたはトラックの前面に向けるように配置してください。
   洗浄ヘッドを下げ、キーをオフにし、パーキングブレーキをかけます（装備されている場合）。
4. それぞれのホイールの後ろに輪留めを置いてください（図144）。
5. 固定用ロープを使用して、本機のフレームの固定ロープ用ブラケットで本機を固定します（図144）。
   トレーラーまたはトラックの床に固定用ブラケットを取り付ける必要がある場合もあります。

注記：
本機をオープントラックやトレーラーで輸送する際は、回収タンク蓋を固定してください。

注意：
コントロールコンソール部やアクセサリー収納レールを固定位置として使用しないでください。損傷する恐れがあります。

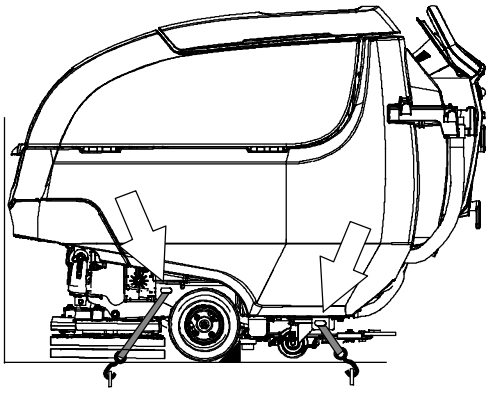


図 144

本機の保管

本機を長期間保管する場合は、以下に注意してください。

1. バッテリーの寿命を延ばすため、本機を保管する前にバッテリーを充電してください。
   1か月に1回、バッテリーを再充電します。
2. 保管する前にバッテリーを外します。
3. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを空にし、洗浄してください。
4. スクイージーと洗浄ヘッドは浮かしたままで、乾燥した場所に本機を保管してください。

注意：
本機に雨がかからないよう、屋内に保管してください。

5. 汚水回収タンクの蓋を開き、空気の循環をよくしてください。
6. 本機を寒冷地で保管する場合は、「凍結防止」を参照してください。

注記：
本機が損傷する危険を避けるために、本機を齧歯動物や昆虫の生息しない環境で保管してください。

凍結防止

氷点下の環境での本機の保管

1. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを完全に空にしてください。
2. 本機の下にある洗浄液タンクフィルターから水を抜いてください。
   フィルターを交換してください。
   （図145を参照）。

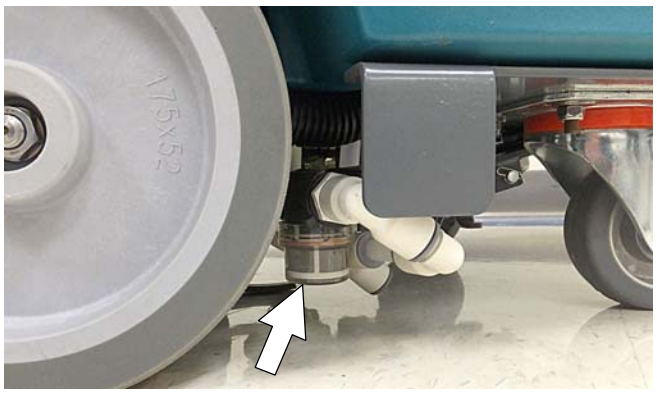


図 145

3. 4リットル（1ガロン）のプロピレングリコールを主成分とするRV用不凍液を洗浄液タンクに入れてください。

オプションの Severe Environment
洗剤タンク装備モデル -
本機からタンクを持ち上げてタンクから洗剤を抜きます（図146）。 タンクを元に戻します。
1リットル（1/4
ガロン）のプロピレングリコールを主成分とするRV用不凍液を洗浄液タンクに入れてください。

図 146

4. ec-H2O システム未搭載のモデル
   -本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量システムを作動させます。
   床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。

   ec-H2O システムと Severe Environment
   モード搭載のモデル -
   洗浄洗剤混合率ダイヤルを最大流量に設定します。
   本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量を「高」に設定します。 ec-H2O
   洗浄を作動させ、Severe Environment
   ボタンを押して、両方のシステムに不凍液を循環させます。
   床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。
   このプロセスは最長2分かかります。

   ec-H2O システム搭載のモデル -
   本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量を設定し、ec-H2O
   洗浄を作動させて不凍液をシステムに循環させます。
   床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。
   このプロセスは最長2分かかります。

   オプションのスプレーノズル搭載のモデル -
   スプレーノズルを作動させてポンプに不凍液を循環させます。

5. 自動バッテリー補水タンク搭載のモデル -
本機からタンクを持ち上げて、タンクから水を抜きます (図147) 。

図 147

タンクの底部にあるドレンホースキャップを外して、システムから残りの水を抜きます (図148)。システムから水を抜く際、タンクからキャップを外してください。
排水後、キャップをドレンホースの元の位置に戻します。

重要:
不凍液は自動バッテリー補水タンクに決して追加しないでください。

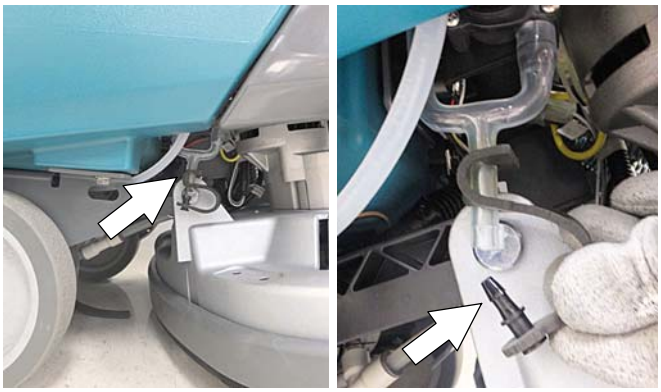


図 148

6. 本機を氷点下の環境で保管した後は、残りの不凍液を洗浄液タンクとオプションの Severe Environment 洗剤タンクから除去してください。洗浄液タンクとオプションの洗剤タンクにきれいな水を補充して本機を運転し、不凍液を洗い流してください。

7. 自動バッテリー補水タンクが搭載されている場合は、補水タンクに蒸留水を補充してください。

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
サービスインジケーターアイコンの点滅	本機または搭載型充電器で異常が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
ec-H2O アイコンの赤色の点灯または点滅	ec-H2O システムで異常が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
本機が動作しない	非常停止ボタンの作動	ボタンを回して、リセットしてください
	本機の故障の検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	バッテリーの放電	バッテリーを充電してください
	バッテリーケーブルの緩み	緩んだケーブルを締め付けてください
	バッテリーの故障	バッテリーを交換してください
	キースイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	スタートベイルスイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください
	コントロールボードの故障	サービスセンターに連絡してください
搭載型充電器が動作しない	プラグが電源に接続されていません	プラグの接続を点検してください
	バッテリーの過放電	バッテリーを交換してください
	充電器の異常検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	充電器の故障	充電器を交換してください
	電源コードの異常	電源コードを交換してください
本機が走行しない	走行で異常が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください
	走行モーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	モーター内のカーボンブラシの摩耗	サービスセンターに連絡してください
ブラシモーターが動作しない	ブラシモーターで異常が検出されました。	「サービスインジケーターコード」を参照
	パッドモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	モーター内のカーボンブラシの摩耗	サービスセンターに連絡してください
	ベルトの損傷または緩み（シリンダーブラシモデル）	サービスセンターに連絡してください
バキュームモーターが動作しない	スクイージーアセンブリーが床から浮いています	スクイージーアセンブリーを床に下げてください
	バキュームモーターの異常検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	バキュームモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
洗浄 性能不良	ブラシ/パッドのごみの詰まり	ごみを取り除いてください
	ブラシ/パッドの摩耗	パッド / ブラシを交換してください
	不適切なブラシ圧	ブラシ圧を調整してください
	不適切なブラシ/パッドの種類	用途に適したブラシ/パッドを使用してください
	バッテリー充電の低下	バッテリーを充電してください
	ブラシ圧が不均等	洗浄ヘッド/ブラシが不安定 サービスセンターに連絡してください
	ベルトの損傷または緩み（シリンダーブラシモデル）	サービスセンターに連絡してください

故障診断 -続き

問題	原因	解決策
水が残る、またはまったく水を吸引しない	汚水回収タンクが満杯または過剰な泡の発生	汚水回収タンクを空にしてください
	ドレンホースキャップの緩み、またはフローコントロールバルブが開放されています	キャップを締め直すか、フローコントロールバルブを閉じてください
	スクイージーブレードの磨耗	スクイージーブレードを位置交換するか、新しいものと交換してください
	ドリップトラップの詰まり（スクイージーアセンブリー）	カバーを外し清掃してください
	スクイージーアセンブリーの詰まり	スクイージーアセンブリーを掃除してください
	バキュームホースの接続部の緩み	バキュームホース接続部をしっかり固定してください
	バキュームホースの詰まり	バキュームホースを洗浄してください
	バキュームホースの損傷	バキュームホースを交換してください
	汚水回収タンクのフロート停止スクリーンの詰まり	スクリーンを掃除してください
	汚水回収タンク蓋が完全に閉まっていない	蓋に異物が挟まっていないか確認してください
	汚水回収タンク蓋のシール不良	シールを交換してください
洗浄液が殆どまたはまったく流れない	洗浄液タンクを空にしてください	洗浄液タンクに洗剤を入れてください
	洗浄液の流量設定が低い	洗浄液の流量を上げてください
	洗浄液タンクフィルターの詰まり	フィルターを清掃してください
	洗浄液供給ラインの詰まり	洗浄液供給ラインを洗浄してください
Severe Environment タンクから洗剤が散布されない	洗剤がない	タンクに洗剤を充填してください
	フロートスイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプのポテンショメーターの故障	サービスセンターに連絡してください
	コントロールパネルの故障	サービスセンターに連絡してください
自動バッテリー補水タンクが水を供給しない	タンクが空	タンクに洗剤を充填してください
	フロートスイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプがプライミングしない	サービスセンターに連絡してください
	コントロールボードの故障	サービスセンターに連絡してください
稼働時間が短い	バッテリー充電の低下	バッテリーを充電してください
	バッテリーのメンテナンスが必要です	「バッテリー」を参照してください。
	バッテリーの故障またはバッテリー寿命の限界	バッテリーを交換してください
	バッテリー放電インジケーター（BDI） の誤ったプログラム設定	「バッテリーの充電」を参照してください。
	充電器の故障	充電器を交換してください
	ブラシの圧力設定が高すぎる	ブラシ圧を下げてください
洗浄液タンクの自動補水機能が不良	カプラの不適切な接続	カプラを接続してください
	停止フロートの故障	フロートを交換してください。 サービスセンターに連絡してください
	本機が平坦な表面に置かれていない	本機が平坦な表面に置いてください
洗浄ヘッドの過剰な騒音（環状モード）	洗浄ヘッド絶縁装置の損傷	絶縁装置を交換してください サービスセンターに連絡してください

本機の一般的な寸法/容量/性能

モデル	650mm デュアルディスク	700mm デュアルディスク	800mm デュアルディスク
長さ	1486mm	1501mm	1552mm
幅	700mm	750mm	850mm
高さ	1100mm	1100mm	1100mm
重量	145kg	150kg	161kg
重量（バッテリー込み）	277kg	281kg	293kg
車両総重量	363kg	367kg	379kg
スクイージー幅	973mm	41049mm	1234mm
洗浄液タンク容量	85L		
汚水回収タンク容量	102L		
Severe Environment タンク容量	2.5L		
自動バッテリー補水タンク容量	2.5L		
洗浄幅	650mm	700mm	800mm
接地圧	低： 18kg、中： 36kg、高： 54kg		
洗浄速度	67mpm		
走行速度	73mpm		
後退速度	44mpm		
生産性洗浄面積 - 標準	1911m^2/hr	2070m^2/hr	2389m^2/hr
ec-H2O 生産性洗浄面積 - 標準	2148m^2/hr	2200m^2/hr	2538m^2/hr
通路転回幅	1499mm	1514mm	1565mm
最大操作傾斜角度	2%		
洗浄液の流量	低： 1.1L/分、中： 1.5L/分、高： 1.1L/分		
ec-H2O 洗浄液の流量	低： 0.57L/分、 中： 0.84L/分、 高： 1.14L/分	低： 0.84L/分、 中： 1.25L/分、 高： 1.67L/分	低： 0.84L/分、 中： 1.25L/分、 高： 1.67L/分
ブラシモーター	2～24VDC、0.75hp/0.55kW、29A、220RPM		
走行モーター	24VDC、0.63hp / 0.48kW、20A		
バキュームモーター	24VDC、0.63hp / 0.47kW、19.5A		
ウォーターリフト	1170mm		
ウォーターリフト静音モード	810mm		
ec-H2O 洗浄液ポンプ	24VDC、2A、3.8L/分、最小開放流量		
Severe Environment 洗浄液ポンプ	24VDC、1.7A、59ml/分、最小開放流量		
自動バッテリー補水ポンプ	12VDC、1.8A、1.4L/分、最小開放流量		
スプレーノズルポンプ	24VDC、5A、15L/分、最小開放流量		
本機の電圧	24VDC		
バッテリー容量	4～6V 225AH C/20 湿式、4～6V 260AH C/20 湿式、4～6V 220AH C/20AGM		
総電力消費量	66A 公称 / 1.6kW		
バッテリー充電器 - 搭載型	115～240VAC、50/60Hz、24VDC、25A		
バッテリー充電器 - スマート定置型	85～265VAC、50/60Hz、24VDC、25A		
保護等級	IPX3		
音圧レベルL_{pA}*	66.5dB(A)	66.5dB(A)	66.5dB(A)
音圧レベルL_{pA}* - Quiet-Mode	61.7dB(A)	61.7dB(A)	61.7dB(A)
音の不確定性 K_{pA}*	0.8dB(A)	0.8dB(A)	0.8dB(A)
音響出力レベルの不確定性L_{pA} - 不確定性 K_{pA}*	83.7dB(A)	83.7dB(A)	83.7dB(A)
本機の手腕振動*	<2.5m/s^2		
動作周囲温度	最小： 2°C、最大： 43°C		

*IEC 60335-2-72 基準値。仕様は事前の通知なく変更する場合があります。

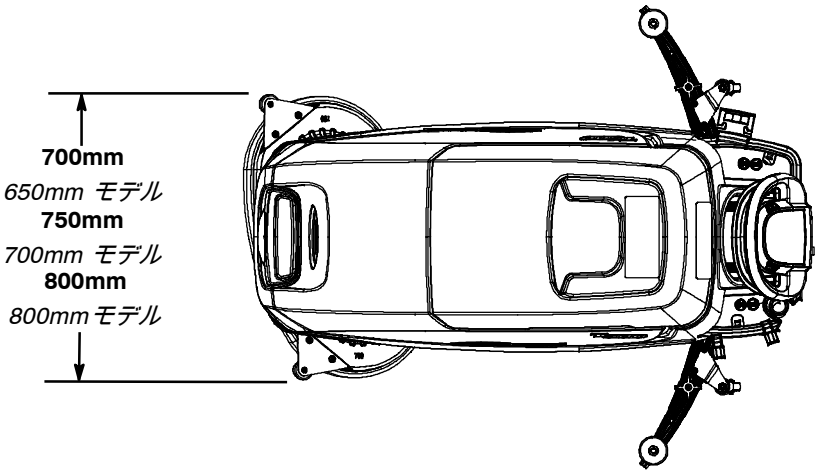
本機の一般的な寸法/容量/性能 - 続き

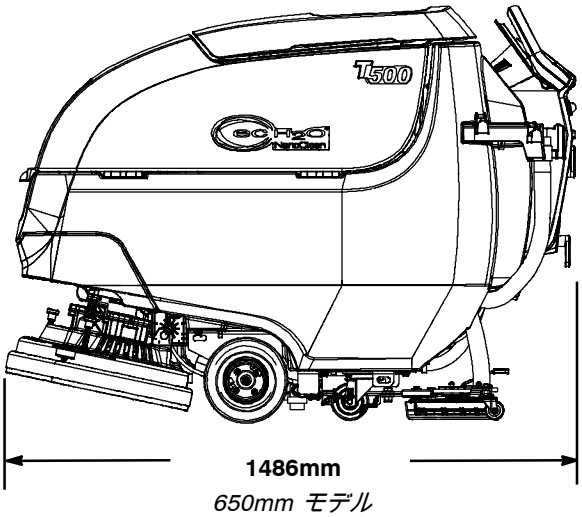
モデル	700mm シリンダーブラシ	700mm 環状
長さ	1501mm	1486mm
幅	780mm	710mm
高さ	1100mm	1100mm
重量	168kg	168kg
重量（バッテリー込み）	299kg	299kg
車両総重量	386kg	386kg
スクイージー幅	1234mm	1049mm
洗浄液タンク容量	85L	
汚水回収タンク容量	102L	
Severe Environment タンク容量	2.5L	
自動バッテリー補水タンク容量	2.5L	
洗浄幅	700mm	
接地圧	低： 18kg 中： 36kg 高： 54kg	低： 48kg 中： 63kg 高： 77kg
洗浄速度	67mpm	
走行速度	73mpm	
後退速度	44mpm	
生産性洗浄面積 - 標準	2070m^2/hr	1882m^2/hr
ec-H2O 生産性洗浄面積 - 標準	2200m^2/hr	2000m^2/hr
通路転回幅	1514mm	1499mm
最大運転勾配	2%	
洗浄液の流量	低： 1.1L/分、中： 1.5L/分、高： 1.1L/分	
ec-H2O 洗浄液の流量	低： 0.84L/分、中： 1.25L/分、高： 1.67L/分	
ブラシモーター	2～24VDC、0.47kW、23A、1500RPM	24VDC、0.55kW、28A、2200RPM
走行モーター	24VDC、0.48kW、20A	
バキュームモーター	24VDC、0.47kW、19.5A	
ウォーターリフト	1170mm	
ウォーターリフト静音モード	810mm	
ec-H2O 洗浄液ポンプ	24VDC、2A、3.8L/分、最小開放流量	
Severe Environment 洗浄液ポンプ	24VDC、1.7A、59ml/分、最小開放流量	
自動バッテリー補水ポンプ	12VDC、1.8A、1.4L/分、最小開放流量	
スプレーノズルポンプ	24VDC、5A、15L/分、最小開放流量	
本機の電圧	24VDC	
バッテリー容量	4～6V 225AH C/20 湿式、4～6V 260AH C/20 湿式、4～6V 220AH C/20AGM	
総電力消費量	66A 公称 / 1.6kW	
バッテリー充電器 - 搭載型	115～240VAC、50/60Hz、24VDC、25A	
バッテリー充電器 - スマート定置型	85～265VAC、50/60Hz、24VDC、25A	
保護等級	IPX3	
音圧レベルL_{pA}*	66.4dB（A）	67dB（A）
音圧レベルL_{pA}* - Quiet-Mode	61.8dB（A）	60.6dB（A）
音の不確定性 K_{pA}*	0.8dB(A)	0.8dB(A)
音響出力レベルの不確定性L_{pA} - 不確定性 K_{pA}*	85.2dB（A）	84.0dB（A）
本機の手腕振動*	<2.5m/s^2	
動作周囲温度	最小： 2°C、最大： 43°C	

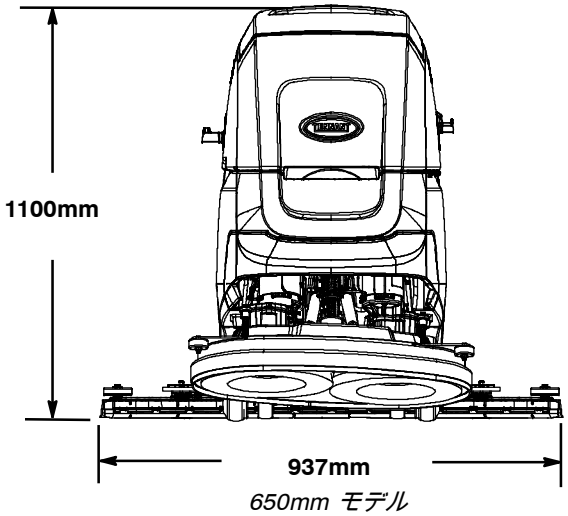
*IEC 60335-2-72 基準値。仕様は事前の通知なく変更する場合があります。

本機の寸法

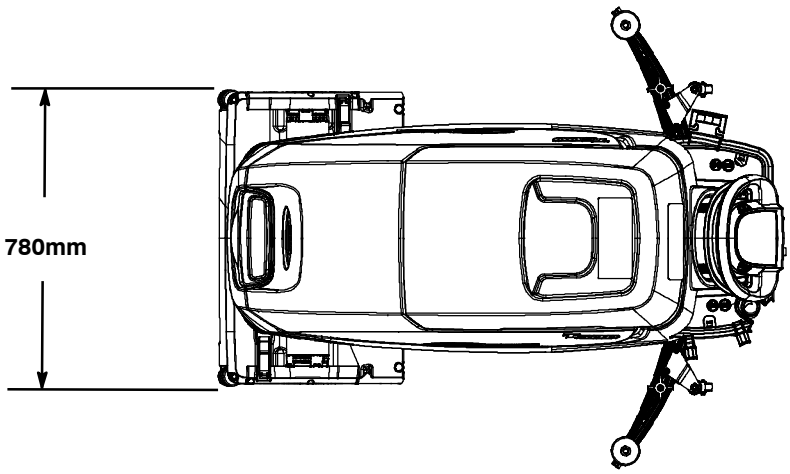
デュアルディスクモデル

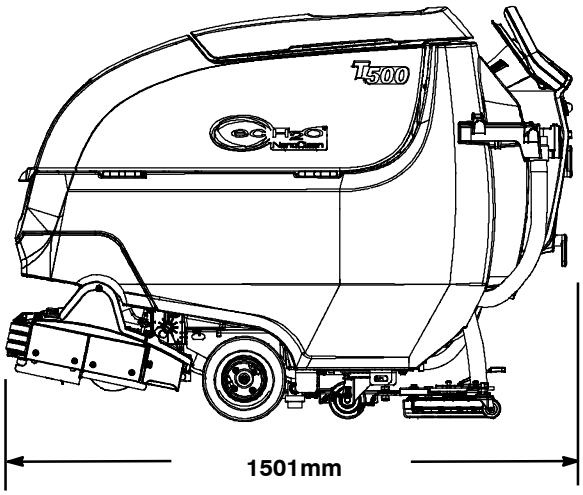


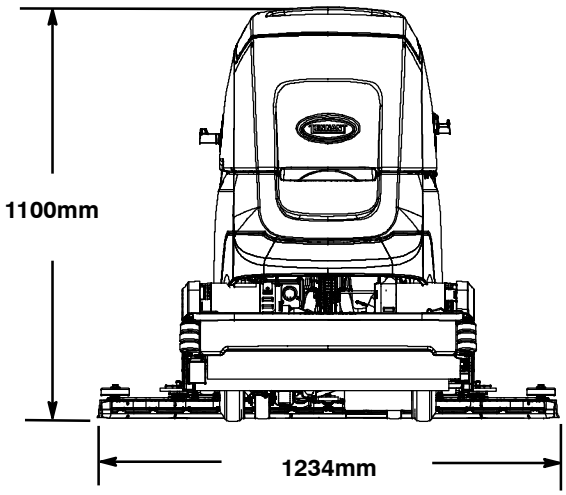




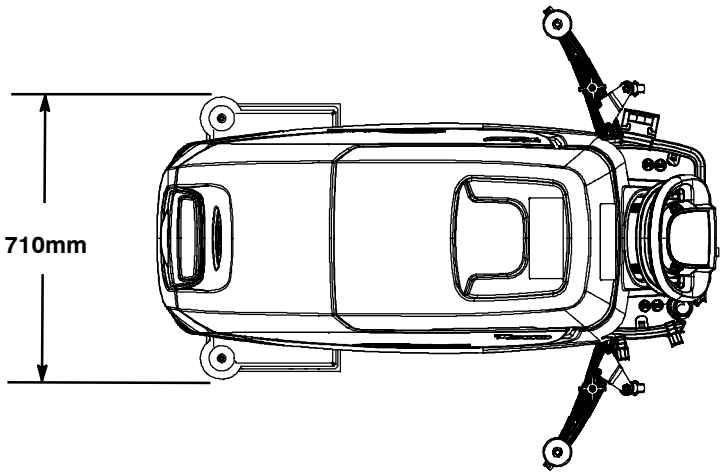
シリンダーブラシモデル

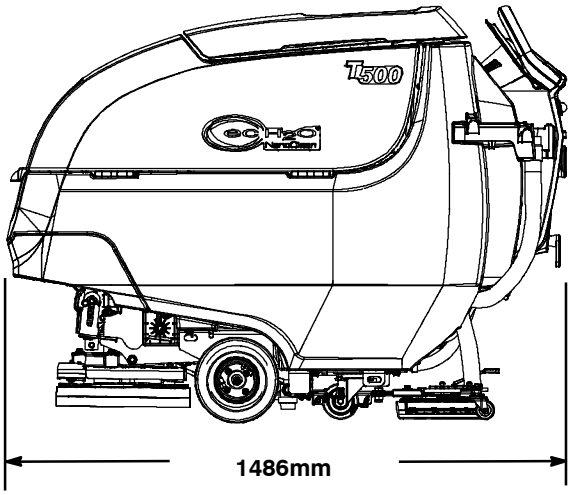


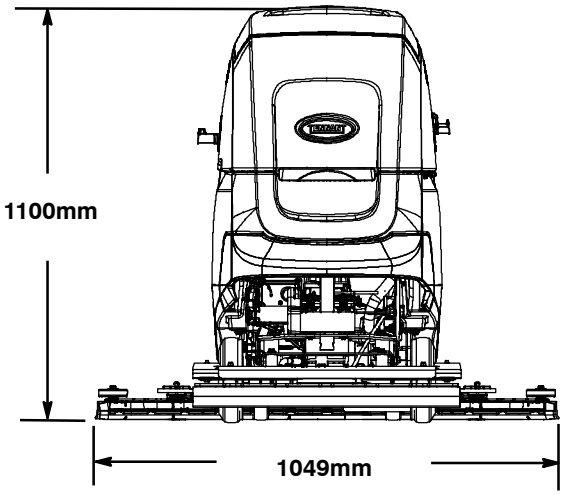




環状パッドモデル







注意：以下の手順は管理者のみを対象としています。
必要な場合、マニュアルから該当するページを削除してください。

管理者コントロール

管理者コントロール機能は、オペレーターが使用できるように本機の洗浄設定を管理者がプログラムすることを可能にします。
ロックアウト機能は、オペレーターによるZone Settings の変更や保存を防止します。

管理者コントロール機能は、一貫して再現可能な洗浄効果を発揮するように、本機の性能変動を抑えて、オペレーターの経験にかかわらず、本機の品質確保とオペレーターのトレーニング時間の短縮を実現します。

PRO-MEMBRANE コントロールパネルモデル

本機には、次の3種類の管理者コントロールモードがあります。

ロック解除モード 1：
オペレーターは、プリセットゾーンコントロールボタンを再設定する機能を使用して、すべての洗浄パラメータを制御することができます。
ロック解除モード1は工場出荷時の初期設定です。

ロックアウトモード 2：ゾーンコントロールボタンは管理者によってプリセットされ、ロックされます。
オペレーターはプリセットゾーンコントロールボタンの再設定機能を利用できますが、設定の保存はできません。

ロックアウトモード 3:
ゾーンコントロールボタンは管理者によってプリセットされ、ロックされます。
オペレーターは、管理者によってプリセットされたゾーンコントロールボタンの利用に制限されます。

管理者コントロールモードの入力

1. 本機を平坦な表面に停め、キーをオフ（O）の位置まで回します。
2. キースイッチをオンの位置に回しながら、ブラシ圧ボタンを押します。
一番右側のバッテリー放電インジケーターLED
が点灯したらボタンを放します（図149）。
ボタンを放すと、有効化された管理者コントロールモードが、ステップ 3
の説明に示すように表示されます（図150）。

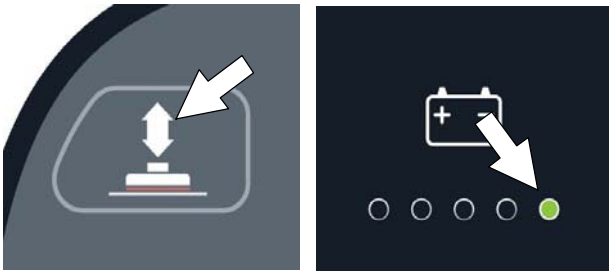
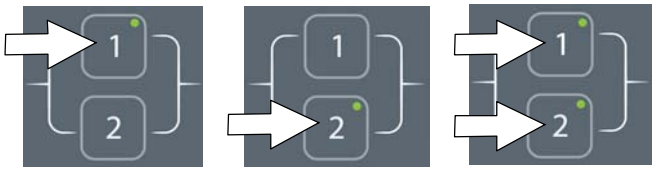


図 149

3. 管理者コントロールモードの選択または変更を行うには、LED
が3回点滅するまで、特定のゾーンコントロールボタンを押し続けます（図150）。
ロックアウトモード 3
の場合、ゾーンコントロールボタン 1 と 2
を同時に押し続けます。 選択を完了すると、LED は点滅から点灯に変化して、新しいモードが有効化されたことを知らせます。

ロック解除モード 1 = ゾーンコントロールボタン 1
ロックアウトモード 2 = ゾーンコントロールボタン 2
ロックアウトモード 3 = ゾーンコントロールボタン 3



ロック解除モード 1　ロックアウトモード 2　ロックアウトモード 3

図 150

4. 洗浄液流量ボタンを押して、ロックアウトモード 2 または 3
に対してゾーンコントロールボタンのプリセットを設定します（図 151）。

図 151

5. 以下のリストからゾーンコントロールボタンのプリセットを設定して、LED
が3回点滅するまで、ゾーンコントロールボタンを押し続けてプリセットの設定を保存します。
他の2つのゾーンに対しても同じ手順を繰り返します。 ゾーンコントロール 3
をプリセットするには、ゾーンコントロールボタン 1 と 2 を同時に押してください。

   ゾーンコントロールのプリセット：
   - ブラシ圧
   - 洗浄液の流量
   - Quiet-Mode ボタンのオン/オフ
   - ec-H2O モードスイッチのオン/オフ
   - Severe Environment ボタンのオン/オフ
   （ LED が点灯するまで3秒ボタンを押し続けます ）
   - 最大洗浄速度の設定

   最大洗浄速度の設定を調整するには、Severe Environment
   ボタンを押して、以下の説明に示すように、5段階の速度から選択します (図152)。 Severe Environment
   ボタンのないモデルの場合、図に示すようにパネル上のエリアを押します。 ボタンは非表示です。

   バッテリー放電インジケーターLEDによって各速度の選択が表示されます。赤色の LED
   は最小速度を示します。 一番右側の緑色のLED
   は最大速度を表します (図152)。

低 → 高

図 152

注記：
最大洗浄速度の設定は、管理者コントロールロックアウトモード 2 と 3 でのみ調整できます。

6. 管理者コントロールモードを終了するには、キーをオフにします。

PRO-PANEL コントール装備モデル

ホーム画面のインターフェースに表示されるユーザーモードは2種類あります。

オペレーターモード -
管理者によって制御された許可と制限の下で本機を運転することができます。
オペレーターモードのホーム画面では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンへのアクセスが制限されます (図153) 。

図 153

管理者モード -
すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機を運転できるほか、オペレーターモードに対して許可と制限やログイン機能を設定することができます。
管理者モードのホーム画面では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンにアクセスすることができます (図154) 。

図 154

工場出荷後の初期状態では、本機は事前に割り当てられた管理者プロファイルに基づいた管理者モードで自動的に始動します。
本機の工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードは「1234」です。
このログインコードは有効化されるまで不要です。
初期設定の管理者プロファイル名とログインコードは本セクションで説明したように変更できます。
新規に割り当てられた管理者モードのログインコードを忘れた場合は、リカバリーログインコード「836626826」を使用してください。

管理者モードの入力 -

1. 本機の電源スイッチを入れます。
   本機の始動時にホーム画面が表示されます（図155）。 ヘルプボタンを押します。

図 155

2. ログインボタンを押します（図156）。

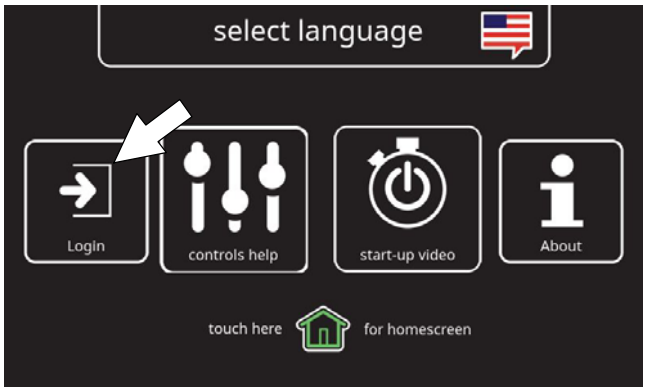


図 156

3. 初回使用 -
   工場出荷時に割り当てられた管理者モードログインコード「1234」を入力して、緑色の入力ボタンを押します（図 157）。

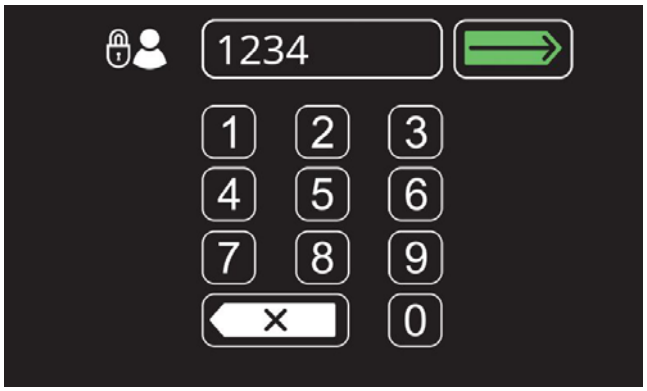


図 157

4. 管理者モードのホーム画面が表示されます（図158）。 本機の設定ボタンを押します。

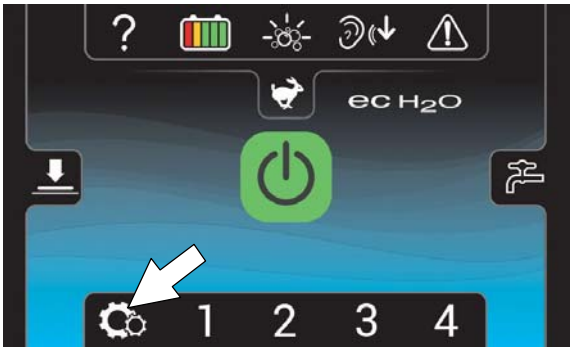


図 158

5. 本機の設定画面には、以下のメニューへのアクセスが用意されています（図159）。

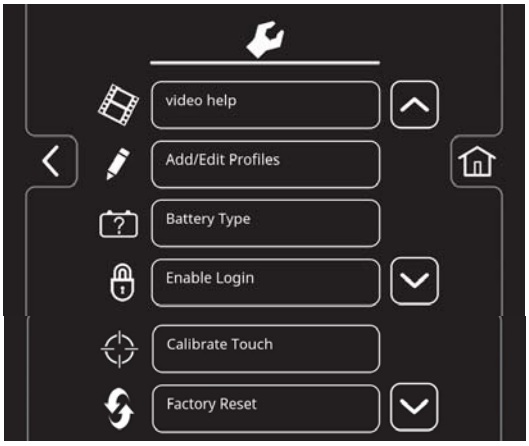


図 159

ビデオに関するヘルプ -
特定の操作とメンテナンスの手順を参照するために使用します。

プロファイルの追加/編集 -
本機の用途に対応するように、ユーザープロファイルを追加/編集するために使用します。

バッテリーの種類 -
異なる種類のバッテリーに対応するように本機を設定するために使用します。
「バッテリー」を参照してください。

ログイン可 -
本機の始動時に、本機を運転するのに必要なログインコードを有効化するために使用します。

タッチ補正アイコン -
タッチポイントの位置ずれがある場合にタッチ画面を補正するために使用します。

工場出荷時の状態にリセット -
管理者ログインコードを工場出荷時のデフォルトコード「1234」にリセットするほか、ユーザープロファイルを削除し、カスタマイズされたプリセットゾーンコントロールボタンを工場出荷時のプリセットゾーンにリセットします。

ユーザープロファイルの追加/編集

1. 「プロファイルの追加/編集」ボタンを押して、新規ユーザープロファイルを入力します（図160）。

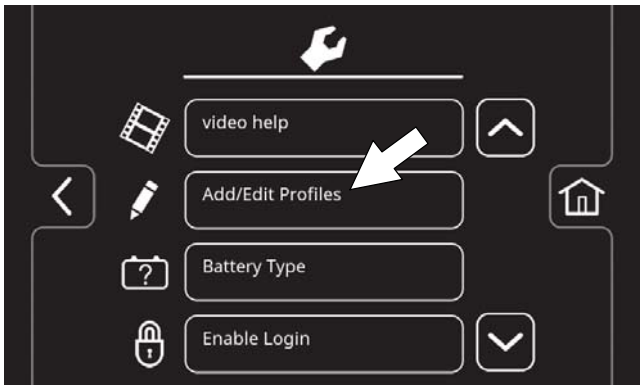


図 160

2. 「プロファイルの追加」ボタンを押して、新規ユーザープロファイルを追加します（図161）。

図 161

プロファイルの編集、コピー、削除ボタンを使用して、現在のユーザープロファイルを管理します。

現在のユーザープロファイルを編集するために押します。

現在のユーザープロファイルをコピーするために押します。

ユーザープロファイルを削除するために押します。

3. オペレーターボタンを押してオペレーターモードを追加するか、管理者ボタンを押して追加の管理者モードプロファイルを追加します（図162）。

注記：
本機のデフォルト管理者プロファイルはプロファイルリストから削除できません。

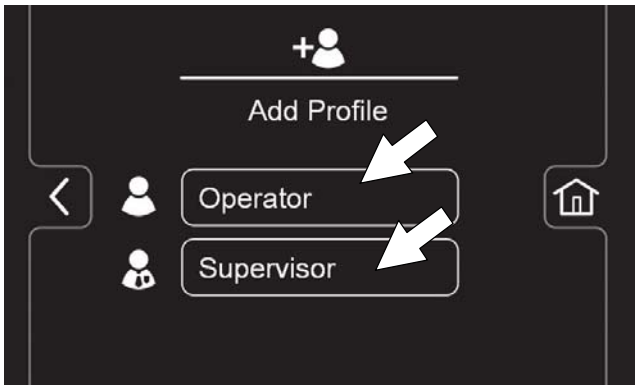


図 162

4. 新規ユーザープロファイルの名前を入力して、緑色の入力ボタンを押します（図163）。

図 163

5. 新規ユーザープロファイルに対してログインコードを割り当て、緑色の入力ボタンを押します（図164）。
新しいログインコードは、3～8桁の範囲で任意の組み合わせが可能です。

図 164

6. 使用のアクセス許可を新規ユーザーに与えるコントロールを選択します（図165）。
緑色はロック解除されたコントロール、灰色はロックされたコントロールを示します。
点滅している保存ボタンを押して、新規プロファイルを保存します。

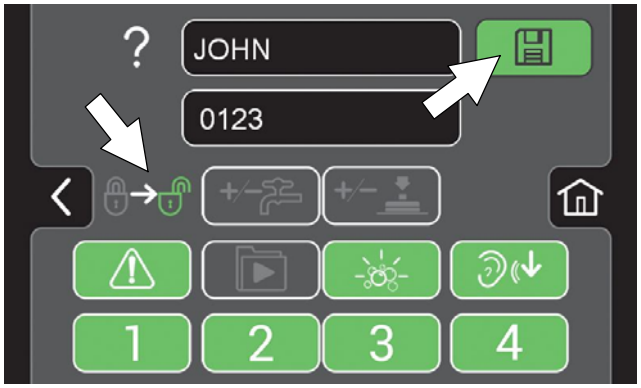


図 165

7. 図に示すように、これでオペレータープロファイルリストに新規ユーザープロファイルが保存されました（図166）。
複数のオペレーターおよび管理者のユーザープロファイルを追加することができます。
「戻る」矢印を押して前の画面に戻り、ユーザープロファイルを追加します。

図 166

8. 始動時のログイン画面の有効化（図167）については、「ログインの有効化」を参照してください。

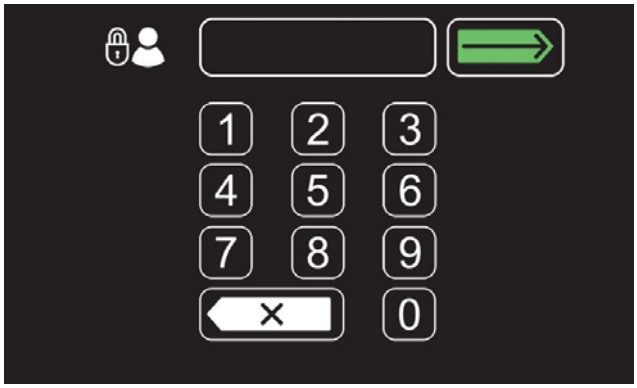


図 167

ログイン画面の有効化

1. 本機の電源スイッチを入れます。
2. ヘルプボタンを押して、管理者モードで本機にログインします（図168）。
「管理者モードの入力」を参照してください。

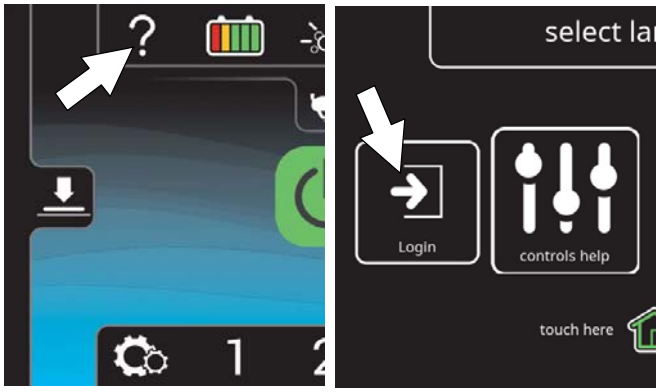


図 168

3. 本機の設定ボタンを押します（図169）。

図 169

4. 「ログイン可」ボタンを押します（図170）。
「ログイン可」ボタンが、「ログイン可」から「ログイン不可」に変わります。

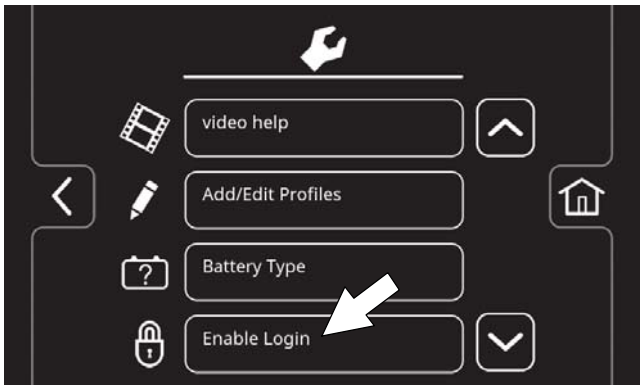


図 170

5 ログインを有効にするために、「はい」ボタンを押します（図 171）。

図 171

6 上記の設定が完了すると、本機の始動時にログイン画面が表示されます（図172）。ユーザーは本機を操作するためにログインコードを入力する必要があります。

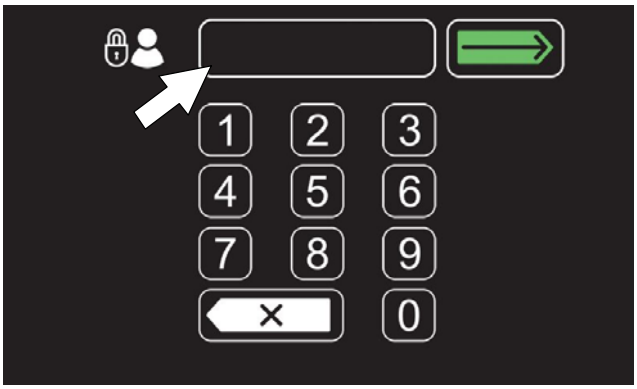


図 172

7. 本機の使用後、ユーザーはヘルプボタンを押してから、ログアウトボタンを押してログアウトすることが推奨されます。キーをオフの位置に回してログアウトする方法もあります

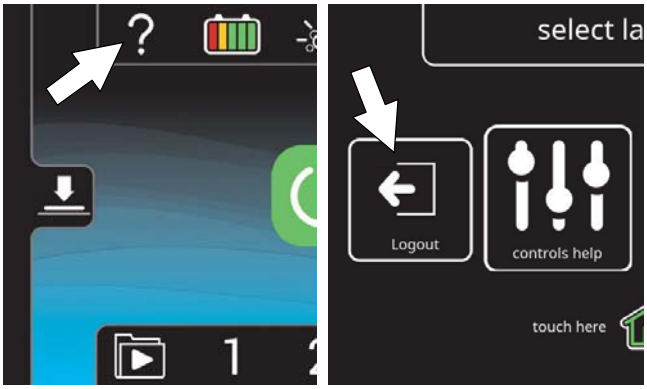


図 173

ログイン画面の無効化

1. 本機の電源スイッチを入れます。
2. ヘルプボタンを押して、管理者モードで本機にログインします（図174）。
   「管理者モードの入力」を参照してください。

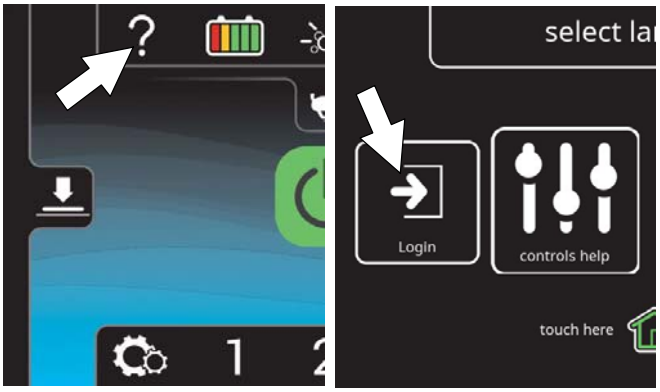


図 174

3. 本機の設定ボタンを押します（図175）。

図 175

4. 「ログイン不可」ボタンを押します（図176）。

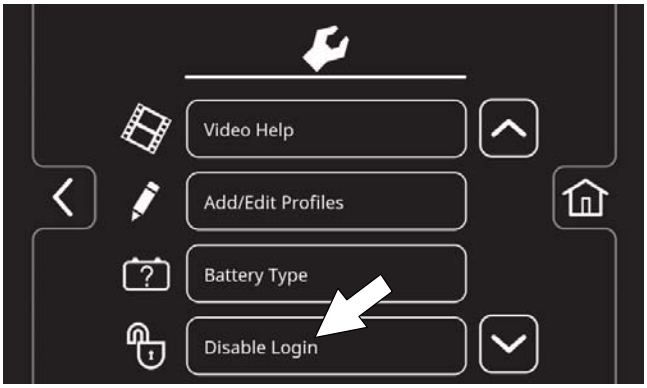


図 176

5 「はい」ボタンを押して、始動時でのログインを無効化します（図177）。

図 177

6 「オペレーター」ボタンまたは「管理者」ボタンのいずれかを押して、ログインなしのデフォルトのホーム画面として希望するユーザープロファイルを選択します（図178）。

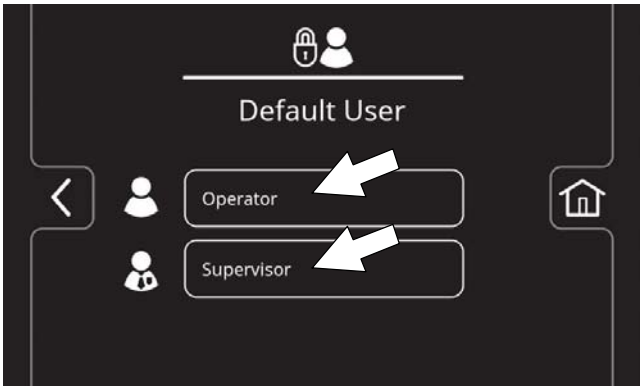


図 178

7. 事前に割り当てられたユーザープロファイルを選択します。
この例では、オペレータープロファイル「JOHN」が選択されています（図179）。
キーをオフにして設定を適用します。

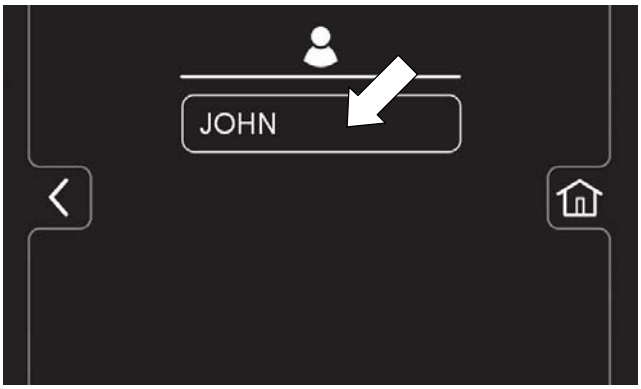


図 179

8. これで本機の始動時にログイン画面は、ログインなしのデフォルトとして希望するユーザープロファイルの設定が適用されます。

注記：
ログインなしのデフォルトホーム画面として異なるユーザープロファイルに変更するには、ログインを再度有効化して、ログイン指示を再度無効化する必要があります。

工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードの変更

1. 本機の設定ボタンを押します（図180）。

図 180

2. プロファイルの追加/編集ボタンを押します（図181）。

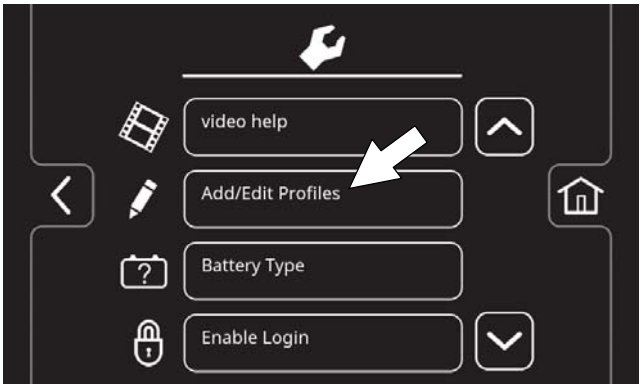


図 181

3. プロファイルの編集ボタンを押します（図182）。

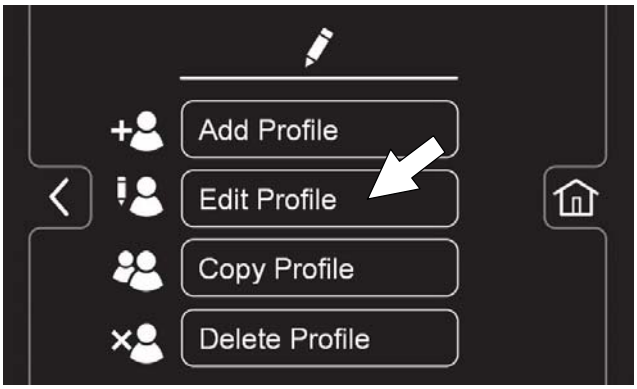


図 182

4. 管理者ボタンを押した後、デフォルト管理者ボタンを押します（図183）。

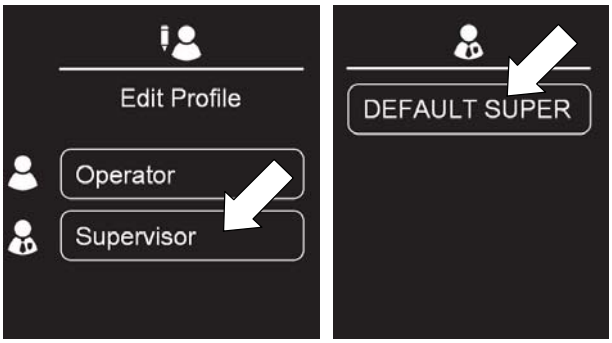


図 183

5. 工場出荷時に割り当てられたログインコードを押して、新規のログインコードを入力します（図184）。
点滅している保存ボタンを押して、新規のログインコードを保存します（図 ）。

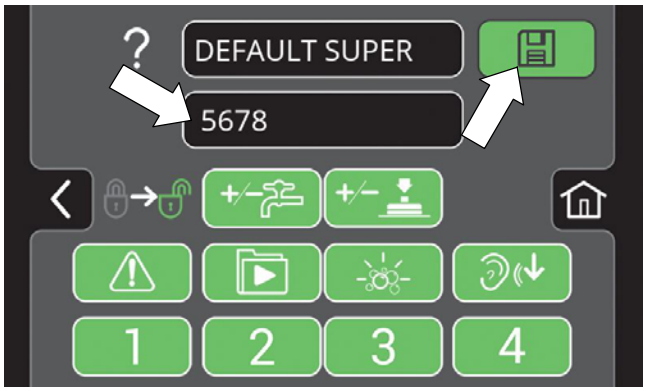


図 184